令　和　８　年　度

教　育　要　覧



下関市立文洋中学校関西分校（学びの多様化学校）
令和８年４月開校

下関市教育委員会

下関市教育理念
CHANCE（可能性）　CHALLENGE（挑戦）　CREATE（創造）
～ふるさと下関に誇りと愛情　未来を拓く　一人ひとりの学び～

下 関 市 民 憲 章

平成 19 年 2 月 13 日制定

わたしたちは、美しい自然と古い歴史に恵まれたふるさと下関市を愛します。
わたしたちは、下関市民であることに誇りと責任を持って、互いに心を寄せあい、新しい理想のまちづくりをめざしてこの憲章をかかげます。

わたしたちは **し** 自然の恵みを大切にします。

わたしたちは **も** 燃え立つ心を大切にします。

わたしたちは **の** 伸びゆく力を大切にします。

わたしたちは **せ** 先人の訓えを大切にします。

わたしたちは **き** 協働の営みを大切にします。

市の花「ハマユウ」



市の動物「クジラ」



市の鳥「ペンギン」



市の木「クスノキ」





市の花木「ツツジ」



市の虫「ホタル」



市の花木「サクラ」



市の魚「フク」

は　じ　め　に

下関市では、「可能性を築くまち」を基本理念とし、その実現に向けたまちづくりを推進しております。教育の分野においては、子供たち一人ひとりに「生き抜く力」を育むため、「地域とともにある学校」づくりを目指すとともに、人生１００年時代を見据え、市民が生涯を通じて学び、活躍できる環境づくりを進めることが重要です。

本市教育委員会では「ＣＨＡＮＣＥ（可能性）ＣＨＡＬＬＥＮＧＥ（挑戦）ＣＲＥＡＴＥ（創造）～ふるさと下関に誇りと愛情　未来を拓く　一人ひとりの学び～」を教育理念として、さまざまな教育課題に取り組んでいます。下関の教育の基盤にあるのは、「ふるさと下関」への誇りと愛情を育む教育の充実です。下関には歴史、伝統、文化など、誇るべき資源が数多くあり、これらを最大限に活かした環境整備を進めることで、幼児から大人まで魅力的な学びと教育活動のある街下関を発信していきます。

また、本市では、不登校生徒一人ひとりの状況や思いに応じた多様な学びの機会を確保するため、令和８年４月に県内初となる学びの多様化学校「下関市立文洋中学校関西分校」を開校しました。関西分校では、「できること」「やりたいこと」「なりたい自分」を見つけるための支援を通して、生徒一人一人が自分の良さや自分らしさに気づき、自らの可能性を広げていけるよう、多様な学びの機会を提供してまいります。

私は、「学校は、魅力ある、わくわくする場所でなければならない」と考えています。子供を真ん中において、子供を見る視点と、真ん中にいる子供から見る景色を大切にし、わくわくが止まらない学びを展開していきます。そして、地域と連携しながら、ふるさと下関に誇りと愛情を持ち、下関が心の拠り所となるよう下関教育の実現に向けて力を尽くしてまいります。

このたび刊行いたします本書は、教育委員会の取組を紹介するとともに、委員会内各課所館で取り組んできた事業の成果を取りまとめた内容となっております。

皆様方におかれては、本書をご高覧いただき、本市教育行政に対してなお一層のご理解とご協力を賜わりますようお願い申し上げます。

下関市教育委員会
教育長　磯部　芳規

目　　次

～　本　編　～

◆　下関市の教育

1　下関市の概要…… 1
(1)下関市の概況…… 1
(2)人口・世帯数の推移…… 1
2　教育委員会…… 2
(1)教育長・教育委員…… 2
(2)教育委員会議決事項等…… 3
3　下関市教育理念…… 5
4　令和７年度教育施策の実施状況… 6
(1)教育の振興を図ります…… 6
(2)地域の教育力を高めます…… 22
(3)生涯を通じた学ぶ機会を提供します… 26

～　資料編　～

Ⅰ　学校教育関連資料

1　下関市学校教育指導上の努力点… 44
2　市立学校一覧…… 45
(1)幼稚園…… 45
(2)幼保連携型認定こども園…… 47
(3)小学校…… 49
(4)中学校…… 51
(5)高等学校…… 51
3　令和８年度研修計画(中核市研修)… 53
4　令和８年度研究事業一覧…… 54
5　外国語指導助手派遣推進事業…… 54
6　特別支援教育…… 55
(1)特別支援学級設置状況…… 55
(2)通級指導教室活動実態…… 58
(3)令和８年度就学支援状況…… 58
(4)特別支援学級生徒の進路状況…… 59
(5)下関市特別支援教育支援員配置状況… 59
(6)令和８年度に新設された特別支援学級… 59
7　就学援助…… 59
(1)就学援助費…… 59
(2)特別支援教育就学奨励費…… 59
(3)令和７年度就学援助費(給食費)… 59
8　下関市奨学金制度…… 60
9　園・学校訪問…… 60
10　学校保健…… 61
(1)令和７年度健康診断における疾患・異常… 61
(2)令和７年度負傷・疾病の種類別災害発生状況… 62
(3)令和７年度児童・生徒の体位比較… 63
11　学校給食…… 63
(1)学校給食実施状況…… 63
(2)献立の作成から実施まで…… 63
(3)学校給食共同調理場・学校給食センター… 64
12　生徒指導…… 65
13　教育相談…… 66
(1)相談体制…… 66
(2)令和７年度教育相談受理状況…… 66

Ⅱ　生涯学習関連資料

1　社会教育委員…… 67
2　図書館…… 67
(1)中央図書館…… 67
(2)彦島図書館…… 68
(3)長府図書館…… 68
(4)はまゆう図書館…… 68
(5)菊川図書館…… 69
(6)豊田図書館…… 69
(7)豊浦図書館…… 69
(8)豊北図書館…… 70
3　公民館活動…… 70
(1)公民館運営審議会…… 70
(2)公民館設置状況…… 70
(3)公民館利用状況…… 71
4　下関市生涯学習プラザ…… 72
5　生涯学習センター…… 73
(1)豊田生涯学習センター…… 73
(2)豊北生涯学習センター…… 73
6　菊川ふれあい会館…… 74
7　その他社会教育施設…… 74
(1)豊浦ふれあいセンター…… 74
(2)宇賀ふれあいセンター…… 75
(3)小野ふれあいセンター…… 75
8　成人教育・生涯学習…… 75
(1)生涯学習まちづくり出前講座…… 75
(2)市民文化セミナー…… 79
(3)関門海峡・温故知新塾…… 79
(4)市民学級…… 80
(5)社会教育関係団体…… 81

9　家庭教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 82
(1)令和７年度地域ふれあい活動・・・・ 82
(2)家庭教育学級【幼稚園・こども園】・・・ 83
(3)家庭教育学級【小学校】・・・・・・・・・・ 83
(4)女性団体の育成・・・・・・・・・・・・・・・・ 84
10　青少年教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 85
(1)青少年健全育成事業・・・・・・・・・・・・ 85
(2)青少年非行防止対策業務・・・・・・・・ 86
(3)青少年教育施設・・・・・・・・・・・・・・・・ 87

Ⅲ　学術文化関係資料
1　美術館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 89
2　歴史博物館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 91
3　東行記念館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 93
4　考古博物館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 94
5　土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム・・・ 98
6　烏山民俗資料館・・・・・・・・・・・・・・・・・100
7　豊北歴史民俗資料館・・・・・・・・・・・・・102
8　豊田ホタルの里ミュージアム・・・・・104
9　文化財保護・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・106
(1)下関市文化財保護審議会・・・・・・・・106
(2)施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・106
(3)調査・保存修理・・・・・・・・・・・・・・・・107
(4)市内の文化財・・・・・・・・・・・・・・・・・107
10　埋蔵文化財調査・・・・・・・・・・・・・・・・・118
(1)埋蔵文化財調査実績・・・・・・・・・・・・118
(2)周知の埋蔵文化財包蔵地(遺跡)件数・・・・118
(3)愛護・普及活動・・・・・・・・・・・・・・・・118
(4)埋蔵文化財関係刊行物・・・・・・・・・・118
(5)主な埋蔵文化財発掘調査成果概要・・・・119
(6)史跡等管理・保存活用・・・・・・・・・・・121
11　文化財総合調査(日本遺産)・・・・・・・121

Ⅳ　その他資料
1　教育委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・125
(1)機構及び事務分掌・・・・・・・・・・・・・・125
(2)職員配置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・126
(3)教育費予算・・・・・・・・・・・・・・・・・・・127
2　教育年譜・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・128

表紙

「下関市立文洋中学校関西分校」

（学びの多様化学校）

「学びの多様化学校」とは、不登校の児童生徒の実態に配慮し、特別な教育課程を編成して教育を行う、文部科学省指定の学校です。

関西分校では、生徒一人ひとりが自分の良さや自分らしさに気づき、自らの可能性を広げることができるよう、多様な学びの提供に努めています。

◆ 下関市の教育

1 下関市の概要

(1) 下関市の概況

本州の最西端に位置し、日本海・関門海峡・瀬戸内海と三方を海に開かれた下関市は、早くから大陸文化流入の先進地として開け、各域に多くの遺跡・文化財が残されている。

気候は温暖で、緑に富んだ景観は海の青とともに美しく、風水害の少ない住み良い自然環境をもつ都市である。

特に関門海峡は、対岸の門司と「呼べば応える」といわれるほどに狭く、関門橋の架橋下ではわずか 700m たらずであり、また、この海峡は幾度も歴史上の舞台となった。

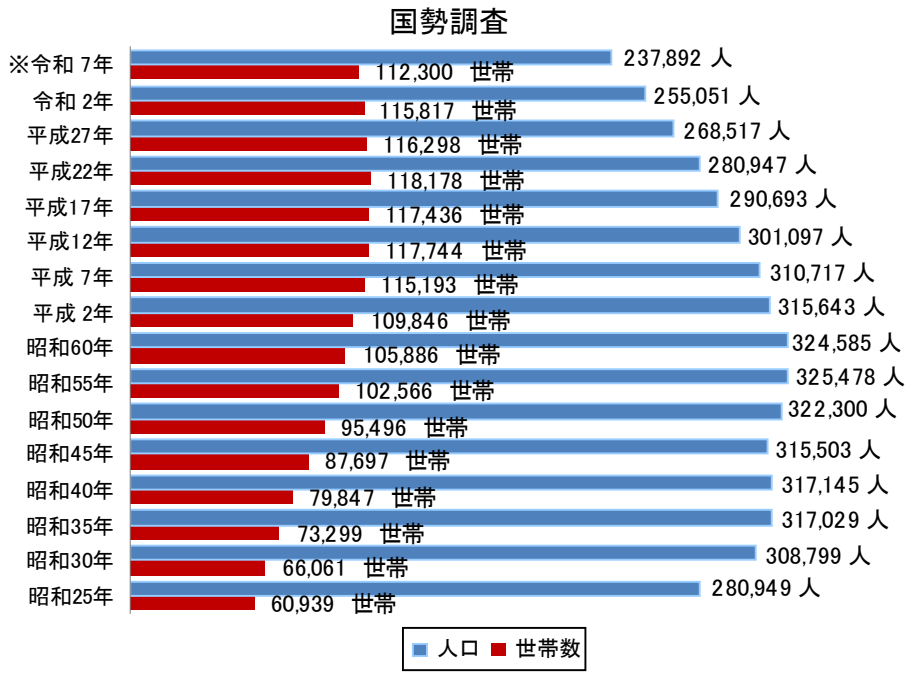
本市は、明治 22 年全国で初めて市制が施かれた 31 市の中の一つ赤間関市として誕生した。やがて山陽本線の開通、関門連絡船や関釜連絡船の就航等によって、九州はもとより大陸への門戸として再び活況を呈した。昭和 20 年、戦災によっていったんは市街が焼土と化したが、まもなく復旧を遂げ関門国道トンネルや中国縦貫自動車道・関門橋の開通、関釜フェリー航路の開設や山陽新幹線の乗入れなどと、交通体系も大規模な整備がなされた。

平成 17 年 2 月には、豊浦郡 4 町（菊川町、豊田町、豊浦町、豊北町）との合併により新しい下関市が誕生し、平成 17 年 10 月には中核市へ移行した。

現在、下関市は、第 3 次下関市総合計画に掲げる基本理念「可能性を築くまち」の実現に向け、子育てしやすい環境の整備やまちの魅力向上、防災減災対策など、さまざまな施策を展開し、きめ細かに取組を進めている。

【面　積】	716.26 ㎢	（令和 8 年 1 月 1 日現在）
【人　口】	234,971 人	（令和 8 年 5 月 1 日現在）
【世　帯】	113,086 世帯	（令和 8 年 5 月 1 日現在）

(2) 人口・世帯数の推移



※令和 7 年国勢調査の数値は速報値です。

２　教育委員会

(1) 教育長



教　育　長
磯　部　芳　規

教育委員



教育長職務代理者
佐々木　猛



委　員
川　畑　誠　治



委　員
祖　山　久　美



委　員
畚　野　美香子

（令和８年５月１日現在）

役　職　名	氏　　名	職　業	任　　期
教　育　長	磯　部　芳　規	公 務 員	自　令和６年４月15日 至　令和９年４月14日
教　育　長 職務代理者	佐　々　木　猛	保険代理店 代表者	自　令和 ６年４月20日 至　令和10年４月19日
委　　員	川　畑　誠　治	私立高等学校 校長	自　令和 ７年４月20日 至　令和11年４月19日
委　　員	祖　山　久　美	中小企業診断士	自　令和 ８年４月20日 至　令和12年４月19日
委　　員	畚野　美香子	薬 剤 師	自　令和５年４月20日 至　令和９年４月19日

(2)教育委員会議決事項等（令和７年度）

開催日	会議区分	議　案　件　名
R7.4.22	定例会	議案なし
R7.5.21	定例会	令和７年度教育予算の補正（６月）について
		下関市教育振興基本計画について
		令和７年度下関市教育支援委員会委員の委嘱について
		令和８年度使用下関商業高等学校教科用図書の採択について
		下関市立青年の家の管理等に関する条例の一部を改正する条例
		下関市立公民館運営審議会委員の委嘱について
		下関市社会教育委員の委嘱について
		下関市立考古博物館協議会委員の解嘱及び委嘱について
		下関市文化財保護審議会委員の委嘱について
		下関市立図書館協議会委員の解嘱及び委嘱について
		下関市立歴史博物館協議会委員の解嘱及び委嘱について
		土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム運営協議会委員の委嘱について
		下関市豊北歴史民俗資料館運営協議会委員の解嘱及び委嘱について
R7.6.26	定例会	令和７年度下関市いじめ重大事態調査委員会委員の委嘱について
R7.7.28	定例会	教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検評価報告書について
		下関市立学校の設置等に関する条例の一部を改正する条例
		下関市立青年の家の管理等に関する条例施行規則の一部を改正する規則
		下関市立考古博物館協議会委員の委嘱について
		下関市菊川ふれあい会館運営審議会委員の委嘱について
		豊田ホタルの里ミュージアム運営協議会委員の委嘱について
		豊浦四町公民館運営審議会委員の委嘱について
R7.7.28	臨時会	教育委員会の職員の任免について
R7.8.27	定例会	令和７年度教育予算の補正（９月）について
		第４期下関市立学校適正規模・適正配置基本計画について
		令和８年度使用下関市立小・中学校一般図書の採択について
		令和８年度使用下関商業高等学校教科用図書の採択について
		工事請負契約の締結について（下関市立川中小学校ほか１２校特別教室空調設備設置工事）
		工事請負契約の締結について（下関市立豊浦小学校ほか１２校特別教室空調設備設置工事）
		工事請負契約の締結について（下関市立向山小学校ほか１２校特別教室空調設備設置工事）
		下関市指定管理候補者選定委員会（生涯学習施設）委員の委嘱について
		下関市指定管理候補者選定委員会（下関市立青年の家）委員の委嘱及び任命について
		下関市立美術館協議会委員の委嘱について
R7.9.26	定例会	教育功労者表彰について
R7.10.29	定例会	指定管理者の指定について（下関市芝学習等供用会館）
		指定管理者の指定について（下関市串学習等供用会館）
		指定管理者の指定について（下関市立青年の家）

開催日	会議区分	議　案　件　名
R7.10.29	定例会	下関市立図書館の設置等に関する条例施行規則の一部を改正する規則
R7.11.26	定例会	令和７年度教育予算の補正（12 月）について
		工事請負契約の締結について（下関市立玄洋中学校区小中一貫校施設整備建築主体工事）
		下関市学校給食共同調理場設置条例の一部を改正する条例
R7.12.19	定例会	下関市立小学校及び中学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則
		令和８年度下関市立幼稚園教職員人事異動方針について
		下関市立学校教材審査会委員の委嘱について
R8.1.23	定例会	下関市立学校の設置等に関する条例の一部を改正する条例
R8.2.25	定例会	令和７年度教育予算の補正（３月）について
		令和８年度教育予算について
		下関市学校職員の懲戒の手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例
		下関市特別職の非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
		重要文化財旧下関英国領事館の設置等に関する条例の一部を改正する条例
R8.3.2	臨時会	令和８年度小・中学校教職員の人事異動について
		令和８年度幼稚園教員の人事異動について
R8.3.27	定例会	教育委員会及び教育機関の職員の任免について
		下関市教育委員会事務分掌規則の一部を改正する規則
		下関市職員の勤務時間等の特例に関する規則の一部を改正する規則
		下関市教育委員会公印規則の一部を改正する規則
		下関市教育委員会広報等事務取扱規程の一部を改正する訓令
		下関市学校職員服務規程の一部を改正する訓令
		下関市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画について
		下関市学校運営協議会規則の一部を改正する規則
		下関市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令

３　下関市教育理念

CHANCE（可能性） CHALLENGE（挑戦） CREATE（創造）

～ふるさと下関に誇りと愛情　未来を拓く　一人ひとりの学び～

下関教育の基盤にあるのは「ふるさと下関」への誇りと愛情を育む教育の充実です。

自分の住むまち、育ったまちの自然や人々、伝統・文化のすばらしさを感じるとともに、課題を理解することが、自ら未来を拓いていこうとするエネルギーになります。

人生１００年時代やＳｏｃｉｅｔｙ５.０の到来、ＤＸの急速な進展など社会は劇的に変化し、将来の予測が困難な時代の中で、人づくりと、多様な人々と協働しながら持続可能な社会、地域コミュニティを維持・発展させていくための基盤づくりの重要性が増しています。

その実現に向けては、生涯学習の理念を大切にし、乳幼児期から高齢期までの各段階において学び続けることができる環境を整えることが必要です。

次代を担う子供たちの権利利益の擁護を図り、最善の利益を実現し、多様な才能を伸ばすための教育を行い、「生き抜く力」と「豊かな心」を育むとともに、市民一人ひとりが「学び」を通じて自分の良さや可能性を認識し、新しいものを創り出す創造力を身に付けていくことが求められています。

新たに下関教育では、「わくわく」が止まらない「学び」の充実・発展を目指して、成長のサイクルを「３つのＣ」として基本理念に掲げ、未来を拓く人づくりを進めていきます。

「ＣＨＡＮＣＥ」
　自分の可能性に気づき、前に向かう意欲を育む学び

「ＣＨＡＬＬＥＮＧＥ」
　失敗を恐れず自分の可能性へ挑戦し続ける意欲を育む学び

「ＣＲＥＡＴＥ」
　挑戦し続けることで「わくわく」を創造し、新たな可能性を
　見つける意欲に繋がる学び

４　令和７年度教育施策の実施状況

（１）教育の振興を図ります

<table>
<tr><td>基本方針</td><td>１　確かな学力の育成</td></tr>
<tr><td>主要施策</td><td>❶自立した学習者の育成</td></tr>
<tr><td>主な取組</td><td>令和７年度の主な取組内容</td></tr>
<tr><td>①ICT の効果的な活用</td><td>○授業における ICT の活用に関する研修の開催
○全国学力・学習状況調査（学校質問、児童生徒質問）における ICT 活用に関する回答の分析（令和４年度と７年度の比較）
○市立中学校におけるスタディ・ポケット（生成 AI 学習アシスタントアプリ）の活用
【補足】
・令和７年度 ICT スキルアップ研修会［31 人参加］
日　　時：令和７年 11 月４日（火）
会　　場：下関市教育センター
研修内容：「知っておきたい AI 時代の情報モラル」
「Microsoft 関連アプリの活用術」「ICT 推進委員の実践報告」
・令和４年度、７年度全国学力・学習状況調査　学校質問より
【個別最適な学びの充実に関する質問】
①児童（生徒）が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面では、児童（生徒）一人一人に配備された PC・タブレットなどの ICT 機器をどの程度活用させていたか。【肯定的回答の割合（「毎日」「週３日以上」）】
<table><tr><td>対象</td><td>Ｒ７（国）</td><td>Ｒ４（国）</td></tr><tr><td>小学６年生</td><td>67.5%（51.0%）</td><td>55.0%（21.1%）</td></tr><tr><td>中学３年生</td><td>56.5%（41.2%）</td><td>45.5%（15.6%）</td></tr></table>②児童（生徒）一人一人に配備された PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度家庭で利用できるようにしたか。【肯定的回答の割合（「毎日」「時々実施」）】
<table><tr><td>対象</td><td>Ｒ７（国）</td><td>Ｒ４（国）</td></tr><tr><td>小学６年生</td><td>90.0%（89.0%）</td><td>42.5%（66.9%）</td></tr><tr><td>中学３年生</td><td>100%（87.2%）</td><td>9.0%（61.8%）</td></tr></table>【協働的な学びの充実に関する質問】
①教職員と児童（生徒）がやりとりする場面では、児童（生徒）一人一人に配備された PC・タブレットなどの ICT 機器をどの程度活用させていたか。（学校質問紙）【肯定的回答の割合（「毎日」「週３日以上」）】
<table><tr><td>対象</td><td>Ｒ７（国）</td><td>Ｒ４（国）</td></tr><tr><td>小学６年生</td><td>92.5%（61.4%）</td><td>87.5%（45.4%）</td></tr><tr><td>中学３年生</td><td>73.9%（55.9%）</td><td>86.4%（44.1%）</td></tr></table></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td></td><td>②児童（生徒）同士がやりとりする場面では、児童（生徒）一人一人に配備された PC・タブレットなどの ICT 機器をどの程度活用させていたか。（学校質問紙）
【肯定的回答の割合（「毎日」「週 3 日以上」）】
<table><tr><th>対象</th><th>R7（国）</th><th>R4（国）</th></tr><tr><td>小学 6 年生</td><td>60.0%（43.6%）</td><td>75.0%（31.3%）</td></tr><tr><td>中学 3 年生</td><td>43.5%（39.3%）</td><td>50.0%（27.8%）</td></tr></table>・スタディ・ポケットの活用事例については中学校情報教育部会（各校 1 名参加）で共有を行った。</td></tr>
<tr><td>（教育研修課）</td><td></td></tr>
<tr><td>②学習指導の充実</td><td>○各学校における授業改善を推進し、授業力を向上させるため作成した「下関スタンダード～授業を振り返る～」を活用した指導助言を行った。
○学習指導の資質を高めるために、研修主任や学力向上担当を対象とした学力向上研修会を開催した。
○指導主事による計画的な学校訪問、研修支援訪問の実施
○若手育成 1000 日プラン（たんぽぽ作戦）の実施による、定期的な指導助言</td></tr>
<tr><td>（教育研修課）</td><td>【補足】
・「令和 7 年度学力向上研修会」
日時：令和 7 年 6 月 6 日（金）
対象：研修主任、学力向上担当〔59 名参加〕
講師：文科省　田村　学　視学官
・「下関スタンダード～授業を振り返る～」：①これまでの指導観を見直し、新しい視点を意識する、②市内の児童生徒の実態から最低限身につける力を再確認する、③「学びが好きな子ども」の育成の視点から「下関市らしさ」の視点を共通理解する、という 3 つの目的を踏まえて作成</td></tr>
</table>

主要施策	❷指導方法の改善
主な取組	令和 7 年度の主な取組内容
①学力調査の活用 （教育研修課）	○全国学力・学習状況調査については、予定どおり 4 月 18 日に実施した。山口県確認問題（4 月）と山口県学力定着状況確認問題（10 月）は例年どおりの時期に実施した。 ○調査結果を活用して、各校で実情に応じて学力向上に向けた取組を行っており、県教育委員会と情報共有・協力しながら支援を行った。
②学力向上プランの活用 （教育研修課）	○教員の授業力向上を目指し下関市学力向上プランを作成 ○学力向上プランを活用した年間 2 回の検証・改善サイクルの確立 【補足】 ・下関市学力向上プラン 5 つの柱：①学習指導の充実、②校内研修の活性化、③「教職員の資質向上」に向けた取組の推進、④校種間連携の推進、⑤地域・家庭との連携

主要施策	❸時代の進展に対応した教育の推進
主な取組	令和 7 年度の主な取組内容
①情報教育の推進	○「教科指導における ICT の活用推進」及び「校務の情報化の推進」等を図るため、下関市 ICT 推進委員会を開催 ○1 人 1 台端末の環境整備に伴い、教職員の ICT スキル向上を図るため、ICT 推進委員を講師とした研修会を実施 ○ICT 機器を活用した授業の推進に向け、外部業者に委託した ICT ヘルプデスクの設置

（教育研修課）	【補足】 ・令和７年度 ICT 活用推進研修会［63 人参加］ 日　　時：令和７年６月 23 日（月） 研修内容：ICT 活用の二極化を解消するための校内研修の仕組み方 ・令和７年度の主な環境整備 タブレット端末年次更新作業（卒業児童生徒分） ネットワークのクラウド化（Microsoft365 の導入） 授業支援アプリの導入
②外国語教育の充実 （教育研修課）	○外国語指導助手（以下「ALT」という。）を下関商業高等学校、小・中学校、こども園及び幼稚園に派遣 ○小・中・高等学校教諭を対象とした ALT とのイングリッシュ・チャット・ルームの開催 【補足】 ・イングリッシュ・チャット・ルーム 日時：令和７年８月８日（金）〔8 名参加〕 内容：ALT が企画・運営に関わり、ALT と気軽に話をすることで参加者の英語力向上を図る。

基本方針	２　豊かな心の育成
主要施策	❶豊かな心を育む道徳教育の推進
主な取組	令和７年度の主な取組内容
①道徳科の授業の充実 （教育研修課）	○各小・中学校における、学校の道徳教育の目標や重点内容項目の明確化、「考え、議論する道徳」の授業づくり ○道徳教育推進教師の役割や特色ある道徳教育の実践事例・取組の啓発 ○「子供にとっても教師にとっても楽しみになる～下関市版～『考え、議論する道徳』の授業づくり」の活用の奨励 ○県教育委員会から「やまぐちっ子の心を育む道徳教育」プロジェクト（令和 6・7 年度指定：勝山小学校、令和７・8 年度指定：垢田中学校）の指定を受けるとともに、道徳教育研修会を開催 【補足】 ・令和７年度道徳教育パワーアップ研究協議会【道徳教育推進教師対象】R7.7.25 実施 ・道徳授業セミナー（下関地区）勝山小学校で R7.11.12 午後開催 （公開授業、分科会）　参加者 100 人 ・令和７年度道徳教育研修会〔68 名参加〕 日時：令和７年６月 27 日(金) 講師：十文字学園女子大学　浅見　拓也　教授
②「下関市いのちの日」の取組 （学校教育課）	○令和７年度「下関市いのちの日」取組実施校 認定こども園・幼稚園 13 園　小学校 41 校　中学校 23 校　高等学校 1 校 【補足】 ・各校・園の主な取組 道徳・学活等「いのち」を題材にした授業…22 校（園） 講演会…37 校（園） 読み聞かせ…14 校（園） 校長・園長講話…4 校（園） 「いのち」をテーマにした音楽劇…1 校

③人権教育の充実 （教育研修課）	○各学校における人権教育の現状及び課題を調査・把握するとともに、改善に向けた指導を実施 ○「山口県人権推進指針」「山口県人権教育推進資料」県教育委員会作成の「学習展開例」を活用した授業の推進 ○保護者・地域向けの人権だよりを学校が作成・配付できるようひな形を作成した。
④体験活動の充実 （教育研修課）	○9 年間を通した自然体験活動やボランティア活動等、体験活動の充実や AFPY 等、人間関係づくりのプログラムを計画的に実施 ○各種体験活動の案内を各学校へ周知した。 【補足】 ・「AFPY」：他者と関わり合う活動を通して個人の成長を図り、豊かな人間関係を築くための考え方と行動の在り方を学び合う山口県独自の体験学習法

主要施策	❷ふるさと学習の推進
主な取組	令和７年度の主な取組内容
①地域素材を活用した授業の計画的な実施 （教育研修課）	○下関市の名所・旧跡をまとめた下関歴史マップ（2,200 部）を作成し、小学校 6 年生児童全員に配付 ○夏季休業中の自由課題として「大すき　ふるさと下関　歴史マップ」の作品募集を行った。 ○夏季休業中の作品作りに向けた「下関歴史マップ」を活用した授業パッケージを作成し、各学校において授業を実施 ○管内の小・中学校を対象に、美術館、歴史博物館、考古博物館のいずれかを行程に入れた校外学習の実施の支援として、バス借上げ事業「わくわくバスツアー」を実施。小学校 20 校、中学校 2 校が活用。 【補足】 ・下関歴史マップ：扱う時代や地域が偏ることなく、調べ学習の意欲を引き出すものとして作成（内容については、歴史博物館学芸員、文化財保護課主任と相談）表面：高杉晋作の業績やゆかりのある場所を紹介　裏面：古墳や遺跡、神社・仏閣、西洋建築物など歴史の舞台を紹介
②地域との関わりをもつ取組の推進 （学校教育課／教育研修課）	＜学校教育課＞ ○子供が、学校や地域社会で暮らし育つ中で、「こんな学校や地域がいいな」という願いや、「こんなことができたらいいな」という思いをもって自ら取り組む活動を支援する、「しものせき『夢・笑顔』クリエイト事業」をスタートさせた。 ＜教育研修課＞ ○「やまぐち PRIDE の醸成」に向け、子供たちが地域と関わり、地域の役に立つ経験をすることができる取組を各校で見直し、学校地域連携カリキュラムの改訂が進むよう働きかけを行った。 ○「子どもが地域の先生プロジェクト」の指定校を養治小学校とし、「わくわくふるさと海峡学」の推進に向け支援した。 【補足】 ＜学校教育課＞ ・令和 7 年度実施校区：3 校区 吉見中学校区（よしみ小中学校、蓋井小中学校） 川中中学校・勝山中学校 豊北中学校区（豊北小学校・豊北中学校・下関北高等学校） ＜教育研修課＞ ・「子どもが地域の先生プロジェクト」（県教委主催事業） 県内 7 地域が指定。子供と大人が共に学ぶ機会を創出する。

主要施策	❸読書活動の推進
主な取組	令和７年度の主な取組内容
①読書活動の充実 （教育研修課）	○朝読書や図書ボランティアによる読み聞かせ等について、家庭や地域と連携しながら継続的な読書活動を実施 ○市内全小・中学校の児童生徒に電子図書館サービスの ID を発行し、タブレット端末等を活用した読書活動を推進
②学校図書館教育の充実 （教育研修課）	○学校司書 20 名を市内全小・中学校に兼務配置する。 ○年間 3 回の研修会を実施し、学校司書の資質向上を図るとともに、ニーズに応じたブロック別研修を計 49 回実施 ○市教委が主催の研修会を開催し、学校図書館教育担当の教職員及び学校司書の資質向上を図る。 【補足】 ・「令和 7 年度学校図書館研修会」〔81 名参加〕 日時：令和 7 年 6 月 13 日 対象：学校図書館教育担当、学校司書、図書ボランティア等 講師：全国学校図書館協議会　野口　武悟　理事長 ・「ブロック研修」：学校司書を経験年数や地域等を考慮して 5 つのブロックに分け、年間を通して課題の共有や研修を実施している。

主要施策	❹不登校対策の充実
主な取組	令和７年度の主な取組内容
①つなぐ・つながる「学びば！」整備事業の推進 （学校教育課）	○校内教育支援教室（自分の教室に入りづらい不登校児童生徒を支援するため、自分の教室以外に学習等ができる専用の部屋、いわゆる別室）の拡充 ○校内教育支援教室の運営の補助を行う会計年度任用職員「こころのアシスタント」の配置や、パーティション・書類整理棚等の配付による運営支援 【補足】 ・校内教育支援教室の設置校 令和 7 年度　小学校 41 校、中学校 23 校　合計 64 校　（全校設置） 令和 6 年度　小学校 22 校、中学校 19 校　合計 41 校 ・人的支援（こころのアシスタント）の配置校 令和 7 年度　23 校 令和 6 年度　16 校
②学びの多様化学校の整備 （学校教育課）	○安心できる居場所づくり 不登校生徒がリラックスでき、安心して学び、生活できる環境づくりの推進 ○特色のある教育活動 登校時刻を 9 時頃に、下校時刻を 15 時頃にするなど、ゆとりのある時間設定や、体験活動や表現活動を重視した「e-がく（学）」の新設など、特色ある教育活動の推進
③保護者の相談窓口や相談機関の充実	○市のＨＰや市報による相談窓口の周知 ○不登校の子供の保護者が、我が子のより良い関わり方について理解を深めるとともに、保護者同士が意見交換し、自身のこころの安定を図る保護者研修会（保護者の集い）を実施

（学校教育課）	【補足】 ・保護者研修会 令和７年度　５回実施（59 人参加） 令和６年度　５回実施（25 人参加） ・令和７年度相談受理件数　274 件 教育相談室　186 件 教育支援教室「かんせい」「あきね」　88 件
④ふれあい DAY キャンプの実施 （学校教育課）	○自然体験・社会体験を通して集団や社会に適応する力を養うために「ふれあい DAY キャンプ」を実施 ○熱中症対策として、夏開催から秋開催に変更した。 【補足】 ・令和７年 11 月 18 日（火）「深坂自然の森」にて実施　参加者数：79 人 ・令和６年８月１日（木）「深坂自然の森」にて実施　参加者数：59 人

基本方針	３　健やかな体の育成
主要施策	❶体力の向上
主な取組	令和７年度の主な取組内容
①家庭と連携した運動の習慣化に向けた取組の推進 （教育研修課）	○各校においてタブレット端末等を活用し、家庭で実践可能な運動メニューの動画を配信し、家庭における運動の取組を推進 ○各校の学校保健安全委員会等において、児童生徒の体力の状況を報告するとともに、家庭における運動の必要性や具体的な取組の周知
②指導方法の工夫改善による学校体育の充実 （教育研修課）	○各校において、新体力テスト等の記録を基に体力向上レポートを作成し、課題に応じた重点的な取組を計画・実施する。 ○山口県教育庁より派遣される「体育授業マイスター」を希望校に派遣し、専門的な指導助言を受ける機会を設ける。 ○外部スポーツ指導者等による体育授業支援事業を活用し、外部団体と連携した授業改善を推進する。 【補足】 ・「体力向上レポート」：児童生徒の体力向上を目的とした実践活動について計画・評価した報告書 ・「体育授業マイスター」：小学校体育科授業において高い指導力を有する教員を「体育授業マイスター」に任命し、学校に派遣する制度。令和７年度は下関市に３名のマイスターが在籍。（計９回実施）
③スポーツ大会の運営及び選手派遣等の支援 （教育研修課）	○中学校体育連盟主催の事業に対して支援を行い、生徒の体力・競技力の向上を促進 ○中学校体育連盟への補助事業を通して選手派遣を支援することで、保護者の負担を軽減。多くの選手が、より多くの大会に参加しやすい環境づくりを進める。 【補足】 ・中学校体育連盟補助金　　6,200 千円

主要施策	❷健康教育の推進
主な取組	令和７年度の主な取組内容
①健康教育に関する研修会の実施 （教育研修課）	○小・中学校の健康教育の中核を担う教職員を対象とした研修会を開催 【補足】 ・県小中学校体育主任研修会(年１回)(R7:54 人参加) ・養護教諭研修会(年１回)(R7:62 人参加) ・食育研修会(隔年１回)(R7:62 人参加)

②組織的・計画的な学校保健の推進

○「早寝、早起き、朝ごはん」など、望ましい生活習慣を形成するために、各校での生活アンケートの活用や学校運営協議会における課題の共有などについて、校長会や校内研修等において指導助言を実施

【補足】

・令和5～7年度全国学力学習状況調査　児童生徒質問紙結果より（いずれも「している・どちらかといえばしている」児童生徒の割合）

(質問項目1)朝食を毎日食べていますか。

対象	R７	R６	R５
小学校６年生	93.2%	92.7%	93.7%
小学校３年生	88.9%	91.4%	91.7%

(質問項目2)毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。

対象	R７	R６	R５
小学校６年生	80.1%	82.0%	81.4%
小学校３年生	79.7%	81.2%	79.6%

(質問項目3)毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。

対象	R７	R６	R５
小学校６年生	89.8%	90.2%	89.3%
小学校３年生	91.9%	92.1%	91.9%

（教育研修課）

主要施策	❸食育の推進
主な取組	令和７年度の主な取組内容

①地場産食材の利用

○関係機関・部署、学校給食物資納入業者が参集し、学校給食への地場産物の円滑な使用と使用品目・使用回数の増加を目指すため、「地場産農産物学校給食連絡会」を3回開催した。

【補足】

・地場産食材の地域品目別使用割合

	令和７年度	令和６年度	令和５年度
県内産品	52.3%	48.0%	57.8%
市内産品	16.9%	20.1%	24.4%

（学校保健給食課）

②食育推進ボランティアの活用

○豊田梨共同出荷組合員が小学生を対象に、梨づくりの仕事内容、工夫や苦労、梨の種類等について講話を行った。

【補足】

	令和７年度	令和６年度	令和５年度
食育教室参加者数（延べ）	351人	393人	578人
食育推進ボランティア数(延べ)	4人	4人	7人

（学校保健給食課）

③食に関する授業や指導の充実

○市内全小・中学校における栄養教諭の巡回訪問体制を整備し、栄養教諭による児童生徒の食に関する授業実践や資料提供を実施

○栄養教諭の資質向上、授業力向上につながる研修を実施及び支援

○食に関する指導研修会（栄養教諭配置校訪問）において、授業研究や参加者同士のグループ協議等を通して、学校の実態に応じた食育推進の取組を支援

【補足】

・市内栄養教諭等配置数（R7:20人）

・巡回訪問回数(R7:合計231回)

・食育研修会の開催（隔年1回）(R7:62人参加)

・食に関する指導研修会(R7:17人参加)

（教育研修課）

④学校給食の充実

○時節に応じた食材や行事食を毎月の献立に取り入れ、学校給食を通じて、季節感の醸成と食文化の普及に努めた。
○平成 25 年度から全国各地の郷土料理を紹介する取組を開始し、令和 7 年度は愛知県の郷土料理を給食献立として実施した。
○食物アレルギーを有する児童生徒の保護者に対して、要望に基づき、学校給食における取組として、使用食材が詳細にわかる献立表を事前配布した。

【補足】

・詳細献立表配布人数（全児童生徒数に対する割合）

	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度
小学校	244 人（2.3%）	304 人（2.8%）	263 人（2.4%）
中学校	108 人（2.0%）	108 人（2.0%）	105 人（1.8%）

（学校保健給食課）

基本方針	4　子供たちの状況に応じたきめ細かな教育の推進
主要施策	❶特別支援教育の推進
主な取組	令和 7 年度の主な取組内容

①小・中学校への特別支援教育支援員の配置

○特別な支援を必要とする子供が就学する小・中学校において、生活や学習上の困難を改善・克服するため、適切な支援・介助を行う特別支援教育支援員を配置
○学校との情報共有を密に行いながら児童生徒の状況把握に努め、支援の必要性の高い学校へ順次、追加配置を行う等、きめ細かな支援体制を構築

【補足】

・特別支援学級数、児童生徒数推移

	令和7年度		令和6年度		令和 5 年度	
	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数
小学校特別支援	126	585	118	577	120	565
中学校特別支援	58	222	59	213	60	219
計	184	807	177	790	180	784

・特別支援教育支援員数（年度末時点）

令和 7 年度　150 人
令和 6 年度　143 人
令和 5 年度　143 人

・特別支援教育支援員の業務概要

学習指導の補助、生活指導の補助、日常生活における介助業務等

（学校教育課）

②「就学に関する相談支援事業」の実施

○学びの場の柔軟な見直しや、教育的ニーズを整理することの必要性を踏まえ、「就学に関する相談員（就学相談員）」との相談や知能検査の結果を基に、児童生徒の適切な就学先検討を行う。

【補足】

・依頼している心理士　令和 7 年度　4 人
・実績　令和 7 年度　50 件　　令和 6 年度　27 件　　令和 5 年度　17 件

（学校教育課）

③下関市教育支援委員会の開催

○障害のある子供の状況を正しく理解し、一人ひとりの可能性が最大限に伸長される適切な就学先や必要な教育支援について審議するため、下関市教育支援委員会を開催
○下関市教育支援委員会前に実施する就学相談会を含め、児童生徒及び保護者への丁寧な聞き取りや、一人ひとりの状況に即した審議を実施

<table>
<tr><td>（学校教育課）</td><td>【補足】
・下関市教育支援委員会開催回数と審議した幼児児童生徒数
令和７年度 開催回数 ４回　審議した幼児児童生徒数　272 人
令和６年度 開催回数 ４回　審議した幼児児童生徒数　238 人
令和５年度 開催回数 ４回　審議した幼児児童生徒数　256 人</td></tr>
<tr><td>④特別支援学級や通級指導教室の充実

（学校教育課／学校支援課）</td><td>＜学校教育課＞
○個別の教育的ニーズのある児童生徒に対し、その時点で教育的ニーズに最も的確に応える指導を提供できる、多様で柔軟な仕組みや環境を整備する。
○小学校段階での就学時は、県立学校ではなく、まずは地域の小学校での学びの可能性を検討すること、通常の学級における指導の充実を図ることなどの国が示す方向性から、小・中学校における特別支援学級や通級指導教室について、必要性を具体的に検討し、拡充を図る。
＜学校支援課＞
○小・中学校の特別支援学級や通級指導教室における教育活動に必要な教材や備品などを整備する。

【補足】
＜学校教育課＞
・特別支援学級の新設（入れ替えによる継続設置を含む。）
令和７年度　新設７校
令和６年度　新設 10 校
令和５年度　新設９校
・通級指導教室の新設
令和７年度　勝山小学校通級指導教室
令和６年度　川中西小学校通級指導教室
令和５年度　東部中学校通級指導教室
＜学校支援課＞
<table><tr><td>事業名</td><td>令和7年度</td><td>令和6年度</td><td>令和5年度</td></tr><tr><td>小学校特別支援学級設備整備</td><td>5,223千円</td><td>5,365千円</td><td>5,450千円</td></tr><tr><td>中学校特別支援学級設備整備</td><td>3,195千円</td><td>2,895千円</td><td>3,029千円</td></tr><tr><td>計</td><td>8,418千円</td><td>8,260千円</td><td>8,479千円</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>⑤特別支援学級就学に対する助成

（学校教育課）</td><td>○児童生徒の特別支援学級への就学について、就学に関しての特別な事情を配慮し、保護者の経済的負担を軽減する。

【補足】
・特別支援教育就学奨励費
<table><tr><td></td><td colspan="2">令和7年度</td><td colspan="2">令和6年度</td></tr><tr><td></td><td>対象者数</td><td>事業費</td><td>対象者数</td><td>事業費</td></tr><tr><td>小学校</td><td>535 人</td><td>6,285 千円</td><td>532 人</td><td>8,498 千円</td></tr><tr><td>中学校</td><td>155 人</td><td>4,267 千円</td><td>143 人</td><td>4,524 千円</td></tr></table></td></tr>
</table>

基本方針	５　主体的に社会の形成に参画する態度の育成
主要施策	❶社会を生き抜く力の育成
主な取組	令和７年度の主な取組内容
①地域課題について取り組む活動の実施 （教育研修課／生涯学習課）	○総合的な学習の時間や特別活動において、各学校の実態に合わせた地域課題を設定し、解決に向けた主体的な取組となるよう、学校運営協議会において指導助言をしたり、学校・地域連携カリキュラムの改訂について支援したりした。

②租税、お金などの学習の実施 （教育研修課）	○各校において、下関地区租税教育推進協議会による「租税教室」を実施し、税に関する理解を深める機会を設定している。 ○各種租税作品（作文・書写・絵はがき）の応募に向けた周知 【補足】 ・「下関地区租税教育推進協議会」による租税教室：公益社団法人下関法人会等が租税教育の一環として小中高校へ出向いて出前授業を実施

主要施策	❷キャリア教育の推進
主な取組	令和７年度の主な取組内容
①職場見学・職業体験・就業体験活動等の実施 （教育研修課）	○各学校における「職場見学」や「職場体験学習」、「しものせき未来創造 job フェア」への参加 ○ボランティア団体「キャリア教育研究会」による出前授業が市内小中学校で開催されるなど、夢や志を抱くことができる特色ある取組の充実が図られている。 【補足】 ・「しものせき未来創造 job フェア」：産業立地・就業支援課の事業。地元下関の企業･団体をわかりやすく紹介し、仕事の魅力や地域社会とのかかわり等を体験することで、働くことの意味やビジョンを描く集合型職業体験イベント ・「キャリア教育研究会」：出前授業「夢授業」を提供するプログラムを運営するボランティア団体。「夢授業」とは、一般社会で楽しく、熱心に働く様々な職業に就く大人（職業人）が学校に集まり「仕事のやりがい」や「働くよろこび」について対話するプログラム
②「キャリア・パスポート」の活用 （教育研修課）	○「フォローアップ（2 年次）研修」及び「中堅教諭等資質向上研修」において、令和 2 年度から実施となった「キャリア・パスポートの活用」をテーマに講義を開催 ○「キャリア・パスポート（令和 7 年度一部改訂）」について各校への周知を行い、全ての学校での実施を確認 【補足】 ・「キャリア・パスポート」：児童生徒が小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる諸活動について特別活動の学級活動及びホームルーム活動を中心とし、各教科等と自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりしながら、自身の変容や成長を自己評価できるよう工夫されたもの
③資格取得の推進 （下関商業高等学校）	○公認会計士試験や税理士試験、日本商工会議所簿記検定 1 級、全国経理教育協会主催簿記能力検定上級試験合格又はこれに準ずる専門知識の習得を目的とした学習の推進 【補足】 ・高大連携授業（スーパー・アカウンティング・ハイスクール） 日商簿記を始め難易度の高い検定等に合格を目指す生徒に対し、これに対応できる学習支援環境を提供

基本方針	6　学校の組織力の向上
主要施策	❶学校運営協議会を中心とした地域との連携の推進
主な取組	令和７年度の主な取組内容
①学校運営協議会の機能向上	○学校や地域の「願い」を実現するために、全小・中学校が家庭・地域と一体となり、学校運営・学校支援・地域貢献の充実を目指して学校運営協議会を実施できるよう、担当校指導主事が学校運営協議会に出席し、指導助言を行った。 ○CS チーフとの連携により、各地域の活動の様子を把握し、その情報を更に各地域に伝達した。

（教育研修課）	【補足】 ・CS チーフ：県立学校の学校運営協議会に対する助言・支援、地域学校協働活動推進委員との連絡調整・情報共有及び市教育委員会への助言・支援を行うため、県が任用
②学校・地域連携カリキュラムの活用 （教育研修課）	○各中学校区で学校・地域連携カリキュラムを作成・共有し、「やまぐち PRIDE」の視点から、熟議を通して見直しを行った。 【補足】 ・「やまぐち PRIDE」：ふるさと山口の未来を創る心意気

主要施策	❷校種間の連携の推進
主な取組	令和 7 年度の主な取組内容
①小中一貫教育の推進 （教育研修課）	○平成 27 年度に「下関市新しい学校づくり推進委員会小中一貫教育部会」を立ち上げ、本市の実情に合った小中一貫教育を研究 ○平成 28 年度から 2 年ごとに「小中一貫教育研究推進校」を指定し、よりよい小中一貫教育のあり方を研究 ○平成 28 年度から小中連携・一貫教育に関する中核市研修を実施 ○令和 7 年度は施設隣接型の小中一貫教育校よしみ小中学校を令和 7 年 4 月に開校 ○名陵学園が開校から 3 年経過したことから、成果と課題について整理・分析する「評価検証表」を作成し、推進委員会において検討した。 【補足】 ・小中一貫教育研究推進校 令和 5~8 年度　吉見中学校区、玄洋中学校区 令和 4･5 年度　内日中学校区 令和 2･3 年度　豊北中学校区 ・小中一貫教育研究推進校（吉見中学校区）の取組 ①中学校内に 6 年 1 組の教室を配置し、午後に授業を実施 その後部活動見学等を実施 ②小・中合同研修会の回数を 2 回から 4 回に増やした。 ③学校運営協議会を小・中合同で開催 ・令和 7 年度小中連携・一貫教育研修会　8 月 27 日開催〔66 名参加〕
②なめらかな接続のための体制づくり （教育研修課）	○こ幼保小連携を図るための研修会を開催し、幼児教育長期研修生による報告や校種を越えた意見交流を行い、小学校と各園が、取組についての情報交換や連携の在り方について協議する場を提供 【補足】 ・幼児教育長期研修生配置校（過去 3 年） 令和 7 年度　西市小学校→西市こども園 令和 6 年度　山の田小学校→泉幼稚園 令和 5 年度　川中小学校→川中幼稚園 ・「なめらかな接続」のための連携教育研修会　5 月 29 日開催〔64 名参加〕

主要施策	❸教職員の適切な配置
主な取組	令和７年度の主な取組内容
①教職員の適切な人事管理 （学校教育課）	○教職員一人ひとりがそれぞれのモチベーションやキャリアステージに応じた資質能力の向上を図り、専門性を発揮しながら、特色ある学校づくり、確かな学力の育成や体力の向上、生徒指導の充実、キャリア教育の推進等の諸課題に組織的かつ適切に対応できるよう、全市的な視野に立った人事配置を実施 ○学校の人員不足を解消するため、非常勤講師の追加配置を県に要望し実現した。 ○県教育委員会と連携し、学校の実情に応じた、よりきめ細やかな指導が行えるよう非常勤講師を配置 【補足】 R7 R6 R5 (小)学力向上等支援員 3人 3人 5人 (小)一般非常勤(複式解消) 9人 9人 10人 (小)一般非常勤(特別支援教育) 4人 4人 2人 (中)一般非常勤(許可免解消) 24人 22人 8人 (中)一般非常勤(特別支援教育) 0人 0人 0人
②支援員等の活用 （学校教育課）	○特別支援教育支援員 障害のある児童生徒に対し、日常生活動作介助や学習指導の補助、生活指導の補助等の業務に従事 ○医療的ケア支援員 医師の指示に基づいた医療的ケアの実施及びそれに伴う健康管理等の業務に従事 ○こころのアシスタント 校内教育支援教室の運営の補助を行う会計年度任用職員「こころのアシスタント」の拡充 【補足】 配置人数等 ・特別支援教育支援員 令和７年度 150人 令和６年度 143人 令和５年度 143人 ・医療的ケア支援員 ※令和８年度～ ２人（生徒１名卒業のため） 令和７年度 ４人 令和６年度 ４人 令和５年度 ４人 ・こころのアシスタント 令和７年度 20人・23校 令和６年度 16人・16校

主要施策	❹学校における働き方改革の推進
主な取組	令和７年度の主な取組内容
①業務の見直し・効率化 （学校教育課）	○学校行事・学習活動の精選や内容の見直しを図りながら、事務処理等においてICTを積極的に活用することによって、効率化を推進
②勤務体制等の改善	○時間外在校等時間を適切に把握し、教職員の意識改革を進め、柔軟な勤務体制の整備や業務・活動時間のルール化等の取組を推進 ○応答機能付き留守番電話装置を活用し、業務改善を推進 ○学校閉庁日や時差出勤、ノー残業デー等の取組を実施し、メリハリのある働き方を推進

（学校教育課）	【補足】 ・下関市立小・中学校教諭等の一人あたりの平均時間外在校等時間（月平均） （時間） 令和７年度：令和６年度：令和５年度 小学校：31.8：33.6：35.8 中学校：37.3：39.7：39.1
③学校支援人材の活用 （学校教育課）	○学校の教育活動における地域の人材活用等、校務や地域連携活動、部活動等を支援する外部人材の更なる活用

基本方針	7　教職員の指導力の向上
主要施策	❶指導力を高める研修の実施
主な取組	令和７年度の主な取組内容
①教職員の経験に応じた研修の実施 （教育研修課）	○「山口県教員育成指標」に基づいて、教職員一人ひとりの資質向上を図るため、「基本研修」・「専門研修」・「希望研修」等、5つの研修体系・研修計画を整え、研修と育成指標の対応関係を意識した「育成指標対応表」を活用 ○教職員のキャリアステージに対応するため、初任者、2年次、3年次、6年次及び中堅教諭を対象に、職務に関する専門的知識と実践上の課題について、それぞれの経験に応じた研修を実施 【補足】 ・5つの研修体系：基本研修、専門研修、希望研修、支援研修、派遣研修 ・初任者（7回）、2年次(2回)、3年次（1回）、6年次（2回）、中堅教諭（4回）
②教職員の専門性を高める研修の実施 （教育研修課）	○教職員の資質向上を図り、より質の高い教育を提供するため、認定こども園、幼稚園・小・中・高等学校教職員に対して、中核市として市独自に教職員研修講座を全48講座開催 ○研修内容を整理し、教職員のニーズや学校における様々な教育問題に対応した研修会を実施 【補足】 ・教職員研修 基本研修…悉皆研修（5講座）、専門研修（17講座） 希望研修…20講座 派遣研修（2講座）、支援研修（4講座）
③校内研修等への支援体制の充実 （教育研修課）	○全ての小・中学校に、年1回研修支援訪問を行うとともに、認定こども園・幼稚園については幼児保育課と連携して、研修支援訪問を行っている。また、園・学校からの要請に応じて、その都度校内研修等に指導主事等を派遣した。 ○担当園・学校や専門分野を決めて日常的に指導主事等が園・学校訪問を行うことにより、学力向上や生徒指導、特別支援教育、学習指導要領に関する情報提供、ICT機器の活用等、園・学校の課題に応じたきめ細かな支援を推進している。 ○県教育委員会の学校訪問にも同行し、県市が協力して、児童生徒の学力向上、学校の研修の充実、教員の授業力向上に向けての支援を実施した。
④研修履歴の効果的な活用 （学校教育課／教育研修課）	＜学校教育課＞ ○教職員の資質向上・キャリアアップの視点から、全国教員研修プラットフォーム（Plant）や自己目標シートを活用して、管理職による個人面談等で教職員一人ひとりの研修の奨励を図る。 ＜教育研修課＞ ○研修履歴の活用について、目的や意義、登録方法等の周知を図った。

主要施策	❷教育センターの運営
主な取組	令和７年度の主な取組内容
①教育センターの運営 （教育研修課）	○教育センター研修等全体の令和７年度稼働率は 78.9%、利用延べ人数は 35,949 人。各種研修・会議等を実施しており、教職員の研修拠点として有効に活用。 【補足】 （教育センター施設概要） ・下関市幡生新町１番１号（幡生操車場跡地） ・敷地面積　7,997.52 ㎡ ・建築面積　1,104.24 ㎡ ・延床面積　2,916.63 ㎡ ・構造　鉄筋コンクリート構造　３階＋ペントハウス階１階 ・主要機能　教職員研修、教育相談、教育委員会事務局 【主な研修会・会議等】 ・市内公立園長会、小・中校長会、小・中教頭会、下関市教育研究会各教科 ・領域部会、県教育委員会主催各種研修会、下関市主催各種研修会、教員自主研修会等

基本方針	８　教育環境の整備
主要施策	❶市立学校の適正規模・適正配置の推進
主な取組	令和７年度の主な取組内容
①基本計画に基づく教育環境の改善 （教育政策課）	○第４期下関市立学校適正規模・適正配置基本計画の策定に当たり、市内の小・中学校を対象にアンケート調査を実施するとともに、市内９会場で地元説明会を開催し、あわせてパブリックコメントを実施した。 ○第４期下関市立学校適正規模・適正配置基本計画に基づき、学校統合に向けた合意形成を進めるため、保護者説明会を５回実施した。 ○玄洋中学校区においては、令和９年４月の新たな施設一体型小中一貫教育校の開校を目標に、「玄洋中学校区小中一貫教育校開校準備協議会」において、学校名、学園章、校歌等について協議を進めている。 【補足】 ・「第４期下関市立学校適正規模・適正配置基本計画（令和７年８月策定）」 少子化に伴い、市立小・中学校の小規模化が進行する中、将来にわたって義務教育の教育水準の維持・向上を図り、子供たち一人ひとりの「生き抜く力」を育てることができる、よりよい教育環境を実現することを目的として策定された計画

主要施策	❷私学教育の振興
主な取組	令和７年度の主な取組内容
①私学に対する助成 （教育政策課／学校教育課）	○私立学校等の特色ある教育事業を促進し、本市の学校教育の発展を図るため、私立中学校、私立高等学校及び私立専修学校（私立高等専修学校を含む。）に対し、事業の実施等に係る経費の一部を助成 【補足】 ・私学助成実績

対象別	令和7年度	令和6年度	令和5年度
私立中・高	6,480千円	6,568千円	6,469千円
私立専修学校	494千円	597千円	600千円
私立高等専修学校	528千円	―	―

主要施策	❸学校給食施設再編整備の推進
主な取組	令和７年度の主な取組内容
①給食施設の集約化・民間委託化 （学校保健給食課）	○下関市学校給食施設再編整備計画策定のため、部内検討委員会を４回開催した。計画（素案）について、令和８年１月にパブリックコメントを実施するとともに、中学生を対象とした子供パブリックコメントを実施した。 ○岡枝小学校で給食を調理し、楢崎小学校に配送する親子方式を実施した。 【補足】 ・「下関市学校給食施設再編整備計画」 老朽化が進み、学校給食衛生管理基準に適合していない学校給食施設の再編・整備に関する全体的な計画
②学校給食施設の衛生管理 （学校保健給食課）	○優先順位の高い調理機器や衛生機器の更新を行った。 【補足】 ・使用年数や使用頻度、故障頻度等に応じて、更新の優先順位を決定している。

主要施策	❹安全な施設の整備、設備の充実
主な取組	令和７年度の主な取組内容
①学校施設の長寿命化 （学校支援課）	○老朽化により劣化の進行した学校施設の構造体（柱、梁、壁、床等）の耐久性と建物の安全性を向上させる大規模改修事業と、大規模改修が行われるまでの保全を目的として防水改修工事や外壁改修工事等を行う予防保全事業を実施する。 ○あわせて、令和３年に策定した「下関市立学校施設長寿命化計画」の改定を行った。 【補足】 事業名 / 令和７年度 / 令和６年度 / 令和５年度 委託料 / 44,985 千円 / 6,413 千円 / 14,897 千円 工事費 / 1,171,363 千円 / 894,181 千円 / 261,015 千円
②学校施設の整備 （学校支援課）	○小・中学校校舎の約９割が建築後 30 年を経過し老朽化が進む中、安全で安心な教育環境を維持するため学校施設の修繕、改修工事等を実施する。 【補足】 事業名 / 令和７年度 / 令和６年度 / 令和５年度 修繕・工事 / 1,336,443 千円 / 597,327 千円 / 482,083 千円 ※令和７年度に実施した主な工事 トイレ快適化（垢田小、長府小、吉見中）　247,782 千円 中学校特別教室空調整備　503,562 千円 小学校特別教室空調整備　429,165 千円 学びの多様化学校整備　49,843 千円 学校遊具整備　25,687 千円
③GIGA スクール構想の推進	＜学校教育課＞ ○学校の業務効率化によって教育の質をより高めるため、クラウドベースの校務環境を整備する。 ＜学校支援課＞ ○国の「GIGA スクール構想」及び「教育の ICT 化に向けた環境整備５か年計画」における目標水準の達成に向け、児童生徒及びその指導者に１人１台のタブレット端末を配布し、学習環境を整備する。

（学校教育課／学校支援課）

【補足】

＜学校支援課＞

事業名	令和７年度	令和６年度	令和５年度
通信運搬費等	37,535 千円	40,923 千円	39,547 千円
電子黒板導入	4,888 千円	29,733 千円	－

④学校施設の GX の推進

（学校支援課）

○再生可能エネルギー由来の電力を最大限に活用するため、電力契約の見直しを行う。あわせて児童生徒の快適な学習環境の確保及び省エネルギー化を目的として、製造・輸出入の廃止が決定している蛍光ランプについて LED 化を図る。

主要施策 ❺就学に対する支援

主な取組 ／ 令和７年度の主な取組内容

①学用品費等の援助

（学校教育課）

○経済的理由によって就学が困難な市立学校（山口県立下関中等教育学校を含む。）の児童生徒の保護者へ就学援助を実施

【補足】

		令和７年度		令和６年度		令和５年度	
学用品費等	小学校	1,504 人	34,435 千円	1,630 人	36,893 千円	1,788 人	40,849 千円
	中学校	924 人	57,697 千円	1,052 人	61,201 千円	1,158 人	61,299 千円
	合計	2,428 人	92,132 千円	2,682 人	98,094 千円	2,946 人	102,148 千円
給食費	小学校	1,344 人	10,050 千円	1,503 人	31,765 千円	1,648 人	34,242 千円
	中学校	852 人	6,506 千円	1,004 人	20,987 千円	1,102 人	23,069 千円
	合計	2,196 人	16,556 千円	2,507 人	52,752 千円	2,750 人	57,311 千円
医療費	小学校	0 人	0 千円	0 人	0 千円	52 人	400 千円
	中学校	0 人	0 千円	0 人	0 千円	27 人	150 千円
	合計	0 人	0 千円	0 人	0 千円	79 人	550 千円

②遠距離通学に対する援助

（学校教育課）

○片道の通学距離が小学校は 4 キロメートル以上、中学校は 6 キロメートル以上の児童生徒を対象に、通学費の援助を実施

【補足】

・遠距離通学の対象者数

令和７年度　121 人（小学校 102 人、中学校 19 人）

令和６年度　123 人（小学校 108 人、中学校 15 人）

令和５年度　130 人（小学校 113 人、中学校 17 人）

③スクールバスの運行

（学校教育課）

○豊田、豊浦、豊北地区において、スクールバスの運行を実施

【補足】

・スクールバス運行台数

豊田　3 台（西市小学校、豊田中学校）

豊浦　2 台（川棚小学校 1 台（リース車両）、夢が丘中学校 1 台（リース車両））

豊北 11 台（豊北小学校、豊北中学校（うちリース車両 1 台））

④奨学金の貸付

（学校教育課）

○有用な人材育成のため、向学心があるにもかかわらず、経済的理由により修学が困難な者に対し、学資を貸し付け、支援を実施

【補足】

・貸付状況　（単位：人、円）

	合計		大学		高校	
年度	人員	貸付金総額	人員	貸付金総額	人員	貸付金総額
令和７年度	15	6,432,000	13	6,000,000	2	432,000
令和６年度	14	5,598,000	10	5,040,000	4	558,000
令和５年度	14	5,616,000	9	4,320,000	5	1,296,000

（2）地域の教育力を高めます

基本方針	1　家庭の教育力の向上
主要施策	❶保護者が学ぶための学習支援
主な取組	令和７年度の主な取組内容
①家庭教育学級 （生涯学習課）	○家庭教育の充実を図るため、こども園、幼稚園及び小・中学校において、保護者を対象に家庭教育学級を開催。 【補足】 ・家庭教育学級（こども園、幼稚園）の開催状況 令和７年度　14 会場　開催回数 26 回　参加者数 1,174 人 令和６年度　14 会場　開催回数 27 回　参加者数 1,363 人 令和５年度　15 会場　開催回数 24 回　参加者数 1,230 人 ・家庭教育学級（小学校）の開催状況 令和７年度 「子どもたちに伝えたい！親として、大人として、地域として」 8 回　参加者数 764 人 「ゲーム・ネット・スマホとの上手な付き合い方」 4 回　参加者数 620 人 「個性をのばして生きる」　5 回　参加者数 998 人 「子供たちのこころの成長に大切なこと」 4 回　参加者数 227 人 「一人一人の子どものよりよい未来のために」 1 回　参加者数 70 人
②家庭教育推進事業 （生涯学習課）	○ものづくりや体を動かす活動を中心とした、親子参加型の体験講座を開催した。 【補足】 ・令和７年度　講座回数 55 回　参加人数 703 人 （リトミック・体操・日舞など）
③家庭教育支援チームの設立・活動支援 （生涯学習課）	○家庭教育支援チームの活動を支援するとともに、各チームの特色を生かしながらチーム同士の連携を促進させる。また、すでに家庭教育支援に向けた取組をしている団体にも登録を促し、登録チーム数を増加させる。 【補足】 ・令和７年度　７チーム（1 チーム新設） ・令和６年度　６チーム（2 チーム新設） ・令和５年度　４チーム
④家庭教育アドバイザーの育成 （生涯学習課）	○県が主催する「家庭教育アドバイザー養成講座」「家庭教育アドバイザーステップアップ講座」の周知に努め、家庭教育アドバイザーの拡大を図る。 【補足】 ・家庭教育アドバイザー養成講座 全課程修了者　26 名 ・家庭教育アドバイザーステップアップ講座 全課程修了者 13 名 令和７年度 家庭教育アドバイザー養成講座　受講者数 13 名 家庭教育アドバイザーステップアップ講座　受講者数 2 名

主要施策	❷家庭教育を支える組織の育成
主な取組	令和７年度の主な取組内容
①下関市 PTA 連合会の活動支援	○研修等における保護者の学びの機会の提供を通した家庭の教育力向上を目的に、下関市 PTA 連合会に対して補助金を交付した。

（生涯学習課）	【補足】 ・令和７年度 320,000 円（幼・小・中 PTA 連合会の統合による） ・令和６年度 616,000 円 ・令和５年度 690,000 円
②下関市連合婦人会の活動支援	○各地域の婦人会や女性団体の活動を促進し、家庭教育支援事業の充実を図ることを目的に、下関市連合婦人会に対して補助金を交付した。
（生涯学習課）	【補足】 ・令和７年度　730,000 円 ・令和６年度　730,000 円 ・令和５年度　730,000 円
③家庭教育支援チームの設立・活動支援【再掲】	○家庭教育支援チームの活動を支援するとともに、各チームの特色を生かしながらチーム同士の連携を促進させる。また、すでに家庭教育支援に向けた取組をしている団体にも登録を促し、登録チーム数を増加させる。
（生涯学習課）	【補足】 ・令和７年度　７チーム（1 チーム新設） ・令和６年度　６チーム（2 チーム新設） ・令和５年度　４チーム

主要施策	❸関係機関・関係団体との連携
主な取組	令和７年度の主な取組内容
①行政機関内での連携	○子育て支援に関係する部局同士の協議の場を設定し、情報共有と連携の強化を図った。また、子育て関係課やこども発達センターと連携し、子育てに関する研修会を開催した。
（生涯学習課）	【補足】 ・地域連携教育推進会議にて子育て支援における取組について各課間で情報共有。 ・子ども指導者研修会にてこども発達センターより講師を招き、子育てや発達に関する研修を実施。関係各部局職員も受講。
②関係団体との連携	○家庭教育支援チームの新規登録を増やすとともに、子育て支援に関する研修について広く周知を行った。家庭教育支援チームの新規登録にあたっては、社会教育団体や NPO 法人等既存の団体に向けて積極的に制度周知を図った。
（生涯学習課）	【補足】 ・令和７年度　７チーム（1 チーム新設【既存団体】） ・令和６年度　６チーム（2 チーム新設【いずれも既存団体】） ・令和５年度　４チーム

基本方針	２　学校・家庭・地域の連携強化
主要施策	❶地域とともにある学校づくりの推進
主な取組	令和７年度の主な取組内容
①コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進 （教育研修課／生涯学習課）	＜教育研修課＞ ○地域学校協働活動推進員及び地域連携担当教職員の資質向上及び活動充実のための研修会を開催した。 ＜生涯学習課＞ ○地域連携教育担当者会議は教職員と地域学校協働活動推進員が参加したり、各学校においては学校運営協議会に推進員が必ず参加したりするなど、地域連携教育について学校と地域が同じ方向性で取り組んでいる。また、各学校の学校運営協議会では、分野を問わず幅広い人材が委員となっている。

②地域学校協働本部の活動の充実 （生涯学習課）	○各中学校区単位で地域学校協働本部を置き、学校と連携しながら、地域住民が参画し子供の学びを支援している。
③地域学校協働活動推進員の資質向上 （生涯学習課）	○地域学校協働活動推進員を対象とした会議や研修会を通して、各推進員の取組について情報交換の場を設けた。 【補足】 ・地域学校協働活動推進員会議（7 月）【対面】 ・地域連携教育担当者研修会（10 月）【対面】 ・地域連携教育自主学習会（12 月）【オンライン】
④学校・家庭・地域の連携に関する情報発信 （生涯学習課）	○地域連携教育だよりをホームページに掲載し、広く情報を市民に発信した。 【補足】 ・令和 7 年度　発行回数 12 回

主要施策	❷地域の子供を地域で育てる活動の促進
主な取組	令和 7 年度の主な取組内容
①公民館地域ふれあい活動の充実 （生涯学習課）	○子供や親子を対象とした学習・体験活動を各公民館で実施し、子供の健やかな成長を支援するとともに、地域住民との交流を通じた世代間交流の促進及び地域コミュニティの活性化を図った。
②放課後子供教室の充実 （生涯学習課）	○放課後の子供の居場所と多様な学びの確保を目的に、地域住民の参画を得て放課後子供教室を実施している。また、放課後児童クラブと連携した活動も展開している。 【補足】 ・令和 7 年度　17 教室　　令和 6 年度　18 教室　　令和 5 年度　20 教室
③社会教育人材の育成 （生涯学習課）	○地域学校協働活動推進委員に向けた研修や、社会教育士・家庭教育アドバイザーや地域協育ネットコーディネーターの養成に向けた講座等を広く市民に周知した。
④地域学習の推進 （生涯学習課）	○社会教育振興大会を開催し、地域で活躍している企業や団体の事例紹介や、地域で活躍している人材によるパネルディスカッション等を行った。また、各公民館において受け入れた市立大学看護学部の実習では、地域踏査や公民館学級への参加等を通して、地域の良さや課題について考えた。 【補足】 ・社会教育振興大会（菊川ふれあい会館）　参加者 196 人
⑤地域で子供に関わる団体への支援 （生涯学習課）	○子ども指導者研修会では、子供の指導に関わる多くの団体から参加を募り、研修を行った。 【補足】 ・令和 7 年度　子ども指導者研修会　参加人数 38 名
⑥学校部活動改革の推進	○下関市学校部活動地域展開に関する有識者会議において、市の方針や取組に対して、有識者、関係団体等から意見聴取 ○下関市の部活動地域展開の方針を決定し、リーフレットを通して学校及び保護者に周知

（教育研修課）	【補足】 ・下関市学校部活動地域展開に関する有識者会議 【目的】 本市における中学校部活動の在り方や、中学生の誰もが居住区や経済的な事情に左右されずに、希望する活動を行うことができる環境を継続的に整備するため、外部有識者から意見を聴取する。 【検討事項】 (1) 下関市学校部活動の在り方に関すること (2) 下関市地域クラブ推進計画に関すること (3) その他必要な事項に関すること 【日程】 第1回　令和7年10月23日（木） 第2回　令和7年11月20日（木） 第3回　令和7年12月15日（月）
⑦「こどもみまもり隊」との連携の推進 （生涯学習課）	○子供たちが安心して学校へ行くことができるよう、学校・家庭・地域が連携して登下校時等の安全確保のため実施している「こどもみまもり隊」活動と「地域学校協働本部」の連携を推進する。

主要施策	❸青少年健全育成の体制づくり
主な取組	令和７年度の主な取組内容
①青少年補導センターにおける補導の実施 （生涯学習課）	○補導センター職員による街頭補導、各校区補導委員、小・中・高等学校教員による合同補導、各校区補導委員による校区補導、職域の補導委員による補導活動を実施している。 ○高等学校等生徒指導連絡協議会と補導センター職員による合同巡視（高校終業式当日の補導）や車中指導（山陽本線・山陰本線車両内での補導）も実施している。
②青少年補導センターにおける相談の実施 （生涯学習課）	○市民からの青少年に関する相談窓口として、電話やメールの相談、来所による面接相談を受けている。 ○相談内容についても、いつでも、だれでも、どこからでも、しかも顔を見られずに秘密厳守という電話やメールの特徴を活かし、学校や家庭内の出来事など様々な問題についての相談を受けている。
③青少年健全育成のための体制整備と啓発 （生涯学習課）	○青少年健全育成のための市民運動を展開し、心身ともに健全な青少年の育成を図るため、教育・啓発活動を実施。 ○また、下関市子ども会連合会及びスカウト育成協議会に対し、補助金を交付。海洋少年団育成会には出資をしている。 【補足】 ・下関市青少年健全育成市民会議 総会81人参加　　推進大会を開催138人参加 ・健全育成及び非行防止啓発「習字」募集 最優秀5点、優秀10点、佳作15点 ・二十歳を祝う会 対象者：平成17年4月2日～平成18年4月1日生まれ 開催場所：J:COMアリーナ下関
④多様な体験活動の実施	○青年の家では、自主性と思いやりの心、規範意識を養い、心身ともに成長することを目的とした「野外活動クラブ」、「星の観察学習会」及び「親子で星の観察学習会」を実施し、延べ206人が参加。 ○森の家下関においては生き抜く力を身につけることを目的とした「しものせき夢冒険 チャレンジキャンプ」を実施。

（生涯学習課）	【補足】 ・野外活動クラブ　　参加者延べ 52 人（全 7 回登録者数 11 人） ・星の観察学習会　　参加者延べ 124 人 ・親子で星の観察学習会　　30 人　15 家族 ・しものせき夢冒険チャレンジキャンプ　　参加者 49 人

（3）生涯を通じた学ぶ機会を提供します

基本方針	1　図書館の充実
主要施策	❶図書館サービスの充実と施設整備
主な取組	令和 7 年度の主な取組内容
①移動図書館や電子図書館など図書館サービスの向上	○移動図書館ステーションの見直しによって生じた時間を活用して、学校訪問やイベントを実施した。 ○NHK E テレ「夏井いつきのよみ旅！」で職員が移動図書館を題材にした俳句を投稿したところ採用され、番組で移動図書館が紹介された。 ○電子図書館のタイトル数の拡充に努め、約 570 タイトルを増やした。 ○電子図書館を活用したイベントを開催し、周知を図った。 ○「デジタル資料館」に昭和 42 年～43 年の郷土新聞資料を新たに掲載した。 ○はまゆう図書館の資料について、購入のほかに寄贈や移管を活用し充実に努め、利用促進を図った。

【補足】

所蔵数の推移（各年度末）　（冊）

区分	R7年度	R6年度	R5年度
所蔵数	858,023	849,490	808,408
うち児童書	243,751	240,165	226,243
うち地域資料	41,753	41,100	39,448

館別の所蔵数（令和7年度末）　（冊）

区分	中央	移動	彦島	長府	はまゆう	菊川	豊田	豊浦	豊北
所蔵数	450,289	14,260	75,278	116,400	40,285	34,533	52,540	50,177	24,261
うち児童書	115,038	4,177	25,284	20,848	12,214	15,397	19,642	19,392	11,759
うち地域資料	21,889	0	2,580	10,179	1,071	1,575	1,372	1,892	1,195

貸出件数・冊数の推移　（件・冊）

区分	R7年度	R6年度	R5年度
貸出件数	252,245	247,285	257,217
貸出冊数	1,028,305	1,026,613	1,073,232

館別の貸出件数・冊数（令和7年度）　（件・冊）

区分	中央	移動	彦島	長府	はまゆう	菊川	豊田	豊浦	豊北
貸出件数	102,449	7,723	21,925	28,757	48,803	14,087	5,532	18,083	4,886
貸出冊数	404,946	43,195	90,457	104,468	200,892	63,481	22,940	80,560	17,366

電子図書館タイトル数の推移　（タイトル）

区分	R7年度	R6年度	R5年度
タイトル数	3,317	2,747	1,222

電子図書館利用数の推移　（回・点）

区分	R7年度	R6年度	R5年度
ログイン回数	61,912	51,316	63,894
貸出点数	27,234	20,695	11,307
閲覧点数	125,726	80,143	94,650

（中央図書館）

レファレンス受付件数（令和7年度）　（件）

区分	中央	彦島	長府	はまゆう	菊川	豊田	豊浦	豊北
受付件数	10,938	1,564	1,972	1,584	948	310	373	581

クイックレファレンス（所在確認や書誌事項の確認）を含む。

職員体制　（人）

区分	中央	彦島	長府	はまゆう	菊川	豊田	豊浦	豊北
職員	4	0	0	兼務1	兼務1	兼務1	兼務1	兼務1
うち司書	3	0	0	0	0	0	0	0
会計年度任用職員	34	5	6	6	4	4	5	2
うち司書	25	4	5	6	4	4	5	2

年間資料購入費の推移（執行額）　（千円）

区分	R7年度	R6年度	R5年度
資料購入費	41,493	96,156	38,757

※令和6年度は、はまゆう図書館開館に伴う資料購入費を含む。

主要施策	❷子供の読書活動の推進
主な取組	令和７年度の主な取組内容
①学校貸出用図書の充実と人材の育成 （中央図書館）	○学校貸出用図書を整備し、幼稚園や小学校、児童クラブ等へ団体貸出を行った。 ○人材育成のため、図書館司書と学校司書の合同研修会を開催したほか、山口県立山口図書館等で開催された子供の読書活動の推進に関する研修会などに司書が参加した。 ○市内の小・中学校の全児童・生徒が電子図書館サービスを利用できるよう、新入生に利用者 ID を配布した。 ○子供向けの電子図書館だよりを作成し、教育研修課を通じて各学校に配布し、全児童・生徒のタブレットへ配信した。 ○移動図書館の学校訪問（年間５回）を通じて児童に移動図書館や図書館サービスの紹介を行った。 ○ひかり童夢で児童向けに移動図書館の業務体験イベントを開催し、実際に窓口で貸出手続きの体験を行った。 【補足】 学校等への貸出冊数の推移　（冊） 区分 / R7年度 / R6年度 / R5年度 貸出冊数 / 53,185 / 37,815 / 37,012 館別の学校等への貸出冊数　（冊） 区分 / 中央 / 移動 / 彦島 / 長府 / はまゆう / 菊川 / 豊田 / 豊浦 / 豊北 貸出冊数 / 21,663 / 0 / 4,628 / 1,912 / 1,847 / 6,178 / 3,512 / 11,759 / 1,686

基本方針	２　生涯学習の推進
主要施策	❶社会的包摂の実現に向けた多様な生涯学習の推進
主な取組	令和７年度の主な取組内容
①ICT を活用した生涯学習の推進 （生涯学習課）	○施設の Wi-Fi 環境を活用し、市民向けにスマホ講座・Wi-Fi 活用講座を開催するとともに、公民館職員向けのオンライン研修・情報共有の機会を確保した。
②デジタルデバイドの解消につながる講座等の開催 （生涯学習課）	○高齢者を中心としたスマホ講座・Wi-Fi 活用講座を開催し、スマホの基本操作やアプリの利用方法、Wi-Fi の活用など、日常生活に必要なデジタルスキルの習得支援を行った。
③出前講座の充実 （生涯学習課）	○市民や団体の要望に応じて、職員等が地域へ出向き、行政施策や専門知識を分かりやすく提供する「下関市生涯学習まちづくり出前講座」を実施し、市民の学習機会の充実や市政への理解促進、地域課題の共有を図った。

主要施策	❷生涯学習拠点施設の機能強化
主な取組	令和７年度の主な取組内容
①公民館等の長寿命化 （生涯学習課）	○個別施設計画に基づき、公民館等の外壁改修や屋上防水、空調設備更新など、施設の老朽化対策を実施し、利用環境の改善と安全性の確保に取り組んだ。
②公民館等のデジタル化 （生涯学習課）	○公民館等の諸室への Wi-Fi 環境の整備を進め、利用マニュアルの整備に取り組んだ。 ○オンライン講座やハイブリッド型講座の実施環境を構築し、スマホ教室等の開催によるデジタルデバイド対策を推進した。 ○災害時における情報収集手段としての活用を見据え、避難所機能との連携を図った。
③公民館等の GX の推進 （生涯学習課）	○公民館等における脱炭素化に向け、施設照明の LED 化や空調設備の更新に取り組むとともに、地域新電力の活用による電力の脱炭素化を推進した。 ○環境部の主導のもと、公用車の電動化に対応した充電設備の設置や、太陽光発電設備の導入に向けた検討を行った。

基本方針	３　芸術・学術文化活動の推進
主要施策	❶美術館の充実
主な取組	令和７年度の主な取組内容
①魅力的な展覧会の企画・開催 （美術館）	○令和 7 年度中に特別展 2 本、所蔵品展 2 本を開催した。また、下関市芸術文化祭・美術展及び市民ギャラリーの会場として、市民による芸術文化の発信、振興の場所を提供した。 ○特別展「花の宮廷画家ルドゥーテ」では、18 世紀フランスの宮廷画家で、バラの画家として知られたピエール＝ジョゼフ・ルドゥーテの作品を紹介した。 ○特別展「古代エジプト・ふしぎ発見！―ナイルの贈り物と秘められた物語―」では、当館が所蔵する古代エジプト関連資料を軸に、古代エジプト文明の魅力を紹介した。 【補足】 ・美術館　入館者 令和 7 年度　35,716 人 令和 6 年度　27,700 人 令和 5 年度　45,528 人
②美術館の環境整備 （美術館）	○健全な環境のもとで作品を鑑賞できるよう施設・設備の点検及び必要な修繕を行い、適切な維持管理に努めた。また、施設の長寿命化を図るため、個別施設計画に基づき展示部門の空調機改修工事を実施した。 【補足】 ・令和 7 年度実績 美術館空調機（展示部門）改修工事　28,796,900 円 ・令和 6 年度実績 美術館空調機（展示部門）改修実施設計業務　13,310,000 円 ・令和 5 年度実績 美術館建具改修工事　9,625,000 円 美術館展示部門空調設備改修計画策定　3,850,000 円

主要施策	❷博物館など学術文化拠点の環境整備
主な取組	令和７年度の主な取組内容
①歴史博物館の環境整備 （歴史博物館）	○歴史博物館では、データベースを公開し、当館が収蔵する資料の情報をインターネット上で検索することが可能となった。 ○旧長府博物館については、活用の可能性を検討している。 ○日清講和記念館については、令和６年度の耐震診断の結果、耐震基準を満たしていないことが判明したため、耐震工事及び施設整備に向けた保存活用計画の策定を進めている。 【補足】 ・旧長府博物館・日清講和記念館：国登録有形文化財
②共通収蔵庫の整備と土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムのリニューアル （人類学ミュージアム）	○資料の収蔵に当たっては、民俗資料の整理を進めるとともに、一部資料の収蔵場所として廃校の校舎を活用しているが、かねてからの懸念である共通収蔵庫の整備についても引き続き検討した。 ○令和３年度に策定した土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム個別施設計画に基づいて、施設の適切な維持と大規模改修を含めた長寿命化について引き続き検討した。 【補足】 ・平成５年５月１日開館
③下関市の自然史博物学の学び （ホタルの里ミュージアム）	○下関市唯一の自然史系博物館として、開館以来本市の自然史に関する調査や研究を進め、その成果を踏まえて常設展示の改変と展示物の蓄積・整理を進めた。さらに教育や調査・研究できる施設や設備の改変・改良も行い、ある程度充実してきた。加えて、収蔵資料の増大に対応するために資料の整理と圧縮、登録を進め、収蔵庫に受け入れ可能な余裕を維持する仕組み（空間の効率化）と資料を把握する仕組み（情報の効率化）がある程度できた。 【補足】 ・平成16年６月５日開館
④考古博物館のリニューアル等 （文化財保護課）	○博物館法の改正を受け、再登録へ向けて登録審査の個別項目について再点検を行い、運営、及び資料収集・管理・活用に関する方針などの基本的方針等について整理し、博物館協議会にて審議を行った。 ○30周年を迎え老朽化した施設について、個別施設計画に基づき、優先順位を適宜整理しながら、設備の機能維持と長寿命化を計画的に実施した。 【補足】 ・平成７年５月13日開館【開館30周年】
⑤積極的な学術資料の収集	＜文化財保護課（考古博物館）＞ ○考古博物館では、触覚を重視したワークショップ等で活用するため、3Dプリンターによる考古資料レプリカ作製を資料の収集の一環ととらえ、各種レプリカを作製するとともに、それらを館蔵資料として位置付けるための整理に努めた。 ＜美術館＞ ○美術館では、令和７年度に寄贈49件、寄託５件の合計54件の美術資料（作品及び資料）を収集した。また、所蔵する美術資料の情報を周知し来館者サービス向上を図るため当館ウェブサイトにおいて「所蔵品検索システム」の運用を開始した。 ＜歴史博物館＞ ○歴史博物館では、令和７年度は、303件の寄贈と５件の寄託があった。主な寄贈資料には、馬廻通家芸本荘家資料、本荘熊次郎関係資料がある。 ＜人類学ミュージアム（豊北歴史民俗資料館）＞ ○豊北歴史民俗資料館では、令和７年度は古文書等４件の寄贈があった。

（文化財保護課／美術館／歴史博物館／人類学ミュージアム／ホタルの里ミュージアム）	＜ホタルの里ミュージアム＞ ○豊田ホタルの里ミュージアムでは、下関市の生物及び古生物、岩石等の調査を行い、多数の標本を直接収集し、さらに市民から自然史（動物、植物、化石、岩石）標本を提供頂いた。また、人体に影響が出ないように可能な限り化学薬品を使用しない持続可能な標本管理体制への移行を開始した。 --- 【補足】 ＜文化財保護課（考古博物館）＞ ・フォトグラメトリ技術による資料の三次元データ化・レプリカ制作 太型蛤刃石斧・扁平片刃石斧(延行条里遺跡) 子持勾玉(高野遺跡) ・3D ハンディスキャナによる三次元データ化・レプリカ制作 須恵器(坏　身・蓋)4 点(甲山古墳群 W-7 号墳) 須恵器(坏　身・蓋)4 点(高野遺跡) ＜美術館＞ ・作品資料収集状況 令和 7 年度：寄贈 49 件、寄託 5 件、所管替 0 件、合計 54 件 令和 6 年度：寄贈 84 件、寄託 0 件、所管替 1 件、合計 85 件 令和 5 年度：寄贈 56 件、寄託 13 件、所管替 0 件、合計 69 件 ＜歴史博物館＞ ・作品資料収集状況 令和 7 年度：寄贈 303 件 362 点、寄託 5 件 10 点、合計 308 件 372 点 令和 6 年度：寄贈 448 件 599 点、寄託 14 件 14 点、合計 462 件 613 点 令和 5 年度：購入 400 件 720 点、寄贈 305 件 480 点、寄託 158 件 174 点、合計 863 件 1,374 点 ＜人類学ミュージアム（豊北歴史民俗資料館）＞ ・受贈：渡坑夫本面帳、区域合併申請書、合併記念火鉢、ひな人形 7 段 ・受託：田上菊舎関係資料 692 点
⑥調査研究の充実と関係機関との連携	＜文化財保護課（考古博物館）＞ ○考古博物館では、開館 30 周年記念事業として企画実施した、特別展「上の山古墳と穴門の趨勢―本州最西端の後期古墳と集落―」においては、県内外の研究者の協力を求めるとともに、東京国立博物館との共同研究の成果に基づく、最新の調査研究の成果を公開した。 ○九州産業大学が取り組む「博物館浴」の実証的研究に実行委員として参画し、博物館に期待される新たな社会的機能の検証・整備に向けた最先端の博物館研究を推進した。 ○施設概要及び展示、調査研究、教育普及等の博物館活動の概要について報告するための年報を作成した。 ○調査研究の成果の一部を公開するため、研究紀要の編集を進めた。 ○文化庁及び日本博物館協会が主催する各種研修会に参加した。また、日本博物館協会中国支部及び山口県博物館協会が主催する総会・研修会に参加した。 ＜美術館＞ ○美術館では、特別展「古代エジプト・ふしぎ発見！」を実施し、展覧会図録を作成した。 ○所蔵作家や作品に関する調査を進めた。 ○山口県博物館協会主催の総会及び研修会並びに展示照明に関する研修会に参加した。

	＜歴史博物館＞ ○歴史博物館では、調査研究活動について報告するため研究紀要を作成し、ホームページにて公開した。また、特別展関連図録を作成した。 ○山口県博物館協会が主催する総会、日本博物館協会中国支部が主催する総会及び研修会に参加した。 ○東行記念館では、山口県博物館協会が主催する総会に参加した。 ＜人類学ミュージアム＞ ○土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムでは、山口大学埋蔵文化財資料館との研究連携に基づき、蓋井島にある筏石遺跡出土遺物の共同研究を継続している。また、九州大学アジア埋蔵文化財研究センターと古人骨資料の研究連携・協力に関する覚書に基づき共同研究を実施した。 ○令和 6 年度から参加している国立科学博物館が主催する「教員のための博物館の日」事業として、市内の小学校と高校の教員への博物館活動や人類学ミュージアムの研究活動などを紹介し、学校教育での博物館の利用促進に努めた。 ○「研究紀要第 21 号」にて、収蔵している古人骨資料について調査成果を掲載し HP にて公開した。 ○令和 7 年 4 月に開催された豊北町の民俗祭礼行事「浜出祭」の調査をまとめた図録を作成し刊行した。 ○日本人類学会と共催で第 79 回日本人類学会大会を開催し、一般公開シンポジウムも開催して人類学の普及に努めた。 ○古人骨資料の調査として、山口埋蔵文化財センターからの依頼にて、美祢市伊佐町所在の東丸遺跡及び宗藤遺跡出土人骨の鑑定及び報告書を作成した。 ○動物遺存体の調査として、福津市教育委員会からの依頼にて在自西ノ後第 1 次調査出土動物骨の鑑定を実施した。 ○豊北歴史民俗資料館では、民俗及び歴史調査（田上菊舎関係調査、豊北町阿川の神社・小祠調査、浜出祭調査、豊北町角島の突漁とマグロ漁・イカ釣調査、下関市域の蒙古伝承調査、北浦のサバ一送り追跡調査、内日五年神調査、下関市及び北九州の「カンカン部隊」調査、阿内地区調査(スホーテイ/イズミサン)を実施した。 ○烏山民俗資料館では、地域の歴史・民俗調査として豊浦地域の昭和期写真調査（豊浦地区まちづくり協議会協力)、宇賀地区湯浅祭り調査、在来稲調査、室津鰻絵確認調査、藁細工職人調査を実施した。 ＜ホタルの里ミュージアム＞ ○豊田ホタルの里ミュージアムでは、下関市及び山口県内の自然史に関する調査・研究を行い、それらの研究成果の一部をまとめた「豊田ホタルの里ミュージアム研究報告書第 18 号」を刊行した。 ○下関市の自然史を調査して、一般の方にわかりやすく解説した小冊子「自然ガイドシリーズ」をこれまで 143 シリーズ刊行し、本年度は「No. 137 身近な裸子植物 スギとヒノキ」、「No. 138 身近なサギゴケ科植物と花粉管」、「No. 139 節足動物の内骨格」、「No. 140 下関の食虫植物」、「No. 141 当館敷地内のチャタテムシ」、「No. 142 身近な植物の根」と新たに 6 冊刊行し、電子書籍として有償頒布した。 ○大学等研究機関との連携として、生物や古生物、岩石などの研究サンプルの提供や調査・研究の補助、データ解析の協力、電子顕微鏡などの分析機器の借用などを実施した。

（文化財保護課／美術館／歴史博物館／人類学ミュージアム／ホタルの里ミュージアム）

【補足】

各館職員数データ　　R8.4.1現在　　（人）

	職員	うち学芸員有資格	会計年度任用職員	うち学芸員有資格
美術館	5	2	5	4
考古博物館	5	4	6	3
歴史博物館	7	4	7	0
東行記念館	3	1	2	2
人類学ミュージアム	4	4	10	4
豊北歴史民俗資料館	1	0	3	1
烏山民俗資料館	1	1	2	2
ホタルの里ミュージアム	1	1	6	1

＜文化財保護課（考古博物館）＞

・日本博物館協会中国支部協会総会・研修会
　令和7年5月29・30日（山口市・美祢市）
・文化庁　文化をつなぐミュージアム研修
　令和7年10月23・24日（オンライン）
・山口県博物館協会研修会
　令和7年11月21日（防府市）
・文化庁　ミュージアム・トップマネジメント研修
　令和7年12月10・11日（オンライン）
・日本博物館協会研修会
　令和8年1月14日（オンライン）
・文化庁　パブリックリレーションズ研修
　令和8年2月17日～20日（オンライン）

＜美術館＞

・山口県博物館協会総会
　令和7年5月16日（山口市）
・Googleマップ活用セミナー
　令和7年9月25日（オンライン）
・山口県博物館協会研修会
　令和7年11月21日（防府市）
・せとうち美術館サミット
　令和7年12月5日（岡山市）
・学芸員照明研究会
　令和8年2月25日（東京都）

＜歴史博物館＞

・山口県博物館協会総会
　令和7年5月16日（山口市）
・日本博物館協会中国支部総会
　令和7年5月29日・30日（山口市）
・指定文化財（美術工芸品）企画・展示セミナー
　令和7年7月7日～11日（東京都）
・日本博物館協会中国支部研修会
　令和7年11月12日・13日（鳥取市）

⑦魅力的・効果的な展示	＜文化財保護課（考古博物館）＞ ○考古博物館では、開館 30 周年記念特別展「上の山古墳と穴門の趨勢―本州最西端の後期古墳と集落―」を開催。 ○山口県埋蔵文化財センター巡回展「発掘された山口」及び令和 7 年度発掘速報展「第 23 回掘ったほ！しものせき」を開催。また、常設展示の「さわる展示」コーナーは目の不自由な来館者でも触察可能なユニバーサルな展示として稼働させた。 ○展示企画とともに、集客につながる各種の取り組みを積極的に展開し、入館者の増加を図った。 ＜歴史博物館＞ ○歴史博物館では、常設展示のほか、企画展示として、「西国一の大港を支えた商人たち」、「元清と輝元」、「薩長盟約と長府藩」を開催した。 ○特別展示として、「昭和 100 年記念　思い出の下関」、「手紙で辿る毛利家の喜怒哀楽」を開催した。 ○関連イベントとして、特別展及び企画展関連講座、展示解説を開催した。 ○東行記念館では、「小倉口の激闘」、「晋作ゆかりの地　下関と北九州」、「幕末を彩った人たち」、「詩歌で蘇る幕末」の常設企画展を開催した。 ＜人類学ミュージアム＞ ○土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムでは、企画展示として①「令和 7 年度浜出祭写真展」、②「うごく・つながる＃弥生人－弥生時代の響灘－」、③「学芸員の”推し”資料展　第 1 弾及び第 2 弾」を計画し、展示会を開催した。 ○豊北歴史民俗資料館では、企画展示として「令和 7 年度浜出祭写真展～浜出祭今昔物語～」、「一字庵の継承－菊舎から渡されたバトン－」、「山陰の行商人－豊北のカンカン部隊－」、「一字庵の継承展 初世菊舎展　漢文化を愛した菊舎」、「昭和の暮らし　ちょっとまえの生活」を計画し、展覧会を行った。 エントランス、復元教室、和室にて、季節の変化や民俗行事の開催時期に沿って選んだ収蔵資料を展示した。 ○烏山民俗資料館においては、企画展 3 回、小企画展 2 回、季節展 1 回、施設外での出張展覧会 2 回、合計 8 回の展覧会を実施した。 そのうち、川棚の杜の開館 15 周年記念として豊浦総合支所地域政策課の依頼により、企画展「川棚と隈研吾の対話」を烏山民俗資料館において開催した。また、川棚温泉のイベント「川棚温泉ひなまつり」期間中に「カラスヤマのひなまつり」を開催した。さらに川棚温泉まちづくり株式会社と共催で「藁細工展 2026」、地域の高齢化社会に対応した「昭和の暮らし」等を実施した。 ＜ホタルの里ミュージアム＞ ○豊田ホタルの里ミュージアムでは、企画展として、①春季企画展「身近な裸子植物スギとヒノキ」、②蛍季企画展「昼でも見れる！ホタル」、③夏季企画展「節足動物の内骨格を調べる」、④秋季企画展「当館敷地内のチャタテムシ」、⑤冬季企画展「身近な植物の根」を開催した。さらに、テーマ展として、⑥春季テーマ展「身近なサギゴケ科植物と花粉管」、⑦夏季テーマ展「収蔵標本『蝶類』」、⑧秋季テーマ展「身近なクスノキ科植物の実とダニ室」を開催し、⑨夏季特別企画展として「下関の食虫植物」を開催した。

（文化財保護課／歴史博物館／人類学ミュージアム／ホタルの里ミュージアム）	【補足】 ・考古博物館 入館者 令和７年度　26,025 人　令和６年度　25,385 人　令和５年度　22,808 人 ・歴史博物館 観覧者 令和７年度　23,994 人 （常設展示　12,423 人、企画展示　7,116 人、特別展示　4,455 人） 令和６年度　22,258 人　令和５年度　20,810 人 ・東行記念館 観覧者 令和７年度　5,505 人　令和６年度　5,406 人　令和５年度　4,404 人 ・日清講和記念館 入館者 令和７年度　114,726 人　令和６年度　98,518 人　令和５年度　94,568 人 ・土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム　入館者 令和７年度　8,149 人　令和６年度　9,173 人　令和５年度　11,660 人 ・豊北歴史民俗資料館　入館者 令和７年度　4,413 人　令和６年度　3,542 人　令和５年度　4,023 人 ・烏山民俗資料館　入館者 令和７年度　38,270 人　令和６年度　31,703 人　令和５年度　35,866 人 ・豊田ホタルの里ミュージアム 入館者 令和７年度　35,566 人　令和６年度　29,354 人　令和５年度　29,113 人
⑧普及活動の充実	＜文化財保護課（考古博物館）＞ ○30 周年記念特別展では、3 回の記念講演会、3 回の触察ワークショップ及び 12 回の展示解説会を開催し、その効果を高めた。 ○〔記念講演会〕 ・令和７年 10 月 25 日「上の山古墳出土品の最新調査と被葬者像」河野正訓（東京国立博物館 考古室長） ・令和７年 11 月 8 日「下関市上の山古墳の鋳銅鈴付馬具と防府市桑山塔ノ尾古墳の金銅装馬具からみた雄略・継体朝の防長地域」桃崎祐輔（福岡大学 教授） ・令和７年 11 月 29 日「古墳時代後期の山口県における地域勢力と上の山古墳－穴門国造をめぐる政治情勢－」岡田裕之（山口県埋蔵文化財センター 事業課長） ・山口県埋蔵文化財センター巡回展においても、関連して、記念講演会を開催した。 ○〔巡回展特別講演会〕 ・令和７年８月 17 日　「埴輪の変遷と山口県の埴輪」石井龍彦（山口県埋蔵文化財センター） ・発掘速報展については会期中に、9 回の展示解説会を開催した。 ・その他の体験学習や出前授業等を積極的に開催し、幅広い普及活動を展開した。また、普及活動の一環として、公式ホームページや Facebook、X による情報発信を積極的に行い、より広域に当館の博物館活動の周知に努めた。 ・専門職員を講師とする 3 回の文化財講座を開催し、地域の歴史文化に関する理解と、愛護意識の醸成に努めた。 ・教育委員会行事「下関学クイズ王決定戦」と連携し、児童の参加と学習意欲の啓発に寄与した。 ・市民の自発的博物館活動への参画、支援のため、年度単位でボランティア委嘱を開始した。生涯学習としての側面からも、自主性を尊重しつつ、人材育成にも配慮した。 ○〔文化財講座〕 ・令和７年９月 27 日「鏃からなにがわかるのか－古墳時代編－」 ・令和８年１月 24 日「綾羅木郷台地遺跡の発掘調査成果」 ・令和８年２月 21 日「火ノ山砲台跡の発掘調査成果」

	＜美術館＞ ○美術館では、所蔵品展及び特別展会期中、館内で実施する一般向け又は子供向けのギャラリートーク、ショート・トーク、ギャラリーツアーを実施した。また、展覧会関連催事として、講演会「美しき花の姿を追い求めて」、美術講座「ルドゥーテの生きた時代の美術」、美術講座「古代エジプトの土器の世界」、美術講座「近代のコレクターたちと古代エジプト、そして下関」、バックヤードツアー、「屋外彫刻フォトさんぽ」を実施した。 ○一般向けの実技講座・ワークショップ等として「フラワーアレンジメント講座」、「美術館で夜活」、「大人のヒンメリ講座」、「ミイラ作りの香りづくり」、「ヒエログリフでカードを作ろう」、「絵師入門（毛筆講座）」を実施し、子供向けの講座として「親子で挑戦！ヒンメリ講座」、「コラージュで絵日記をつくろう」、「ぼく・わたしの食べたいお弁当づくり」、「万華鏡づくり」、「エジプト風ストラップづくり」(2 回)、「VR で古代エジプト体験」、「和テイストのクリスマスリースをつくろう」、「学芸員おしごと体験」、「ステンシルバックをつくろう」を実施した。 ○令和 7 年度は施設の改修工事による休館があったが、休館中の取り組みとして、やすらガーデンを会場に「移動美術館 in やすらガーデン」、長府苑を会場に「廻遊（堀研展プレイベント）」を実施するとともに、展示と関連する催しとして、「学芸員による美術講座」、美術講座「芳崖と悲母観音」、ワークショップ「芳崖のように描いてみよう」、ショートトーク「海外美術館にある芳崖の作品」、「廻遊　オープニングトーク」、「報告 : 令和 7 年度文化功労者に選ばれて」、「長府苑で一句」、「堀研とかたろ」を実施した。 ○市内の児童クラブや小学校、一般向けにワークショップ（コラージュ、ストーンペインティング等）を、依頼に応じ出前講座として実施した。市内の中学校では出前授業「下関ゆかりの芸術家たち」を行った。 ○美術館公式ウェブサイト及び SNS（X、Facebook、Instagram、YouTube）での情報発信を行った。 ○市役所本庁舎西棟展示ケースで、年間を通して出張展示を行った。 ＜歴史博物館＞ ○歴史博物館では、特別展示及び企画展示の関連イベントとして、関連講座、展示解説を開催した。また、歴史講座や夏休みイベントとして「歴史マップお助け講座」を開催した。 ○公式 X(旧 Twitter)、Facebook 及び動画（YouTube）にて、所蔵資料の紹介や特別展・企画展のみどころ、博物館の舞台裏等の情報発信を行った。 ＜人類学ミュージアム＞ ○土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムでは、館内で体験できる学習キットやブース（土井ヶ浜遺跡から出土した貝輪を実際に作る体験や人骨模型の発掘体験、弥生時代の服装を着る体験）を用意しており、この他に、学校や公民館などへ出向く出前講座を実施するなど、体験学習を通じて教育普及活動を行っている。 ○企画展示やイベントのポスターやチラシの掲示と配布、公式 HP 及び YouTube 等による積極的な情報提供を行っている。 ○豊北歴史民俗資料館では、豊北小学校及び菊舎顕彰会と共同で田耕出身の俳人田上菊舎にちなんで俳句を読んで競う大会（俳句相撲）を開催した。ほかにも、郷土史研究団体による利用、コスプレ撮影、ジャズライブ、豊北地域のまちづくり事業での貸室などを積極的に行った。 ○企画展示やイベントのポスターやチラシの掲示と配布、公式 HP 及び Facebook 等による積極的な情報提供を行っている。 ○烏山民俗資料館では、途絶えてしまった下関地域の端午の節句飾り「さるのぼり」の屋外展示を行うことで、温泉街を道行く人たちに伝統文化に触れる機会

	を創出した。また「さるのぼり」に関するミニ講演会を 1 回開催した。 ＜ホタルの里ミュージアム＞ ○下関市唯一の自然史博物館として自然史に関する調査・研究、更に市民向けに様々な体験学習講座（観察会、夏休み講座等）を実施し、館内イベントや研究者を招待して講演いただく特別講演会、学校等での出前講座を実施した。 ○観察会（夏休みの教室含む。）は毎月すべて異なる内容（春の星空観望会、スミレの観察会、化石の観察会など）で実施し、年間 45 回計画していたが雨天等で 9 回中止になり、36 回開催して 381 人（定員：5 組/回）の参加があった。 ○学校等の見学が 31 回（1,206 人）、学校等に出前講座したのが 49 回（1,435 人）であった。 ○特別講演会として「第 44 回「カワニナのあれこれ」講師：澤田直人先生（東京大学)」を予定していたが当日講師の体調不良で中止となり、「第 45 回「豊田にあったジュラシック・パーク～世界最高精度で大絶滅事件の謎を読み解く～」講師 池田昌之先生（東京大学)」を対面で開催した。 ○自然史に関する様々な体験講座（鉱物の硬度や種類、植物の色素や昆虫の体を学ぶ講座など 12 講座）を 1 日で体験できる「第 6 回自然史体験の日」を開催し、午前と午後各 40 組（1 組 5 人まで）の完全予約制で実施し、215 人の参加を得た。このイベントのために毎回教材を作成し、これまで約 45 種類の当館オリジナルの教材を作成できた。 ○公式 X(旧 Twitter)のフォロワーは 1.5 万人、さらに YouTube や note、Peatix なども利用した情報発信を積極的に実施した。 ○note を利用して身近な自然史に興味を持ってもらうために当館オリジナルの小説 2 本の連載を継続し、絵本「なんかよくわからない」、紙芝居「ゲンジボタルの一生」などを作成した。 --- 【補足】 ＜文化財保護課（考古博物館）＞ ・文化財講座　：3 回／100 人 ・勾玉づくり教室：17 回／187 人 ・土笛づくり教室：15 回／137 人 ・竪穴住居模型づくり教室：14 回／93 人 ・土器文様ペンダントづくり教室：3 回／16 人 ・依頼による体験学習：10 回／264 人 ・さわるワークショップ：6 回／18 人 ・委嘱ボランティア：13 名 ＜美術館＞ ・来館授業等受入：11 回（開催日数延べ 17 日）／498 人 ・職場体験・インターンシップ受入：5 校（実施日数延べ 9 日）／18 人 ・造形教室・ワークショップ：16 講座（開催日数延べ 42 日）／652 人 ・ギャラリートーク：6 講座（開催日数延べ 23 日）／765 人 ・美術講座（講演会、トークイベント、ギャラリーツアー）：15 講座（開催日数延べ 15 日）／676 人 ・講師派遣（出前授業、研修会、講座、講話等）：20 講座（開催日数延べ 20 日）／714 人 ・移動美術館（休館中の館外展示）：2 回（開催日数延べ 6 日）／908 人 ＜歴史博物館＞ ・歴史博物館 関連講座：21 回／726 人 歴史講座：10 回／276 人

（文化財保護課／美術館／歴史博物館／人類学ミュージアム／ホタルの里ミュージアム）	展示解説：21 回／375 人 歴史マップお助け講座：6 回／79 人 出前講座：20 回／1,601 人 協力連携事業 菊舎顕彰会、筑紫法人会、㈱地域情報新聞しものせき、下関海響マラソン実行委員会、東亜大学、住吉神社、関門ＤＭＯ、下関市中学校教育研究会社会科部会、下関市小学校教育研究会社会科部会、吉田小学校、広報戦略課、教育政策課など ・東行記念館 出前講座：4 回／126 人 協力連携事業 日本歴史編集部、広報戦略課 ＜人類学ミュージアム＞ ・土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム 二枚貝の腕輪づくり：1 回／13 人 人骨模型の発掘体験ホネホネウォッチング：1,538 人 土井ヶ浜弥生人なりきり体験：915 人 出前授業：5 回／116 人 ・豊北歴史民俗資料館 貸室　24 件／549 人 ＜ホタルの里ミュージアム＞ ・学校等見学の受入：31 校／1,206 人 ・観察会：30 回／302 人　※観察会はすべて内容が異なる。 ・夏休みの教室：6 回／79 人　※昆虫の教室、貝類の教室 ・第 6 回自然史体験の日：215 人 ・特別講演会：1 回／95 人　※1 回は講師の体調不良で中止 ・出前講座：49 回／1,435 人　※学校等見学時に講座を開いたものを含む。
⑨博学連携の強化	＜文化財保護課（考古博物館）＞ ○学校の授業に役立つ学習資源を豊富に有する博物館に幅広い層の教員に来館してもらい、博物館に親しみをもってもらうこと、また、学習資源としてのポテンシャルを知ってもらうことをねらいとして国立科学博物館が全国の博物館に呼びかけ実施している「教員のための博物館の日」に本市として参加。一層の博学連携の推進を目的に、市内 6 館が趣向を凝らしたプログラムを各館ごとに準備し、「教員のための博物館の日 2025　in 下関」として実施。また、山口県の学校選択研修としても実施。 ○考古博物館では、昨年度に引き続き下関南総合支援学校の視覚障害のある児童・生徒をはじめ、晴眼者の市内学校の児童・生徒、さらには教員を対象に視覚に頼らない触察授業を展開した。加えて、市内中学校や高校の職場体験や教職員の研修を積極的に受け入れた。 ○学校からの来館見学、要請に基づく出前授業の実施や、職場体験について積極的に受け入れ、博学連携の推進を図った。 ○令和 7 年度より始まった「下関学」推進事業についても、2 つのプログラムを策定し、学校のニーズに対応を開始した。 ○大学との連携により、博物館学芸員課程の学生の実習受け入れを行った。 ＜美術館＞ ○美術館では、学芸員養成課程に係る学生の博物館実習を実施（2 件）したほか、市内大学の学芸員資格取得の科目見学受入れ（1 件）、市内中学生の職場体験（3 件）、市内高校生のインターンシップ（1 件）、大学生の社会教育主事実習を受入

	れた。教員を対象とした社会体験研修の受入れ（5 件）、「教員のための博物館の日」の研修も実施した。 ＜歴史博物館＞ ○歴史博物館では、学校行事による来館の際に展示の解説を行ったほか、小学校・中学校・大学での出前講座を実施した。さらに、中学校や高校の職場体験学習や社会教育主事資格取得のための社会教育実習の受入れも積極的に行った。その他、小学校で活用できるデジタル動画の作成、川中中学校での博物館資料のパネル展示、市内教員を対象とした「教員のための博物館の日」の事業を引き続き実施した。また、下関学推進事業として、中学校で歴史文化授業を行った。 ＜人類学ミュージアム＞ ○土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアムでは、開館当初より行っているふるさと学習で豊北小学校と連携し、5 年生が参加して赤米の田植えと稲刈りを実体験した。また、県内外小学校の修学旅行や社会科学習での来館時に展示の解説を行ったほか、下関西高等学校の地域探求授業の実施、下関商業高等学校からのインターンシップの受入れを行った。その他、下関北高等学校の地域探求授業を通年で行っている。 ○大学や研究機関との連携事業としては、山口大学埋蔵文化財資料館との下関市蓋井島に所在する筏石遺跡の出土遺物の調査、九州大学アジア埋蔵文化財研究センターとの連携にて国内外の大学等研究機関との共同研究を継続して行っている。 ○豊北歴史民俗資料館では、豊北小学校及び菊舎顕彰会と共同で田耕出身の俳人田上菊舎にちなんで俳句を読んで競う大会（俳句相撲）を開催した。その他、川中中学校での博物館情報の展示も継続している。 ○烏山民俗資料館では、市内外小学校の施設見学を受入れるほか、豊浦地域の中学校の職場体験の受入れを行った。 ＜ホタルの里ミュージアム＞ ○豊田ホタルの里ミュージアムでは豊田下小学校と連携し、クラブ活動の一環として地元の化石の採集・調査などを実施し、西市小学校と連携してホタルの生態を学習する協力をし、ホタルや昆虫に関する出前展示を実施した。さらに、下関西高等学校や文洋中学校における指導、小中学校に勤務する現役の教諭を対象に「教員のための博物館の日」を実施した。さらに学芸員養成課程に係る学生の博物館実習（2 大学 2 人　延べ 10 人）、教諭研修（3 人）を受け入れた。 ○大学等研究機関との連携により学生への直接的な指導や調査の補助、分析機器などを利用させていただくなどして、多くの成果を得た。
（文化財保護課／美術館／歴史博物館／人類学ミュージアム／ホタルの里ミュージアム）	【補足】 ＜文化財保護課（考古博物館）＞ ・学校見学の受入 市内学校： 39 校／2,131 人 市外学校： 17 校／557 人 出前授業　6 回／434 人 職場体験　3 回／14 人 「下関学」推進授業　2 回 教員研修　5 回　107 名 博物館実習　1 件　1 名 インターンシップ　3 回/3 人 ＜人類学ミュージアム＞ ・豊北歴史民俗資料館：俳句相撲 1 回／49 人

⑩博福連携の推進 （文化財保護課／人類学ミュージアム／ホタルの里ミュージアム）	＜文化財保護課（考古博物館）＞ ○考古博物館における博福連携の一環として、引き続き下関南総合支援学校や下関点訳しるべの会といったボランティア団体の障害当事者や支援者との意見交換や協力により視覚障がい者の博物館利用を推進するとともに、市内福祉施設の要望により施設利用者の活動と関連した出前ものづくり体験を実施した。 ○展示音声ガイドの整備を目的とした、情報の整理、検討について、関係団体の協力の下、適宜実施した。 ○NPO 法人下関子ども・子育ちネット“こどもはらっぱ”（旧・休憩所弥生の里内）の施設利用者の児童と保護者には考古博物館への来館を促すため、引き続き緊密に連携した。 ○史跡綾羅木郷遺跡のガイダンス施設としての役割も果たすべく、地元まちづくり協議会や NPO 法人と連携し、史跡指定日を記念し、周知する夜間臨時開館とキャンドルイベントを開催した。 ○当該イベントの一環で、最寄りの駅である JR 梶栗郷台地駅について、安岡中学校美術部等の協力の下、階段アートを掲出し、景観改善による地域の賑わい創出にも寄与した。 ＜人類学ミュージアム（烏山民俗資料館）＞ ○烏山民俗資料館では、高齢化社会に対応した新たな博物館像を目指して「博物館と福祉」連携を目的に活動を実施している。令和 7 年度は、前年度に引き続き、高齢者の認知症予防に効果があるとされる「回想法」を取り入れた展覧会「懐かしき昭和の暮らし」を実施した。また豊浦地域の昭和の暮らしの映像記録を中心とした小企画展「写真で振り返る豊浦の記憶」を実施した。 ＜ホタルの里ミュージアム＞ ○ホタル祭りでの館内・館外イベントの協力やふるさと祭りでの体験ブース（化石採集体験）の実施、旧豊田中小学校での想い出さいか市での体験イベントの実施などを行った。 【補足】 ＜文化財保護課（考古博物館）＞ ・考古博物館休憩所　弥生の里の活用推進 平成 28 年 4 月地域子育て支援拠点施設「こどもはらっぱ」開設 ・キャンドルナイト 2026 in 下関市立考古博物館 令和 8 年 3 月 7 日(夕刻)　1,176 人来場 ＜ホタルの里ミュージアム＞ ・ホタル祭り、ホタル舟、ふるさと祭り、想い出さいか市等への協力

基本方針	4　文化財保護・活用の推進
主要施策	❶歴史的・文化的資源を活かしたまちづくり
主な取組	令和 7 年度の主な取組内容
①指定文化財及び登録文化財の管理状況の把握	○本市が所有者又は管理団体となっている建造物、史跡、名勝、天然記念物等の指定文化財の適切な維持管理を行った。 ○指定文化財の文化財保護指導員などによる定期的な巡視を行った。 ○重要文化財旧下関英国領事館については、平成 26 年 7 月 18 日の再開館後、指定管理者による公開活用を行っており、今年度も積極的な企画立案と実施により好循環を生み出し当該施設の周知と地域振興を促進した。

（文化財保護課）	【補足】 ・文化財保護指導員　2 人 ・旧下関英国領事館 平成 11 年 5 月 13 日　国指定重要文化財 令和 7 年度入館者 91,289 人（令和 6 年度入館者 87,690 人、再開館後累計 760,697 人） 指定管理者によるイベント件数（指定管理業務）13 件 附属屋ギャラリー及び中庭利用件数　157 件（延べ 151 日。指定管理業務を除く。）
②指定文化財に対する保護措置の強化	○文化財の保存修理を行う所有者及び指定有形文化財の定期的な維持管理を行っている所有者に対して、必要に応じて補助金を交付した。 ○国庫補助事業を活用する指定文化財所有者（住吉神社〔重要文化財：金銅牡丹唐草透唐鞍〕、修禅寺〔名勝：狗留孫山〕）に対し事業の円滑な実施を援助した。 ○令和 6 年度に催行された式年祭の「浜出祭」（7 年に一度県指定）、「内日五年神神事」（5 年に一度市指定）のほか、「浮石の赤崎神社楽踊」（市指定）、「亀山能」（市指定）など、指定・未指定の無形民俗文化財の記録作成や現況確認を行った。また、「亀山能」の催行に際して、指定民俗文化財等保存事業による事業費補助を実施した。
（文化財保護課）	【補足】 ・令和 7 年度下関市指定文化財保護事業補助金：6 件/453 千円 ・令和 6 年度下関市指定文化財保護事業補助金：14 件/522 千円 ・令和 5 年度下関市指定文化財保護事業補助金：14 件/1,035 千円
③埋蔵文化財に対する適切な保護と活用	○試掘・確認調査 4 件実施し、埋蔵文化財の基礎情報を収集した。 ○発掘調査等については、個人住宅新築工事に伴う本発掘調査 1 件のほか、現地での工事立会 38 件、立会調査 2 件、出土遺物保存活用 1 件等を実施した。 ○開発事業者等からの埋蔵文化財調査依頼件数に対し、調査を実施した割合を目標指標としていたが、令和 7 年度の実績は目標値と同じく 100%を達成した。 ○令和 6 年度に実施した埋蔵文化財の調査成果について、市立考古博物館の発掘速報展において公開し、また、『下関市文化財年報 1 埋蔵文化財編』を刊行し、平成 30 年度から令和 2 年度の埋蔵文化財調査の成果について HP 上で公開した。
（文化財保護課）	【補足】 ・分布調査等の実施状況 令和 7 年度　事業費　33,086 千円　件数 5 件 令和 6 年度　事業費　31,996 千円　件数 7 件 ・調査依頼件数 令和 7 年度 40 件 令和 6 年度 44 件
④市域に所在する文化財の悉皆調査	○自然、歴史、文化遺産を生かしたまちづくり実現のため、平成 30 年の文化財保護法の改正により新たに制度化された文化財保護のアクションプランである文化財保存活用地域計画の策定を念頭に、基礎情報を収集した。
（文化財保護課）	【補足】 ・文化財保存活用地域計画 文化庁が進める各市町村において取り組んでいく目標や取組の具体的な内容を記載した、当該市町村における文化財の保存・活用に関する基本的なアクションプラン（平成 30 年 6 月の文化財保護法改正に伴い、歴史文化基本構想を実効的に発展させ、法律に位置付けたもの）

⑤史跡の整備活用の推進	○長州藩下関前田台場跡の整備活用 ・適切な管理・活用を図るため、定期的な除草などの環境整備に加えて、巡視点検を実施した。 ・訪問者の利便性を図るため、近隣の土地を借り上げ、駐車場利用するための簡易的な整備と維持管理を実施した。 ・「明治日本の産業革命遺産」の関連資産として位置付けられたことや、日本遺産の構成文化財として認定されたことにより、複合的な活用を視野に入れた柔軟な整備活用の在り方を検討し、実現へ向けて関係機関等との協議・調整を実施した。 ・令和3年に発生した高台場の土砂崩れに関する作業として、将来的な崩落の危険性を減少させるために既設している遮水シートの部分的な補修作業等を実施した。 ・史跡前田台場跡保存整備事業として、土砂崩れの要因と今後の確実な保護を図るため、また台場遺構を復元し活用を図るため、令和7年度より史跡内調査を実施した。 ○国指定三史跡の整備検討 ・下関市立考古博物館での展示講演活動はもとより、県内屈指の密度で周知の埋蔵文化財包蔵地が分布する川中地区に所在する史跡の定期的な除草作業などの環境の整備に努めるとともに、その価値を広く周知するため、愛護意識の啓発を実施した。 ・仁馬山古墳に関しては、令和3年度から関係各所と連携して周辺域に繁茂する竹林を伐採し、令和7年度も引き続き史跡の景観維持に努めた。 ○長府藩主毛利家墓所の整備 ・県指定文化財の長府藩主毛利家墓所は、その立地性により優れた観光資源となり、定期的な除草作業などの環境整備に努めるとともに、その価値を広く周知するため愛護意識の啓発を実施した。
（文化財保護課）	【補足】 ・長州藩下関前田台場跡 平成22年8月5日　国史跡指定 平成27年7月「明治日本の産業革命遺産」世界遺産関連資産 日本遺産「関門“ノスタルジック”海峡」構成文化財 ・国指定三史跡 史跡仁馬山古墳（平成3年5月15日指定） 史跡綾羅木郷台地遺跡（昭和44年3月11日指定） 史跡梶栗浜遺跡（昭和55年3月14日指定） ・長府藩主毛利家墓所 平成26年12月2日　県史跡指定
⑥天然記念物の保存活用	○平成29年に枯損が発生した国指定天然記念物「川棚のクスの森」については、文化庁調査官、山口県天然記念物担当職員、有識者の確認の下、樹勢回復のための水圧穿孔を実施した。また同時に、今後の保護方針を定めるための検討会議を実施した。 ○一部樹形の変化が見受けられた国指定天然記念物「恩徳寺の結びイブキ」について、文化庁調査官及び有識者を招へいし、現状の樹木の状態や保存維持管理における課題点について指導・助言を求めた。 ○関門海峡に浮かび神社禁足地の満珠島・干珠島にある国指定天然記念物「満珠樹林・干珠樹林」について、長らく現地を確認する機会が得られなかったが、遠方からの観察により近年海鳥による糞害や自然環境の変化に伴い樹林帯の変化が見受けられたため、所有者の許可を得て両島に上陸し、現地視察を実施した。

（文化財保護課）	【補足】 ・川棚のクスの森における作業内容：水圧穿孔、検討会議 ・恩徳寺の結びイブキにおける作業内容：有識者調査 ・満珠樹林・干珠樹林における作業内容：現地調査
⑦日本遺産の活用による地域活性化の推進 （文化財保護課）	○文化財保護法改正に伴い法定化された文化財保存活用地域計画の策定を念頭に、文化財をその周辺環境まで含めて総合的に保存・活用するため、文化財総合調査の一環として先行的に日本遺産「関門“ノスタルジック”海峡」の取り組みを推進している。これまでに引き続き、関門地域の官民が一体となった関門海峡日本遺産協議会が主体となり、民間イベントと連携した様々な取り組みを進めた。 【補足】 ・ウェブサイト・ＳＮＳを活用した情報発信 ・普及啓発（日本遺産フェスティバル、マルシェでの PR）：2 件 ・各種連携事業（展示・フォト企画、スタンプラリー、コンサート等による PR 活動）：12 件 ・人材育成（研修、フィールドワーク等）：4 件 ・観光事業（日本遺産バスツアー、クルージング等）：4 件

基本方針	5　人権教育の推進
主要施策	❶多様な学習機会の充実
主な取組	令和７年度の主な取組内容
①人権課題に関する研修会や講座等の実施 （生涯学習課）	○市人権フェスティバルを開催し、人権に関する標語・作文の展示や表彰、講演会を行った。 【補足】 ・人権フェスティバル 令和 7 年度　生涯学習プラザ　　参加者数　502 人 令和 6 年度　シーモールホール　参加者数　436 人 令和 5 年度　菊川ふれあい会館　参加者数　370 人
②家庭、地域社会への情報提供の充実 （生涯学習課）	○人権に関する各種研修会や行事の案内等を市内各教育支所、公民館等に情報提供した。また、人権に関する標語、ポスター等を市内各教育支所、公民館、小・中学校に配布した。 【補足】 ・情報提供（市ホームページ及びしもまちアプリへの掲載、ポスター配布を含む。） 小学生人権標語ポスター 全国一斉「子ども人権 110 番」強化週間 部落差別解消啓発週間ポスター 人権啓発ポスター　人権の花運動　等 ・各種研修会や行事案内 県人権ふれあいフェスティバル 暮らしと人権セミナー　　人権ふれあいセミナー みんなで学ぼう人権講座　人権ステップアップ講座　等
③人権学習講座等の開催支援	○人権尊重に向けた職場や地域環境づくりについて理解や認識を深めるために、人権学習講座を企業・学校・団体・グループ等で開催した。また、出前講座では、市民に対して人権擁護委員等が講師となり、地域の人権意識の向上に努めた。さらに、親子を対象とした人権講座を公民館で開催し、生き物に触れる体験を通して人権尊重について学ぶ機会を設けた。

（生涯学習課）	【補足】 ・人権学習講座 令和７年度　11 会場　参加者数 1,195 人 令和６年度　23 会場　参加者数 1,525 人 令和５年度　15 会場　参加者数 1,784 人 ・出前講座 ・親子で学ぼう人権講座（玄洋公民館）

主要施策	❷教職員研修の充実
主な取組	令和７年度の主な取組内容
①人権課題に応じた研修の計画的な実施 （教育研修課）	○令和７年度下関市教職員研修において、下関市における人権教育の現状及び課題について理解を図る。 ○人権教育の推進状況を把握するための調査を実施し、各学校の現状と課題を把握するとともに、改善に向けた指導・助言を行う。 ○「山口県人権教育推進資料（令和７年３月改定）」を全教職員に配付し、概要や変更点について周知 ○全ての義務研修において、人権に関する研修講座を実施 ○人権に係る校内研修のパッケージを作成し、各校の研修で活用できるようにした。 ○全教職員を対象に人権教育に関する調査を実施し、現状と課題の把握・検討を行った。 【補足】 ・令和７年度人権教育研修会　午後日程　講義　受講者数 54 人 ・小・中学校等管理職人権教育研究協議会５月 27 日教育センターで実施 ・小・中学校等人権教育担当教員等研究協議会６月 24 日教育センターで実施

資料編

Ⅰ　学校教育関連資料

1　下関市学校教育指導上の努力点



２　市立学校一覧

(1) 幼稚園

区　分	所 在 地	学級数	園　児			教　員	保健室	給食室
			総数	男	女			
令和７年度		6	94	52	42	17 (21)	4	3
令和８年度		6	65	35	30	17 (15)	4	3
1　小　月	小月宮の町 15 番 20 号	1	13	7	6	3 (3)	※1○	配
2　清　末	清末西町一丁目 6 番 1 号	2	29	15	14	3 (3)	※1○	配
3　川　中	伊倉本町 21 番 1 号	2	19	12	7	9 (8)	○	配
4　豊　東	菊川町大字上大野字上ノ原 10020 番地 1	1	4	1	3	2 (1)	○	

（　）は会計年度任用職員、外数

「配」は、給食配膳室のみ

※1　保健室と職員室を共用して使用

令和８年５月１日現在

校舎				用地					区分	
校舎保有面積				面積				左の内		
総数	鉄筋	鉄骨	木造	総数	建物敷地	屋外運動場	その他	借地		
3,325	1,594	1,731		11,469	5,594	4,835	1,040		令和７年度	
3,325	1,594	1,731		11,469	5,594	4,835	1,040		令和８年度	
1,005	974	31		3,121	1,616	1,363	142		1	小　月
854	620	234		3,058	1,604	1,454			2	清　末
1,010		1,010		2,740	1,480	904	356		3	川　中
456		456		2,550	894	1,114	542		4	豊　東

(2)幼保連携型認定こども園

	所 在 地	学級数	園　児			教　員	保健室	給食室
			総数	男	女			
令和７年度		54	889	487	402	87 (68)	10	10
令和８年度		51	825	423	402	85 (68)	9	9
1　中　央	幡生新町１番 10 号	9	170	85	85	13 (15)	※1○	○
2　豊　浦	長府亀の甲二丁目２番 82 号	6	114	70	44	11 (10)	※1○	○
3　垢　田	新垢田東町一丁目２番７号	6	108	52	56	11 (8)	※1○	○
4　王　喜	王喜本町二丁目 15 番１号	5	75	42	33	8 (6)	※1○	○
5　菊　川	菊川町大字下岡枝字高田 1504 番地	6	109	47	62	11 (8)	※1○	○
6　西　市	豊田町大字矢田字横の田 184 番地	3	31	17	14	5 (4)	○	○
7　豊田下	豊田町大字手洗字堂本 273 番地１	3	28	18	10	5 (3)	○	○
8　川　棚	豊浦町大字川棚寺田 5281 番地	8	122	61	61	12 (10)	※1○	○
9　黒　井	豊浦町大字黒井字下北岡 2159 番地１	5	68	31	37	9 (4)	○	○

平成 27 年度の子ども・子育て支援新制度施行に伴い、幼保連携型認定こども園が開設。

令和８年度に豊北こども園が公私連携幼保連携型認定こども園（民営）へ移行。

認定こども園の各数値は全体数値（旧幼稚園と旧保育園の合算値）

（　）は会計年度任用職員、外数

※1　保健室と職員室を共用して使用

令和８年５月１日現在

校舎				用地					区分
校舎保有面積				面積				左の内	
総数	鉄筋	鉄骨	木造	総数	建物敷地	屋外運動場	その他	借地	
11,070	9,027	2,033	10	44,130	25,486	11,807	6,837	633	令和７年度
10,086	8,043	2,033	10	35,779	17,795	11,147	6,837	633	令和８年度
1,819	1,819			6,601	3,586	2,020	995		1　中　央
1,167	1,025	132	10	3,671	1,781	1,208	682	633	2　豊　浦
771	771			2,084	486	800	798		3　垢　田
714	703	11		2,644	714	998	932		4　王　喜
1,076		1,076		2,801	1,302	745	754		5　菊　川
1,124	1,124			4,870	2,953	1,000	917		6　西　市
814		814		4,907	906	2,272	1,729		7　豊田下
1,833	1,833			5,870	4,485	1,355	30		8　川　棚
768	768			2,331	1,582	749			9　黒　井

(3) 小学校

区分	所在地	学級	特別支援学級	児童			教員	事務職員		養護教諭（養護士）		栄養教諭	栄養士	校務技士	学校給食調理員	保有教室		
				総数	男	女		県	市	県	市					普通	特別	多目的
令和7年度		394	126	10,451	5,365	5,086	711	41	0	43	0	13	1	6(36)	42	520	459	107
令和8年度		383	129	10,154	5,245	4,909	709	42	0	43	0	14	0	7(35)	37	518	480	114
1 養　治	本町二丁目6-1	6	2	102	50	52	11	1		1				(1)		8	18	1
2 文　関	上田中町一丁目14-1	12	5	375	194	181	23	1		1				(1)		17	18	2
3 名　陵	名池町10-1	8	3	214	99	115	18	1		1				(1)		13	17	1
4 関　西	関西町12-1	3	1	35	21	14	6	1		1				(1)		4	14	1
5 桜　山	上新地町二丁目5-10	6	2	117	61	56	12	1		1				(1)		9	16	3
6 向　山	向山町14-1	10	5	251	129	122	18	1		1				(1)		15	16	20
7 生　野	幡生本町7-14	11	6	273	143	130	23	1		1				(1)		17	8	1
8 本　村	彦島本村町三丁目16-1	4	2	37	20	17	8	1		1				(1)		6	17	
9 西　山	彦島迫町五丁目13-21	7	3	199	110	89	14	1		1				(1)		10	15	2
10 江　浦	彦島江の浦町三丁目4-1	9	5	216	115	101	19	1		1				(1)		14	18	
11 角　倉	彦島角倉町三丁目5-5	6	2	141	71	70	12	1		1				(1)		8	17	9
12 向　井	彦島向井町二丁目20-1	6	2	175	90	85	11	1		1				(1)		8	11	1
13 小　月	小月西の台6-1	10	4	266	140	126	22	1		1		1		(1)	3	14	14	
14 清　末	清末西町一丁目6-1	14	4	392	199	193	23	1		1		1		(1)	4	18	8	1
15 王　司	王司神田六丁目9-1	16	5	461	270	191	28	1		1		1		(1)		21	7	
16 豊　浦	長府亀の甲二丁目2-1	26	6	814	407	407	48	2		2		1		1	8	31	20	3
17 勝　山	秋根上町二丁目2-1	25	6	770	419	351	40	1		2		1		1		31	10	1
18 川　中	伊倉本町19-1	18	5	585	288	297	31	2		1		1		2		23	13	4
19 安　岡	安岡町三丁目5-5	25	5	813	436	377	39	2		2		1		(1)	7	30	10	
20 吉　見	吉見里町一丁目8-1	6	3	134	63	71	13	1		1				(1)		9	12	2
21 蓋　井	大字蓋井島字田町126-2	1		3	3	0	2			1				(1)	1	1	3	
22 吉　田	大字吉田字高田1044-2	3		26	8	18	5	1		1				(1)		3	8	
23 王　喜	王喜本町二丁目12-30	6	4	145	83	62	13	1		1				(1)	2	10	5	1
24 内　日	大字内日下字坂本1031	4	1	36	15	21	6			1				(1)	2	5	7	2
25 山の田	山の田中央町13-1	19	5	542	261	281	32	1		1		1		1		24	12	1
26 川中西	古屋町二丁目9-1	12	5	351	193	158	23	1		1				(1)		17	15	
27 垢　田	新垢田西町一丁目1-1	7	3	212	116	96	14	1		1				(1)		10	12	18
28 長　府	長府松小田北町14-1	12	5	397	212	185	23	1		1				(1)		17	22	2
29 一の宮	一の宮住吉一丁目8-1	14	6	431	202	229	27	1		1		1		1	5	23	7	9
30 熊　野	熊野西町10-1	20	7	600	311	289	37	1		1		1		1		27	1	8
31 豊　東	菊川町大字上大野字上ノ原10020-1	6	3	168	87	81	12	1		1		1		(1)	2	10	10	4
32 岡　枝	菊川町大字吉賀字金蔵寺2494	6	3	112	59	53	12	1		1				(1)	3	9	6	1
33 楢　崎	菊川町大字楢崎字殿屋敷215	3	1	24	9	15	6	1		1				(1)		4	6	2
34 西　市	豊田町大字矢田字今熊132	6	1	73	41	32	9	1		1		1		(1)		7	11	3
35 豊田下	豊田町大字手洗字貴布祢303	4	1	32	15	17	7	1		1				(1)		5	8	
36 室　津	豊浦町大字室津下字新田152-1	2		15	7	8	4	1						(1)		2	11	2
37 誠　意	豊浦町大字黒井字才舛2200	6	2	148	68	80	14	1		1		1		(1)		8	17	1
38 川　棚	豊浦町大字川棚字後楽3650-1	12	3	296	140	156	21	1		1		1		(1)		15	8	4
39 小　串	豊浦町大字小串字谷田ヶ浴617	3	1	17	11	6	6	1		1				(1)		4	10	1
40 宇　賀	豊浦町大字宇賀字ふけ4961	3		19	10	9	5	1		1				(1)		3	12	3
41 豊　北	豊北町大字滝部字常安1200	6	2	137	69	68	12	1		1				(1)		8	10	

（　）は会計年度任用職員、外数

「配」は、給食配膳室のみ

令和８年５月１日現在

保健室	給食室	水泳プール	校舎等							用地					区分
			校舎保有面積				屋内運動場保有面積			面積				左の内	
			総数	鉄筋	鉄骨	木造	総数	鉄筋	鉄骨	総数	建物敷地	屋外運動場	その他	借地	
41	41	38	181,186	173,493	6,693	1,000	36,369	7,727	28,642	821,075	338,109	373,471	109,495	30,389	令和7年度
41	41	38	180,789	173,096	6,693	1,000	36,369	7,727	28,642	820,959	337,993	373,471	109,495	30,389	令和8年度
○	配	○	4,593	4,456	137		809		809	10,589	5,131	4,607	851		1 養　治
○	配	○	6,392	6,294	7	91	968		968	18,544	7,752	6,646	4,146		2 文　関
○	配	○	3,818	2,961	857		887		887	15,336	6,945	6,518	1,873		3 名　陵
○	配	○	3,949	3,786	163		965		965	20,947	9,009	7,855	4,083		4 関　西
○	配	○	4,891	4,773	118		785		785	11,647	4,494	4,768	2,385		5 桜　山
○	配	○	7,952	7,807	145		936		936	20,208	9,260	7,438	3,510		6 向　山
○	配	○	4,327	4,277	50		928		928	14,271	5,449	7,184	1,638		7 生　野
○	配	○	4,685	4,370	265	50	806		806	14,537	6,463	5,298	2,776		8 本　村
○	配	○	4,946	4,738	208		879		879	25,481	12,731	11,603	1,147	20,832	9 西　山
○	配	○	4,783	4,638	145		918		918	18,047	10,018	7,825	204		10 江　浦
○	配	○	6,030	5,761	269		1,046	24	1,022	18,385	7,420	8,843	2,122		11 角　倉
○	配	○	4,966	4,760	206		890		890	31,467	12,712	14,583	4,172		12 向　井
○	○	○	3,778	3,659	119		1,156	1,156		26,279	8,618	9,058	8,603		13 小　月
○	○	○	4,481	4,216	92	173	814		814	19,686	9,033	9,315	1,338		14 清　末
○	○	○	4,499	4,258	241		981	981		18,538	7,553	9,731	1,254		15 王　司
○	○	○	8,633	8,476	157		1,404		1,404	29,261	20,743	8,518			16 豊　浦
○	配	○	5,658	5,574	84		1,123		1,123	29,844	10,369	12,931	6,544		17 勝　山
○	配	○	6,475	5,335	1,140		1,181		1,181	24,071	9,501	12,762	1,808		18 川　中
○	○	○	6,069	5,988	81		1,189		1,189	20,566	8,743	9,890	1,933	9,353	19 安　岡
○	配	○	3,873	3,834	39		980		980	24,594	7,948	12,319	4,327		20 吉　見
○	○	○	298		298		767		767	8,637	1,571	4,902	2,164		21 蓋　井
○	配	○	2,089	1,820	198	71	868		868	15,285	4,653	10,632			22 吉　田
○	○	○	2,847	2,806	41		906	906		17,861	7,386	8,739	1,736		23 王　喜
○	○	○	1,925	1,880	45		881		881	13,323	6,657	6,018	648		24 内　日
○	配	○	5,708	5,633	75		811		811	17,902	6,946	8,798	2,158		25 山の田
○	配	○	5,313	5,165	148		788		788	17,018	6,005	9,822	1,191		26 川中西
○	配	○	6,410	6,339	71		1,011		1,011	27,104	9,928	12,728	4,448		27 垢　田
○	配	○	7,270	7,185	85		1,131		1,131	30,014	10,878	10,932	8,204		28 長　府
○	○	○	5,900	5,900			1,018		1,018	32,143	10,778	12,200	9,165	204	29 一の宮
○	○	○	6,223	5,990	233		1,015	1,015		31,042	11,935	11,740	7,367		30 熊　野
○	○	○	3,351	2,712	620	19	648		648	21,195	10,336	8,863	1,996		31 豊　東
○	配	○	2,799	2,769	30		544		544	17,015	5,800	6,546	4,669		32 岡　枝
○	配	○	2,011	1,686	69	256	525		525	19,664	5,730	8,699	5,235		33 楢　崎
○	配	○	3,076	3,037	3	36	694		694	14,331	7,680	6,008	643		34 西　市
○	配	○	1,696	1,665		31	680	680		15,966	7,153	8,813			35 豊田下
○	配		2,087	2,037		50	785	785		19,699	8,380	11,319			36 室　津
○	配		4,062	3,972	75	15	561		561	16,216	4,685	11,375	156		37 誠　意
○	配	○	4,169	3,945	116	108	911		911	22,290	9,993	12,297			38 川　棚
○	配		3,144	3,098	13	33	607	607		14,632	7,809	5,835	988		39 小　串
○	○	○	2,542	2,480		62	779	779		11,772	4,773	6,269	730		40 宇　賀
○	配	○	3,071	3,016	50	5	794	794		25,552	9,025	13,244	3,283		41 豊　北

(4) 中学校

区　分	所　在　地	学級	特別支援学級	生　徒			教員	事務職員		養護教諭（養護士）		栄養教諭	栄養士	校務技士	学校給食調理員	保有教室		
				総数	男	女		県	市	県	市					普通	特別	多目的
令和7年度		184	58	5,488	2,778	2,710	420	27	0	22	0	6	0	7(14)	6	243	402	52
令和8年度		178	52	5,251	2,639	2,612	416	28	0	23	0	6	0	5(16)	6	235	449	56
1 日　新	上田中町一丁目 15-1	9	2	251	128	123	22	1		1				(1)		11	26	2
2 向　洋	向洋町一丁目 14-1	5	3	121	67	54	15	1		1				1		8	23	
3 文　洋	上新地町五丁目 6-1	3	2	76	32	44	10	1		1				(1)		5	32	2
4 関西分校	関西町 12-1	3		20	7	13	8	1		1						3	4	
5 名　陵	丸山町一丁目 13-3	4	2	110	54	56	11	1		1				1		6	19	4
6 東　部	清末陣屋 5-10	17	4	566	301	265	36	1		1		1		(1)		22	19	
7 長　府	長府逢坂町 3-1	13	3	427	201	226	28	1		1				1		16	19	
8 勝　山	秋根上町二丁目 5-1	18	3	573	265	308	35	2		1		1		1		21	18	3
9 川　中	伊倉新町四丁目 6-1	20	4	643	318	325	40	5		2		2		(1)		27	54	
10 安　岡	安岡町四丁目 2-1	12	2	351	166	185	23	1		1		1		(1)	4	14	14	5
11 吉　見	永田本町一丁目 3-10	3	2	76	37	39	10	1		1				(1)		5	10	2
12 彦　島	彦島江の浦町二丁目 25-1	9	2	272	134	138	23	1		1				(1)		11	30	
13 玄　洋	彦島本村町二丁目 8-1	4	2	106	71	35	11	1		1				(1)		6	21	8
14 木屋川	木屋川南町二丁目 660	3	3	97	59	38	11	1		1				(1)		6	11	1
15 内　日	大字内日下字坂本 1031	3		15	11	4	8	1								3	1	1
16 山の田	山の田本町 8-1	12	3	397	196	201	26	1		1				1		15	19	4
17 垢　田	大字垢田字笹原 1127-6	10	3	316	156	160	21	1		1				(1)		13	24	2
18 長　成	長府日の出町 4-1	7	2	224	124	100	15	1		1				(1)		9	16	8
19 菊　川	菊川町大字下岡枝字上室屋 1-2	6	2	177	94	83	14	1		1				(1)	2	9	12	2
20 豊　田	豊田町大字矢田字鎮守 434	3	2	59	34	25	10	1		1				(1)		5	14	
21 豊　洋	豊浦町大字黒井字馬神 10724-1	3	2	88	38	50	10	1		1				(1)		5	15	1
22 夢が丘	豊浦町大字小串字夢が丘 10145	7	2	206	101	105	15	1		1				(1)		9	18	4
23 豊　北	豊北町大字滝部字幸神 1244-36	3	2	79	44	35	10	1		1		1		(1)		5	30	6
24 蓋　井	大字蓋井島字田町 126-2	1		1	1		4									1		1

（　）は会計年度任用職員、外数

「配」は、給食配膳室のみ

(5) 高等学校

下関商業高等学校（下関市後田町四丁目 11-1）

区　分	生徒	学級	保有教室		保健室	食堂	水泳プール	校舎等			
			普通	特別				校舎保有面積			
								総数	鉄筋	鉄骨	木造
令和7年度	467	15	24	11	1	1	1	12,840	12,641	93	106
令和8年度	475	15	24	11	1	1	1	12,840	12,641	93	106

令和８年５月１日現在

保健室	給食室	水泳プール	武道場	校舎等							用地					区　分
				校舎保有面積				屋内運動場保有面積			面積				左の内借　地	
				総数	鉄筋	鉄骨	木造	総数	鉄筋	鉄骨	総数	建物敷地	屋外運動場	その他		
21	21	19	17	124,775	118,883	5,821	71	20,967	9,424	11,543	770,376	237,962	271,013	261,401	20,336	令和７年度
21	21	19	17	125,568	119,676	5,821	71	20,967	9,424	11,543	770,376	237,962	271,013	261,401	20,336	令和８年度
○	配	○	○	6,683	6,368	315		812	812		33,695	8,355	7,957	17,383		１日　新
○	配	○	○	5,771	5,376	395		1,192	1,192		30,529	13,250	12,340	4,939	17,258	２向　洋
○	配	○	○	7,054	6,529	525		749	749		25,490	12,248	7,803	5,439	2,888	３文　洋
○	配			793	793											４関西分校
○	配	○	○	5,038	4,946	92		758	758		16,391	7,299	8,016	1,076		５名　陵
○	○	○	○	6,299	6,194	105		819	819		73,459	12,331	13,118	48,010		６東　部
○	配	○	○	6,843	6,315	528		1,026		1,026	57,236	12,519	15,171	29,546		７長　府
○	配	○	○	6,858	6,806	52		961		961	29,899	11,510	10,694	7,695		８勝　山
○	配	○	○	12,131	12,131			2,299	133	2,166	33,753	19,553	14,200			９川　中
○	○	○	○	6,212	5,555	657		1,019		1,019	34,816	12,251	16,299	6,266		10安　岡
○	配	○	○	3,664	3,208	456		994		994	26,753	10,472	14,832	1,449		11吉　見
○	配	○	○	7,322	6,737	585		817	817		37,778	10,785	16,491	10,502		12彦　島
○	配	○	○	6,233	5,606	627		1,130		1,130	46,640	12,069	15,768	18,803		13玄　洋
○	配	○	○	3,091	3,002	89		602		602	20,607	7,021	10,435	3,151		14木屋川
				308	308											15内　日
○	配	○	○	6,530	6,368	162		985		985	20,761	9,116	10,254	1,391		16山の田
○	配	○	○	6,464	6,022	442		1,234		1,234	33,053	12,000	15,000	6,053		17垢　田
○	配	○	○	5,549	5,491	58		1,178	1,178		35,095	8,864	15,910	10,321		18長　成
○	○			3,234	2,664	543	27	828		828	26,465	11,341	15,124			19菊　川
○	配	○		2,919	2,813	62	44	1,123	1,123		25,538	11,437	13,859	242		20豊　田
○	配	○		3,441	3,337	104		676	78	598	19,928	6,302	9,997	3,629		21豊　洋
○	配			5,580	5,580						23,423	5,611	11,500	6,312		22夢が丘
○	配	○	○	7,527	7,527			1,765	1,765		118,877	23,628	16,245	79,004		23豊　北
				24		24					190			190	190	24蓋　井

令和８年５月１日現在

校舎等		用			地		区　分
屋内運動場保有面積		面		積		左の内借　地	
総数	鉄筋	総数	建物敷地	屋外運動場	その他		
5,579	5,579	38,417	9,605	25,917	2,895	0	令和７年度
5,579	5,579	38,417	9,605	25,917	2,895	0	令和８年度

３　令和８年度研修計画（中核市研修）

令和８年５月１日現在

番号	研修会名	参加対象 幼こ保	小	中	高	実施回数等
1	下関市小･中学校初任者研修（教諭）		○	○		７期
2	フォローアップ（２年次）研修（教諭）		○	○		２期
3	フォローアップ（３年次）研修（教諭）		○	○		１期
4	下関市小･中学校６年次研修（教諭）		○	○		２期
5	小･中学校中堅教諭等資質向上研修（教諭）		○	○		４期
6	校長フォローアップ(１・２・３年次)研修会		校長	校長		３期
7	園長研修会	園長				１回
8	校長研修会		校長	校長	校長	１回
9	教頭研修会		教頭	教頭	教頭	１回
10	園務主任等研修会	○				１回
11	学力向上研修会		○	○		１回
12	人材育成研修会		○	○		１回
13	つなぐ生徒指導研修会		○	○		１回
14	教育相談担当研修会		○	○		１回
15	「なめらかな接続」のための連携教育研修会	○	○			１回
16	小中連携・一貫教育研修会		○	○		１回
17	学校図書館研修会		○	○		１回
18	養護教諭研修会		○	○		１回
19	学校事務職員研修会		○	○		１回
20	ＩＣＴ活用推進研修会		○	○		１回
21	食育研修会		○	○		隔年実施(R8 なし)
22	人権教育研修会		○	○		１回
23	授業づくり研修会 小学校（教科等未定）		○	○		1～2 回
24	授業づくり研修会 中学校　国語科		○	○	○	未定
25	授業づくり研修会 中学校　社会科		○	○	○	未定
26	授業づくり研修会 中学校　数学科		○	○	○	未定
27	授業づくり研修会 中学校　　理科		○	○	○	未定
28	授業づくり研修会 中学校　音楽科		○	○	○	未定
29	授業づくり研修会 中学校　美術科		○	○	○	未定
30	授業づくり研修会 中学校　保健体育科		○	○	○	未定

番号	研修会名	参加対象 幼こ保	小	中	高	実施回数等
31	授業づくり 中学校 技術家庭科（技術）		○	○	○	未定
32	授業づくり 中学校 技術家庭科（家庭）		○	○	○	未定
33	授業づくり 中学校　英語科		○	○	○	未定
34	授業づくり 中学校　道徳科		○	○	○	未定
35	幼児教育実技研修会	○				１回
36	児童生徒理解を深める生徒指導研修会		○	○		１回
37	危機対応研修会		○	○		１回
38	通常の学級における特別支援教育研修会	○	○	○	○	１回
39	特別支援教育スキルアップ研修会	○	○	○	○	１回
40	道徳教育研修会		○	○	○	１回
41	英語教育研修会		○	○		１回
42	日本語を母語としない児童生徒への日本語指導		○	○		１回
43	複式教育研修会		○	○		１回
44	研修支援訪問	○	○	○		計画による
45	授業力サポート研修		○	○		随時
46	イングリッシュ・チャット・ルーム		○	○	○	１回
47	わくわく教師塾 in 下関	任意参加				随時
48	県外等派遣研修（こ・幼・保）	○				計画による
49	県外等派遣研修（小・中・高）		○	○	○	計画による

４　令和８年度研究事業一覧

☆印は山口県教育委員会事業　　○印は下関市教育委員会事業

研　究　領　域	学　校　名	期　間
☆学校におけるがん教育推進事業	下関市立豊東小学校 下関市立岡枝小学校 下関市立楢崎小学校 下関市立菊川中学校 下関市立西市小学校 下関市立豊田下小学校 下関市立豊田中学校	令和８年度
☆授業力向上実践研究指定校	下関市立豊浦小学校	令和８年度
☆「やまぐちっ子の心を育む道徳教育」 プロジェクト推進校	下関市立垢田中学校 下関市立名陵小学校	令和７年度～令和８年度 令和８年度～令和９年度
☆「やまぐちＰＲＩＤＥ」実践研究推進校区	下関市立豊北中学校区	令和８年度
☆子どもが「地域の創り手」プロジェクト指定校区	下関市立吉見小学校 下関市立吉見中学校	令和８年度
○生成ＡＩを活用した家庭学習の活用モデル校	下関市立長府中学校	令和８年度
○下関市小中一貫教育研究推進校	下関市立玄洋中学校 下関市立本村小学校 下関市立西山小学校	令和５年度～令和８年度

５　外国語指導助手派遣推進事業

ＡＬＴ人数・配置先	７人：教育研修課　５人、菊川教育支所　１人、豊田教育支所　１人
活動内容	・外国の生活や文化に慣れ親しむための指導に当たる。 ・外国語担当教員や学級担任のもとで協同授業（ティーム・ティーチング）を行い、児童・生徒のコミュニケーション能力の素地や基礎を養う。 ・外国語担当教員のための各種研修会に講師として参加する。 ・特別活動・課外活動などを担当教員のもとで指導する。 ・外国語暗唱・弁論大会の指導及び審査に当たる。 ・音声教材及び外国語原稿作成への支援に当たる。 ・その他、所属長又は校長が必要と認める職務に当たる。

６　特別支援教育

(1) 特別支援学級設置状況（令和８年度）

（令和８年５月１日現在）

（ア）小学校　　（単位：学級、人）

区　　分	障害別	学級	教員数	児童						
				１年	２年	３年	４年	５年	６年	合計
令和７年度	―	126	136	77	86	110	110	100	102	585
令和８年度	―	129	138	85	85	92	120	114	104	600
養治小	知的	1	1	0	1	0	0	2	0	3
	自閉・情緒	1	1	1	1	0	1	1	1	5
文関小	知的	2	2	1	2	0	5	0	1	9
	自閉・情緒	3	3	0	0	4	2	8	4	18
名陵小	知的	1	1	0	1	1	0	1	1	4
	自閉・情緒	2	2	2	1	1	0	1	4	9
関西小	自閉・情緒	1	1	0	0	0	1	1	0	2
桜山小	知的	1	1	0	0	1	0	2	0	3
	自閉・情緒	1	2	1	1	2	2	2	0	8
向山小	知的	1	1	0	0	1	2	4	0	7
	肢体不自由	1	1	0	1	0	0	0	0	1
	自閉・情緒	3	3	4	1	6	5	2	0	18
生野小	知的	2	2	0	1	1	1	3	3	9
	肢体不自由	1	1	0	1	0	0	0	0	1
	病弱・虚弱	1	1	0	0	0	0	1	0	1
	自閉・情緒	2	2	4	4	1	2	2	2	15
本村小	知的	1	1	1	1	0	1	0	0	3
	自閉・情緒	1	1	0	0	1	0	0	0	1
西山小	知的	1	1	0	0	2	1	1	2	6
	難聴	1	1	0	0	0	0	1	0	1
	自閉・情緒	1	2	2	0	2	0	0	3	7
江浦小	知的	1	1	0	0	1	0	2	0	3
	肢体不自由	1	1	0	0	0	0	1	0	1
	病弱・虚弱	1	1	0	0	0	0	1	0	1
	自閉・情緒	2	2	1	2	2	1	2	1	9
角倉小	知的	1	1	0	0	0	2	0	1	3
	自閉・情緒	1	1	0	2	0	0	0	1	3
向井小	知的	1	1	0	0	1	0	1	1	3
	自閉・情緒	1	1	0	0	1	1	0	0	2
小月小	知的	2	2	1	0	3	2	2	1	9
	自閉・情緒	2	2	4	2	2	1	2	1	12
清末小	知的	1	1	0	0	1	1	1	0	3
	自閉・情緒	3	3	5	1	3	2	4	2	17
王司小	知的	1	2	3	1	2	1	0	0	7
	自閉・情緒	4	4	5	4	3	5	5	4	26

区　　分	障害別	学級	教員数	児童						
				1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
豊浦小	知的	2	2	0	0	4	3	3	3	13
	自閉・情緒	4	4	1	3	5	10	3	6	28
勝山小	知的	1	1	0	0	2	0	3	0	5
	難聴	1	1	0	0	0	0	1	0	1
	自閉・情緒	4	4	10	7	1	4	1	5	28
川中小	知的	2	3	2	2	2	5	2	1	14
	難聴	1	1	1	0	0	0	0	0	1
	自閉・情緒	2	3	1	3	2	4	4	1	15
安岡小	知的	1	1	1	1	0	1	0	2	5
	肢体不自由	1	1	0	1	0	1	0	0	2
	自閉・情緒	3	4	5	4	3	3	2	3	20
吉見小	知的	1	1	1	1	0	0	1	2	5
	自閉・情緒	2	2	0	1	1	3	1	5	11
蓋井小	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
吉田小	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
王喜小	知的	1	1	0	0	0	1	1	0	2
	難聴	1	1	0	1	0	0	0	0	1
	自閉・情緒	2	2	2	1	0	3	0	4	10
内日小	知的	1	1	0	1	0	0	0	0	1
山の田小	知的	2	2	1	1	1	3	1	2	9
	肢体不自由	1	1	0	1	0	0	0	0	1
	自閉・情緒	2	3	1	2	0	6	3	3	15
川中西小	知的	1	1	0	2	1	1	1	0	5
	難聴	1	1	0	0	0	2	0	0	2
	自閉・情緒	3	3	4	1	5	2	3	3	18
垢田小	知的	1	1	0	0	0	1	1	2	4
	自閉・情緒	2	2	3	0	1	1	3	2	10
長府小	知的	1	1	0	1	1	0	0	1	3
	自閉・情緒	4	4	3	8	4	3	4	5	27
一の宮小	知的	1	1	0	1	1	1	2	0	5
	弱視	1	1	0	0	0	0	1	0	1
	言語	1	1	0	0	0	0	1	0	1
	自閉・情緒	3	4	2	3	3	6	3	4	21
熊野小	知的	2	2	1	0	2	2	2	2	9
	病弱・虚弱	1	1	1	0	0	1	0	0	2
	難聴	1	1	0	0	1	0	0	0	1
	自閉・情緒	3	3	4	3	4	2	0	5	18
豊東小	知的	1	1	0	0	0	1	1	1	3
	自閉・情緒	2	2	1	0	2	1	4	1	9
岡枝小	知的	1	1	0	0	0	0	1	1	2
	自閉・情緒	2	2	2	1	1	2	2	1	9
楢崎小	自閉・情緒	1	1	0	0	1	0	0	0	1
西市小	自閉・情緒	1	1	0	1	0	0	0	1	2

区　　分	障害別	学級	教員数	児童						
				1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
豊田下小	自閉・情緒	1	1	0	1	0	1	0	0	2
室津小	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
誠意小	知的	1	1	0	0	0	2	0	0	2
	自閉・情緒	1	1	0	0	0	0	1	2	3
川棚小	知的	1	1	0	1	0	1	0	0	2
	自閉・情緒	2	2	2	3	1	1	2	0	9
小串小	自閉・情緒	1	1	0	0	0	0	0	1	1
宇賀小	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
豊北小	知的	1	1	0	1	1	1	1	0	4
	自閉・情緒	1	2	1	0	0	2	2	2	7

（イ）中学校

（単位：学級、人）

区　　分	障害別	学級	教員数	生　　徒			
				1年	2年	3年	合計
令和7年度	－	58	59	69	77	76	222
令和8年度	－	52	55	84	65	72	221
日新中	知的	1	1	3	0	3	6
	自閉・情緒	1	1	2	1	2	5
向洋中	知的	1	1	2	1	2	5
	肢体不自由	1	1	0	1	0	1
	自閉・情緒	1	1	5	1	0	6
文洋中	知的	1	1	0	2	1	3
	自閉・情緒	1	1	3	1	2	6
関西分校	－	－	－	－	－	－	－
名陵中	肢体不自由	1	1	0	0	1	1
	自閉・情緒	1	1	1	2	0	3
東部中	知的	1	1	2	3	3	8
	病弱・虚弱	1	1	0	0	1	1
	自閉・情緒	2	2	4	3	3	10
長府中	知的	1	1	1	0	1	2
	自閉・情緒	2	2	6	2	2	10
勝山中	知的	1	1	3	2	0	5
	自閉・情緒	2	2	4	8	2	14
川中中	知的	1	1	2	2	2	6
	難聴	1	1	1	0	0	1
	自閉・情緒	2	3	9	5	2	16
安岡中	知的	1	1	1	1	2	4
	自閉・情緒	1	1	2	1	4	7
吉見中	知的	1	1	1	1	1	3
	自閉・情緒	1	1	2	0	0	2
彦島中	知的	1	1	2	3	2	7
	自閉・情緒	1	2	2	2	3	7
玄洋中	知的	1	1	1	0	0	1
	自閉・情緒	1	1	0	3	1	4

区　分	障害別	学級	教員数	生　徒			
				1年	2年	3年	合計
木屋川中	知的	1	1	1	2	3	6
	難聴	1	1	0	0	1	1
	自閉・情緒	1	1	0	1	2	3
内日中	－	－	－	－	－	－	－
山の田中	知的	2	2	3	3	3	9
	自閉・情緒	1	1	4	1	2	7
垢田中	知的	1	1	1	1	4	6
	自閉・情緒	2	2	4	1	5	10
長成中	知的	1	1	2	0	1	3
	自閉・情緒	1	2	2	2	4	8
菊川中	知的	1	1	2	0	1	3
	自閉・情緒	1	1	2	3	1	6
豊田中	知的	1	1	0	1	1	2
	自閉・情緒	1	1	0	1	0	1
豊洋中	知的	1	1	2	0	1	3
	自閉・情緒	1	1	1	0	0	1
夢が丘中	知的	1	1	1	0	0	1
	自閉・情緒	1	1	0	0	3	3
豊北中	知的	1	1	0	2	0	2
	自閉・情緒	1	1	0	2	0	2
蓋井中	－	－	－	－	－	－	－

(2) 通級指導教室活動実態

小学校通級指導教室（13校）　名陵小・江浦小・小月小・豊浦小・勝山小・川中小・安岡小・山の田小・川中西小・熊野小・西市小・誠意小・豊北小

中学校通級指導教室（4校）　日新中・東部中・川中中・彦島中

（ア）幼児（令和7年度　利用者数）　（単位：人）

	総数/年齢	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
令和7年度	249	3	18	88	140

（イ）児童・生徒（令和7年度　利用者数）　（単位：人）

	小学校							中学校			
	総数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	総数	1年	2年	3年
令和7年度	489	108	117	77	77	49	61	68	16	24	28

(3) 令和８年度就学支援状況（令和8年4月に転・入学等した者）

（単位：件）

教育支援委員会に提出された事例数	
知的障害	95
自閉症・情緒障害	240
聴覚障害	3
視覚障害	0
言語障害	1
病弱・虚弱	6
肢体不自由	0
重複障害	5
その他	0
合　計	350

（単位：人）

教育支援委員会の意見	
通常の学級対象と判定された者	51
特別支援学級対象と判定された者	264
総合支援学校対象と判定された者	35
合　計	350

（単位：人）

教育支援委員会の就学支援結果		
通常の学級へ転・入学		78
特別支援学級	知的障害特別支援学級へ転・入学	63
	病弱・身体虚弱特別支援学級へ転・入学	2
	肢体不自由特別支援学級へ転・入学	0
	難聴特別支援学級へ転・入学	2
	弱視特別支援学級へ転・入学	0
	言語障害特別支援学級へ転・入学	0
	自閉症・情緒障害特別支援学級へ転・入学	169
総合支援学校へ転・入学した者		36
その他（市外へ転居、私立学校へ進学）		0
合　計		350

(4) 特別支援学級生徒の進路状況

（単位：人）

区　分	総数	高等学校			総合支援学校	各種学校	就職	自宅
		公立	定時制・通信制	私立				
令和6年度	60	7	6	25	15	6	0	1
令和7年度	75	9	1	32	22	8	0	3

(5) 下関市特別支援教育支援員配置状況

令和8年度　147名配置（令和8年5月1日現在）

(6) 令和８年度に新設された特別支援学級

小学校　2学級（病弱・虚弱 1、難聴1）
中学校　5学級（知的2、自閉・情緒 2、難聴1）

7　就学援助

(1) 就学援助費

（単位：人、円）

区　分		小学校		中学校	
		受給児童	援助額	受給生徒	援助額
令和6年度		1,630	36,892,865	1,052	61,200,245
令和7年度		1,504	34,434,654	924	57,696,950
再掲	学用品・通学用品・校外活動費(日帰り)	2,268	17,787,470	1,012	19,556,006
	修学旅行費	286	6,431,574	324	18,832,294
	校外活動費（宿泊）	257	796,722	7	19,800
	通学費	11	542,490	3	481,100
	新入学児童生徒学用品費等	160	8,876,398	293	18,807,750

(2) 特別支援教育就学奨励費

（単位：人、円）

区　分		小学校		中学校	
		受給児童	援助額	受給生徒	援助額
令和6年度		532	8,497,525	143	4,523,747
令和7年度		535	6,284,765	155	4,266,860
再掲	学校給食費	313	1,285,556	113	484,589
	通学費	254	1,100,189	46	281,205
	職場実習交通費	0	0	2	1,820
	交流学習交通費	1	125	2	2,800
	修学旅行費	55	558,668	39	1,106,792
	校外活動費（日帰り）	225	163,620	15	11,235
	校外活動費（宿泊）	44	77,527	1	3,105
	学用品・通学用品購入費	321	1,843,760	117	1,304,314
	新入学児童生徒学用品・通学用品購入費	44	1,255,320	34	1,071,000
	付添保護者交通費	0	0	0	0

(3) 令和７年度就学援助費(給食費)

区　分	実施人員（人）	援助額（円）
小学校	1,344	10,049,547
中学校	852	6,506,215
計	2,196	16,555,762

８　下関市奨学金制度

月額奨学金	貸付金額（月額）	①　大学生	40,000 円
		②　高校生	18,000 円
	貸付期間	在学する学校の正規の修業期間	
入学一時金	貸付金額	①　大学生	40,000 円、80,000 円、120,000 円、160,000 円、200,000 円、240,000 円のいずれかの額
		②　高校生	18,000 円、36,000 円、54,000 円、72,000 円、90,000 円、108,000 円のいずれかの額
据置期間	在学する学校の正規の修業期間経過後１年間		
返還方法	月賦により返還、毎月の返還額は月額奨学金の２分の１の額		

注１ 無利子

注２ 入学一時金は大学又は高校に入学した年度に１回のみ貸付
（高校に入学した年度と、大学に入学した年度の重ねての貸付は可能）

【令和７年度までの運用状況】　（単位：人、円）

年　度	合　計		大　学		高　校	
	人　員	貸付金総額	人　員	貸付金総額	人　員	貸付金総額
令和２年度	9	3,000,000	4	1,920,000	5	1,080,000
令和３年度	11	3,206,000	5	2,000,000	6	1,206,000
令和４年度	10	4,368,000	7	3,720,000	3	648,000
令和５年度	14	5,616,000	9	4,320,000	5	1,296,000
令和６年度	14	5,598,000	10	5,040,000	4	558,000
令和７年度	15	6,432,000	13	6,000,000	2	432,000

９　園・学校訪問

研修支援訪問（小・中学校）	各学校が抱えている学習指導、生徒指導、特別支援教育、情報教育等の課題の解決を図るために、年１回の定期訪問及び各学校からの要請に応じて指導主事等を派遣し、研修の充実を図る。
研修支援訪問（幼稚園・認定こども園）	各園の自主的な研修活動を促進させるために、年１回の定期訪問及び各園からの要請に応じて教育・保育専門監や指導主事等を派遣し、研究主題の解明や保育活動の充実を図る。
担当園・校訪問	各園、小・中学校に教育・保育専門監・担当指導主事等を配置することで、学校と教育委員会との連携を密にするとともに、各園・学校が抱えている課題の把握と解決、さらには人材育成への支援を図る。
生徒指導訪問	各学校の問題行動や、学校事件・事故等に素早く対応したり、未然に防止したりするために、指導主事、ガイダンスアドバイザー、カウンセリングアドバイザー、スクールソーシャルワーカー等を派遣する。

１０　学校保健

(1) 令和７年度健康診断における疾患・異常

（単位：人、%）

区分 / 項目		小学校 男子 人数	小学校 男子 率	小学校 女子 人数	小学校 女子 率	中学校 男子 人数	中学校 男子 率	中学校 女子 人数	中学校 女子 率
栄養状態	栄養不良	4	0.08	5	0.09	2	0.07	2	0.07
	肥満傾向	203	3.81	142	2.80	80	2.92	57	2.13
	貧血	4	0.08	8	0.16	7	0.26	9	0.34
脊柱		102	1.92	96	1.89	90	3.28	100	3.74
胸郭		2	0.04	1	0.02	0	0.00	0	0.00
骨・関節、四肢の状態		29	0.54	31	0.61	38	1.38	21	0.79
裸眼視力	1.0 未満 0.7 以上 B	428	8.19	442	8.83	269	9.80	262	9.80
	0.7 未満 0.3 以上 C	623	11.91	677	13.53	456	16.62	462	17.28
	0.3 未満 D	431	8.24	458	9.15	583	21.25	591	22.10
聴力		43	0.81	40	0.79	18	0.66	16	0.60
眼	感染性眼疾患	28	0.53	28	0.55	5	0.18	0	0.00
	その他の眼疾患異常	435	8.17	341	6.72	233	8.49	160	5.98
耳鼻咽頭	耳疾患	370	6.95	352	6.93	148	5.39	95	3.55
	鼻・副鼻腔疾患	511	9.60	194	3.82	197	7.18	126	4.71
	口腔・咽頭疾患異常	11	0.21	9	0.18	3	0.11	4	0.15
皮膚疾患	アトピー性皮膚炎	46	0.86	40	0.79	3	0.11	1	0.04
	その他の皮膚疾患	11	0.21	6	0.12	3	0.11	1	0.04
結核精密検査者		4	0.08	0	0.00	0	0.00	0	0.00
心臓疾患異常		44	0.83	70	1.38	30	1.09	26	0.97
心電図二次検診受検者 ※		20	2.47	12	1.63	18	1.96	8	0.91
尿	蛋白	29	0.54	48	0.95	20	0.73	13	0.49
	糖	1	0.02	6	0.12	1	0.04	8	0.30
	潜血	10	0.19	14	0.28	7	0.26	24	0.90
その他の疾患異常		79	1.48	106	2.09	16	0.58	22	0.82
歯・口腔	う歯 処置完了者	1,046	19.84	883	17.57	527	19.93	609	23.53
	う歯 未処置歯のある者	1,010	19.16	813	16.17	358	13.54	330	12.75
	その他の歯疾患異常	493	9.35	567	11.28	285	10.78	253	9.78
	口腔の疾患異常	70	1.33	68	1.35	0	0.00	1	0.04

（単位:人）

	小学校 男子	小学校 女子	中学校 男子	中学校 女子
在籍者総数	5,372	5,089	2,775	2,709
受検者数	5,323	5,077	2,744	2,674
歯・口腔の受検者数	5,272	5,027	2,644	2,588

注１ ※印の受検対象者は、小学校１年生及び中学校１年生

注２ 表中「率」欄は総受検者に対する疾患者等の割合

(2) 令和７年度負傷・疾病の種類別災害発生状況

（単位：件）

負傷・疾病＼学校種別			小学校	中学校	高等学校	幼稚園	合計
負傷	骨折		137	105	14	0	256
	捻挫		89	76	22	1	188
	脱臼		24	7	1	0	32
	挫傷・打撲		223	106	14	1	344
	靭帯損傷・断裂		13	11	2	0	26
	挫創		38	7	0	1	46
	切創		7	3	0	0	10
	刺創		2	1	0	0	3
	割創		1	0	0	0	1
	裂創		7	1	0	1	9
	擦過傷		8	0	0	0	8
	熱傷・火傷		1	0	0	0	1
	歯牙破折		6	2	0	0	8
	その他		0	0	1	0	1
	負傷合計		556	319	54	4	933
疾病	食中毒		0	0	0	0	0
	食中毒以外の中毒		0	0	0	0	0
	熱中症		1	0	0	0	1
	溺水		0	0	0	0	0
	異物の嚥下・迷入		9	2	0	0	11
	接触性の皮膚炎		1	0	0	0	1
	外部衝撃、相当の運動量、心身に対する負担の累積に起因する疾病	脳・脊髄系の疾患	1	2	0	0	3
		心臓系の疾患	0	0	0	0	0
		肺その他の内臓疾患	0	1	9	0	10
		骨疾患	1	5	1	0	7
		関節疾患	0	3	1	0	4
		筋腱疾患	2	6	4	0	12
		皮膚疾患	3	1	0	0	4
		精神疾患	0	0	0	0	0
		その他	1	0	0	0	1
		計	8	18	15	0	41
	負傷に起因する疾病	脳・脊髄系の疾患	1	1	0	0	2
		心臓系の疾患	0	0	0	0	0
		肺その他の内臓疾患	0	0	0	0	0
		骨疾患	0	1	0	0	1
		関節疾患	2	2	0	0	4
		筋腱疾患	1	4	0	0	5
		皮膚疾患	6	0	0	0	6
		精神疾患	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		計	10	8	0	0	18
	疾病合計		29	28	15	0	72
負傷・疾病の合計			585	347	69	4	1,005

(3) 令和７年度児童・生徒の体位比較

年齢（歳）		身長（単位:cm） 男 下関市	身長（単位:cm） 男 山口県	身長（単位:cm） 女 下関市	身長（単位:cm） 女 山口県	体重（単位:kg） 男 下関市	体重（単位:kg） 男 山口県	体重（単位:kg） 女 下関市	体重（単位:kg） 女 山口県
小学校	6	116.1	115.9	114.3	114.5	21.2	21.2	20.8	20.8
	7	121.9	122.1	120.6	120.7	24.1	24.1	23.1	23.1
	8	127.7	127.4	126.5	126.9	27.2	27.0	26.8	26.7
	9	133.4	132.8	133.3	133.7	31.1	30.4	30.2	30.7
	10	139.2	138.6	140.1	140.0	35.0	34.4	34.3	34.2
	11	145.1	144.9	146.8	146.7	39.2	38.6	39.3	39.6
中学校	12	152.8	152.3	151.5	151.3	45.0	44.1	43.8	43.5
	13	160.0	159.4	154.5	154.1	49.6	49.7	46.9	47.2
	14	165.2	164.7	155.6	155.7	54.4	53.8	49.9	50.0

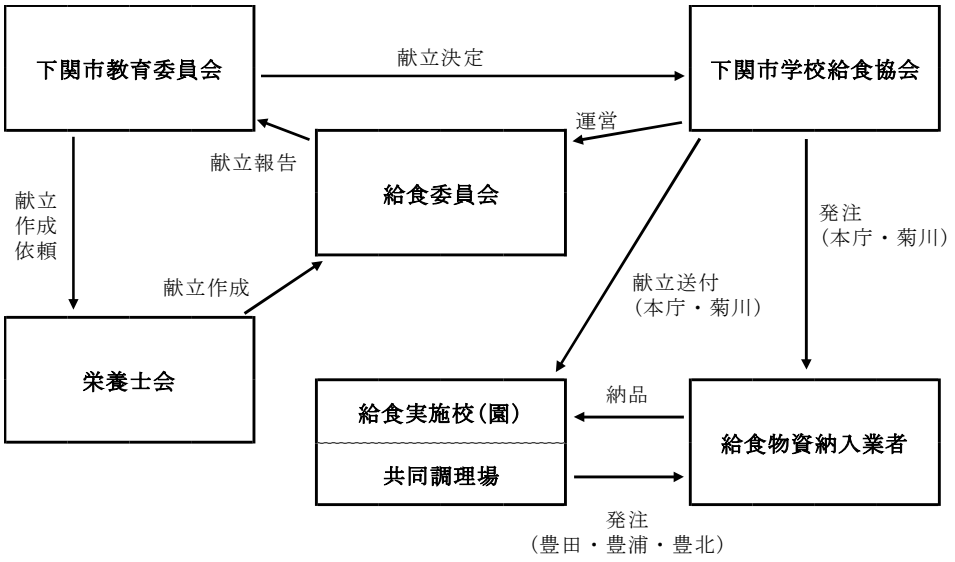
１１　学校給食

(1) 学校給食実施状況

（令和８年５月１日現在）

区分	完全給食			実施方式					
	校(園)数	実施人員	実施率	単独調理校		親子受配		調理場受配	
	校(園)	人	%	校(園)	人	校(園)	人	校(園)	人
小学校	41	10,154	100	12	4,148	0	0	29	6,006
中学校	24	5,251	100	3	1,094	2	16	19	4,141
幼稚園	4	65	100	0	0	3	46	1	19
計	69	15,470	100	15	5,242	5	62	49	10,166

(2) 献立の作成から実施まで



(3)学校給食共同調理場・学校給食センター

（令和８年度）

共同調理場名 （所在地）	構造・延面積 （開設年月日）	運営方式	対象学校数 （児童生徒園児数）			対象 学校名
			学校種別	学校（園）数	児童生徒 園児数(人)	
中部学校給食共同調理場 （一の宮住吉二丁目９－８） （TEL 083-257-1578）	鉄骨 平屋建 延 866.66 ㎡ （平 2.4.1）	民間 （平 30.4～）	小	1	102	養治
			中	6	1,838	日新、向洋、名陵 垣田、川中、山の田
			幼	1	19	川中
			計	8	1,959	
吉見学校給食共同調理場 （吉見里町一丁目８－１） （TEL 083-286-2014）	鉄骨 平屋建 延 216.25 ㎡ （昭 57.4.1）	民間 （令 4.8～）	小	1	134	吉見
			中	1	76	吉見
			計	2	210	
木屋川学校給食共同調理場 （木屋川南町二丁目 658） （TEL 083-282-0354）	鉄骨 平屋建 延 130.00 ㎡ （昭 58.1.1）	民間 （令 4.8～）	小	1	26	吉田
			中	1	97	木屋川
			計	2	123	
岡枝学校給食共同調理場 （菊川町大字吉賀 2494） （TEL 083-287-0007）	鉄骨 平屋建 延 116 ㎡ （昭 57.3）	直営	小	2	136	岡枝、楢崎
			計	2	136	
豊田町学校給食共同調理場 （豊田町大字矢田 320－１） （TEL 083-766-0076）	鉄骨 平屋建 延 486.51 ㎡ （昭 38.4） （平 4.3.24 改築）	民間 （平 24.4～）	小	2	105	西市、豊田下
			中	1	59	豊田
			計	3	164	
豊浦町学校給食共同調理場 （豊浦町大字川棚 3630－１） （TEL 083-774-3390）	鉄骨 平屋建 延 620 ㎡ （平 5.4.1）	民間 （平 20.4～）	小	2	313	川棚、小串
			中	2	294	豊洋、夢が丘
			計	4	607	
黒井学校給食共同調理場 （豊浦町大字黒井 2200） （TEL 083-772-0290）	鉄骨 平屋建 延 176 ㎡ （昭 55.9） （平 9.1.1 開設）	民間 （平 23.4～）	小	2	163	誠意、室津
			計	2	163	
滝部学校給食共同調理場 （豊北町大字滝部 1244－36） （TEL 083-782-0066）	鉄筋 コンクリート 平屋建 延 413.25 ㎡ （平 18.4.1）	民間 （平 18.4～）	小	1	137	豊北
			中	1	79	豊北
			計	2	216	
新下関学校給食センター （一の宮住吉三丁目２－１） （TEL 083-242-4190）	鉄骨 二階建 延 6,093.63 ㎡ （令 6.4.1）	民間 （令 6.4～）	小	17	4,890	文関、名陵、関西 桜山、向山、生野 本村、西山、江浦 角倉、向井、長府 川中、川中西、垣田 勝山、山の田
			中	7	1,698	文洋、文洋関西分校 彦島、玄洋、勝山 長府、長成
			計	24	6,588	

１２　生徒指導

成長促進事業一覧

●下関市教育支援教室「かんせい」・「あきね」	
目的	学校に行かない、行きたくても行けない子供たちのために、相談を受けたり、小集団での指導を行ったりしながら、一人ひとりの社会的自立をめざす。
内容	体験学習やスポーツ活動等をとおした「集団適応指導」と、小集団での指導をとおし基本的生活習慣の改善と精神的・社会的自立をめざした「生活指導」、又は、一人ひとりの学力に応じた学習を進める「学習指導」を指導の柱としている。専門指導員による個別面談やグループ面談をとおして、集団生活に参加する意欲を高める。
●「教育相談室」相談員及び「かんせい」・「あきね」専門指導員の訪問支援	
目的	引きこもりの傾向にある児童生徒の社会的自立に向けた不登校の課題に対応するため、下関市教育支援教室「かんせい」・「あきね」と関係学校とが連携を図りながら、不登校児童生徒の個別の訪問支援を行う。
内容	不登校で家庭に引きこもりがちな状態にある児童生徒を対象とし、「教育相談室」相談員及び「かんせい」・「あきね」専門指導員が学校及び家庭訪問による教育相談等を行う。
●カウンセリングアドバイザー（ＣＡ）派遣事業	
目的	不登校、いじめ、問題行動、災害・犯罪被害及び学校事件・事故等（以下「学校事件・事故等」という。）の重大事案が発生した際、公認心理師等をカウンセリングアドバイザーとして下関市立幼稚園、小・中学校及び下関商業高等学校に緊急に派遣し、幼児、児童、生徒及び保護者並びに教職員等に必要な心のケア及び指導助言等を行う。
対象	校長からの要請に基づき、学校事件・事故等により指導助言等が必要な幼児、児童、生徒及び保護者並びに教職員等を対象として、カウンセリングアドバイザーを派遣する。
●下関市スクールソーシャルワーカー（ＳＳＷ）活用事業	
目的	いじめ、暴力行為、児童虐待や不登校等の生徒指導上の課題の内、学校だけでは解決が困難な事案に対し、社会福祉士・精神保健福祉士等の専門家をスクールソーシャルワーカー等として学校等に派遣し、専門的な知識・技能を用いて、幼児・児童・生徒の置かれた様々な環境に働きかけて支援を行うことにより、生徒指導上の課題等の未然防止、早期対応を図る。
内容	学校・園からの支援要請に基づき、スクールソーシャルワーカー等を派遣し、幼児・児童・生徒の置かれた生活環境に働きかけ、又は児童相談所、福祉事務所その他の関係機関と連携して、幼児・児童・生徒、保護者、教職員その他の関係者に対する支援を行う。
●ガイダンスアドバイザー（ＧＡ）活用事業	
目的	生徒指導上の諸課題や増加している不登校児童生徒に対して、社会復帰・学校復帰・学級復帰を目標に、自立する力を身につけさせる。
内容	生徒指導上の諸課題や不登校児童生徒等に対する個別支援の援助や、中学校区での小中連携の推進等、学校の不登校対応の支援を行う。
●スクールカウンセラー（ＳＣ）活用事業（山口県教育委員会実施事業）	
目的	教員とスクールカウンセラーが互いの立場を理解しつつ、相互に協力、補完して児童生徒の健全な育成を図る。
配置校	下関市立全小・中学校
●スクールロイヤー（ＳＬ）活用事業	
目的	法律の専門家である弁護士が、学校現場で発生する様々な困難な問題に対して、トラブルが発生しそうな初期段階（裁判になる前）から、学校の相談相手として、法的側面から、教育・福祉・子どもの権利等の視点を取り入れ継続的に助言することで、トラブルの未然防止や解決、教員の業務及び精神的な負担の軽減を図る等、学校における相談体制を整備する。
内容	問題発生時に、学校からの依頼に基づき、市教委が委託した弁護士に、電話相談又は、弁護士事務所で相談する。

●つなぐ・つながる「学びば！」整備事業	
目的	不登校児童生徒の社会的自立に向け、不登校児童生徒の多種多様な背景・要因に寄り添った支援を行うために「学び場（居場所）」の充実を図る。
内容	市内小中学校への「こころのアシスタント」の配置、市内小中学校の「校内教育支援教室」の運営支援及び「学びの多様化学校」の運営支援・環境整備を行う。

１３　教育相談

(1) 相談体制

●下関市教育委員会『教育相談室』	
目的	不登校、いじめ、非行問題等で悩む児童生徒や保護者への相談活動をとおして、児童生徒の主体的な自立を支援するとともに、学校や関係機関との連携を図りながら児童生徒を取り巻く心理的環境の改善を図る。
時間	月～金　午前９時～午後４時 30 分
場所・電話	下関市幡生新町１番１号（下関市教育委員会内）083-231-6995（直通）
●いじめ相談専用電話『いじめテレホン相談』	
目的	いじめ問題に関わる悩みの相談を受け、早期解決を図る。
時間	月～金　午前９時～午後４時 30 分
場所・電話	下関市教育委員会「教育相談室」内　083-223-7830（な・や・み・ゼロ）
●「ふれあい相談室」「ふれあい子育てサロン『あ・き・ね』」	
目的	不登校児童生徒をもつ保護者の相談を受け、児童生徒の主体的な自立の支援を図る。
時間	「ふれあい相談室」：月～金 10:00～15:30【窓口：「あきね」、「かんせい」】 「ふれあい子育てサロン『あ・き・ね』」【窓口：教育相談室】 ・スマイル相談：金（第３を除く）13:30～16:30 ・親 カ フ ェ ：金（第３のみ）　14:00～16:00
場所・電話	下関市教育支援教室　内　083-227-2551（あきね）・083-231-3021（かんせい）

(2) 令和７年度教育相談受理状況

（単位：件）

	区　分		小学生	中学生	高校生	その他	合計
教育相談件数	来所相談		30	87	1	7	125
	電話相談		54	39	1	20	114
	訪問相談		0	0	0	0	0
	巡回相談		1	34	0	0	35
	合計		**85** **(-2)**	**160** **(+98)**	**2** **(-8)**	**27** **(+22)**	**274** **(+110)**
	内数	①いじめに関する相談	11	1	1	9	22
		②不登校に関する相談	46	121	0	1	168
		③いじめを除く友人関係に関する相談	3	8	0	0	11
		④教職員との関係をめぐる相談	14	14	0	0	28
		⑤学業・進路に関する相談	4	4	1	0	9
		⑥家庭に関する相談	4	4	0	0	8
		⑦上記以外	3	8	0	17	28

※（　　）は前年度比

※令和７年度から、ふれあい相談室（教育支援教室「かんせい」「あきね」）の相談件数も含めている。

Ⅱ　生涯学習関連資料

１　社会教育委員

委員定数　20 名

任　　期　2 年

職　　務　社会教育に関し教育委員会に助言するため、次の職務を行う。（社会教育法第 17 条）

(1)社会教育に関する諸計画を立案すること。

(2)定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して、意見を述べること。

(3)前 2 号の職務を行うために必要な研究調査を行うこと。

社会教育委員名簿（任期　令和 7 年 6 月 1 日～令和 9 年 5 月 31 日）　（令和 8 年 6 月 1 日現在）

役職名	氏　　名	団体名等
委員長	朝　原　嘉　彦	山口県教育会下関支部　支部長
副委員長	小　田　耕　一	学識経験者（元 下関市教育委員）
委員	伊　藤　直　弥	下関市ＰＴＡ連合会　会長
〃	久　永　春　美	下関市連合婦人会　会長
〃	松　永　英　治	一般財団法人下関 21 世紀協会　副理事長
〃	安　藤　牧　恵	下関市子ども会連合会　副会長
〃	矢ケ部　哲　也	下関市小学校長会（豊東小学校長）
〃	市　川　正　宏	下関市中学校長会（夢が丘中学校長）
〃	岩　本　篤　志	菊川町青少年育成町民会議　会長
〃	古　村　栄　子	菊川地区民生児童委員協議会　民生児童委員
〃	山　下　真奈美	菊川放課後子ども教室
〃	水　野　捷　子	豊田町文化協会　副会長
〃	柴　田　俊　彦	楢原ゆうあい会事務局長 西市小放課後子ども教室コーディネーター
〃	相　原　英　嗣	豊田町青少年健全育成町民連絡協議会　会長 豊田地区子ども会連合会　会長
〃	伊　藤　忠　晴	豊浦地区まちづくり協議会　少子化対策部会　部会長
〃	村　岡　亜由子	下関市立夢が丘中学校　地域学校協働活動推進員
〃	中　野　千枝美	川棚地区社会福祉協議会　理事
〃	田　中　義　道	社会福祉法人　三明会　理事長
〃	秋　枝　一　成	学識経験者（元　中学校長）
〃	板　垣　宏　徳	豊北地区社会福祉協議会連合会　事務局長

２　図書館

(1) 中央図書館

沿　　革：昭和 15 年 7 月名池小学校校庭に創設された下関市立下関図書館を源とする。昭和 44 年 10 月明治維新 100 年記念事業として上田中町に新築移転。平成 21 年 11 月下関市立中央図書館開館準備のため閉館。

現施設は社会教育複合施設として建設され、平成 22 年 3 月に開館した。

位　　置：下関市細江町三丁目 1 番 1 号
創　　設：昭和 15 年 7 月（移転新築　平成 22 年 3 月）
施設概要：下関市生涯学習プラザ 4, 5 階、一部 1, 6 階（延面積 5, 039. 79 ㎡）
蔵 書 数：中央図書館　図書 約 430, 000 冊、視聴覚 約 3, 800 点　移動図書館 図書　約 14, 000 冊
　　しものせき電子図書館　タイトル数　約 3, 300 タイトル
休 館 日：月曜日（休日を除く）、館内整理日、12 月 29 日～1 月 3 日
利用時間：午前 9 時～午後 7 時



4 階 児童図書コーナー



5 階 一般図書コーナー

(2) 彦島図書館

沿　　革：昭和 27 年に彦島公民館が開設されると、ここに下関図書館彦島分館が併設され、彦島公民館が江の浦町一丁目に改築されると、同所 2 階に移設された。現施設は、平成 2 年 3 月に新築移転されたもので、同年 7 月から下関市立彦島図書館として開館した。
位　　置：下関市彦島江の浦町一丁目 4 番 28 号
創　　設：昭和 27 年（新築移転　平成 2 年 3 月）
構 造 等：鉄筋コンクリート一部鉄骨 2 階建　延面積 1, 001. 77 ㎡
蔵 書 数：図書　約 75, 000 冊
休 館 日：月曜日（休日を除く）、館内整理日、12 月 29 日～1 月 3 日
利用時間：午前 9 時 30 分～午後 6 時 30 分



(3) 長府図書館

沿　　革：明治 42 年 8 月に豊浦郡教育会によって豊浦郡教育会附設豊浦図書館として創設され、大正 13 年に長府町へ移管された。昭和 12 年に豊浦郡長府町が下関市と合併すると、下関市立長府図書館として運営され、昭和 42 年 9 月に明治 100 年記念事業の一環として改築された。
位　　置：下関市長府宮の内町 1 番 30 号
創　　設：明治 42 年 8 月（改築　昭和 42 年 9 月）
構 造 等：本館　鉄筋コンクリート 2 階建　延面積 882. 7 ㎡
蔵 書 数：図書　約 115, 000 冊
休 館 日：月曜日（休日を除く）、館内整理日、12 月 29 日～1 月 3 日
利用時間：午前 9 時 30 分～午後 6 時 30 分



(4) はまゆう図書館

沿　　革：令和 7 年 1 月に下関市安岡地区複合施設（やすらガーデン）内に開館した。令和 4 年 3 月に閉園した下関市園芸センターの蔵書を引継ぎ、植物学・園芸に関する資料の収集に努めている。
位　　置：下関市富任町五丁目 10 番 1 号
創　　設：令和 7 年 1 月

施設概要：下関市安岡地区複合施設 1 階（延面積　797.31 ㎡）
蔵 書 数：図書　約 38,000 冊
休 館 日：月曜日（休日を除く）、館内整理日、12 月 29 日～1 月 3 日
利用時間：午前 9 時 30 分～午後 6 時 30 分



(5) 菊川図書館

沿　　革：菊川図書館の前身である県立山口図書館豊浦分館は、昭和 26 年 12 月に岡枝公民館内に開館した。昭和 32 年 4 月に分館が閉館し、菊川町に移管され、菊川町立菊川図書館が誕生した。その後、昭和 48 年 4 月に現在の場所に移転改築した。
位　　置：下関市菊川町大字下岡枝 193 番地 8
創　　設：昭和 32 年 4 月（移転改築　昭和 48 年 4 月）
構 造 等：鉄筋コンクリート建　延面積 527.93 ㎡
蔵 書 数：図書　約 34,000 冊
休 館 日：月曜日（休日を除く）、館内整理日、12 月 29 日～1 月 3 日
利用時間：午前 9 時 30 分～午後 6 時 30 分



(6) 豊田図書館

沿　　革：平成 7 年 7 月に豊田町文化教育センターとして、現在地に創設された。平成 17 年 2 月の下関市豊浦郡 4 町の合併により、下関市立豊田図書館に改称。館内には、文化財資料室が併設されており、文書をはじめとする貴重な豊田の文化財を展示している。平成 27 年 4 月より、2 階部分が西市公民館となり複合施設となった。
位　　置：下関市豊田町大字矢田 153 番地 1
創　　設：平成 7 年 7 月
施設概要：鉄筋コンクリート 2 階建のうち 1 階部分（延面積 980.415 ㎡）
蔵 書 数：図書 約 50,000 冊、視聴覚 約 2,300 点
休 館 日：月曜日（休日を除く）、館内整理日、12 月 29 日～1 月 3 日
利用時間：午前 9 時 30 分～午後 6 時 30 分



(7) 豊浦図書館

沿　　革：昭和 52 年 12 月、川棚地区に公民館が開館し、館内に 60 ㎡の図書室が設置されたのを源とする。平成 2 年 4 月、公民館内図書室より図書館としての機能が独立する。平成 12 年 10 月、豊浦町商工会の事務所移転に伴い、旧商工会事務所に移転する。その後、豊浦総合支所の改築に合わせ、総合支所 2 階の旧議場を中心に図書館へ改装され、平成 26 年 12 月に移転開館した。
位　　置：下関市豊浦町大字川棚 6895 番地 1
創　　設：平成 2 年 4 月（移設　平成 26 年 12 月）
施設概要：豊浦総合支所 2 階　（延面積 471.06 ㎡）
蔵 書 数：図書　約 49,000 冊、視聴覚　約 800 点
休 館 日：月曜日（休日を除く）、館内整理日、12 月 29 日～1 月 3 日
利用時間：午前 9 時 30 分～午後 6 時 30 分



(8) 豊北図書館

沿　　革：昭和 58 年に豊北町神田特牛に新設された豊北町町民センター（現在の豊北生涯学習センター）に図書室が設置され、平成 18 年 4 月、滝部地区に開校した豊北中学校内に学校図書館の一般開放として「豊北図書室」が開設された。令和 4 年 7 月、図書室を図書館法に基づく「豊北図書館」として整備した。



位　　置：下関市豊北町大字滝部 1244 番地 36（豊北中学校内）
創　　設：昭和 58 年 4 月（移設　平成 18 年 4 月）
施設概要：豊北中学校 1 階（延面積　350.5 ㎡）
蔵 書 数：図書　約 24,000 冊
休 館 日：月曜日（休日を除く）、館内整理日、12 月 29 日～1 月 3 日
利用時間：午前 9 時 30 分～午後 6 時 30 分

3　公民館活動

(1) 公民館運営審議会

委員定数：1 公民館 20 人以内
委 員 数：男性　102 人　　女性　57 人　　合計　159 人　（令和 8 年 5 月 1 日現在）
任　　期：2 年（補欠委員は前任者の残任期間）
任　　務：館長の諮問に応じ、公民館における各種事業の企画実施について、調査審議する。
委嘱状況：令和 7 年 6 月 1 日～令和 9 年 5 月 31 日（本庁管内）
　　令和 7 年 8 月 1 日～令和 9 年 7 月 31 日（教育支所管内）

(2) 公民館設置状況

公 民 館 名 （所 在 地）	構造・延面積 （建設年月）	公 民 館 名 （所 在 地）	構造・延面積 （建設年月）
北部公民館 TEL083-253-3371 （山の田東町 4-13）	鉄筋・2,096.21 ㎡ 4 階建 （昭 49.6 / 増　平 4.3）	楢崎公民館 TELなし （菊川町大字楢崎 790-1）	S造・227.84 ㎡ 平屋建 （平 2.4）
西部公民館 TEL083-231-6587 （伊崎町一丁目 4-30）	鉄筋・1,747.00 ㎡ 4 階建 （昭 54.4 / 増　平 3.3）	殿居公民館 TEL083-768-0556 （豊田町大字殿居 1039-2）	鉄筋・196.30 ㎡ 2 階建の 2 階部分 （昭 58.2）
玄洋公民館 TEL083-266-5455 （彦島西山町四丁目 1-28）	鉄筋・1,886.49 ㎡ 3階建の1階部分 （昭 58.6）	豊田中公民館 TEL083-766-2361 （豊田町大字八道 2544-1）	鉄筋・347.89 ㎡ 平屋建 （平 3.3）
長府東公民館 TEL083-246-1266 （長府松小田本町 4-15）	鉄筋・2,104.44 ㎡ 3 階建 （平 9.3）	三豊公民館 TEL083-766-3551 （豊田町大字地吉 119-3）	鉄筋・235.08 ㎡ 平屋建 （平 6.1）
吉母公民館 TEL083-286-6226 （大字吉母 401-24）	鉄筋・481.56 ㎡ 2 階建 （昭 53.4）	西市公民館 TEL083-766-3511 （豊田町大字矢田 153-1）	鉄筋・373.50 ㎡ 2 階建の 2 階部分 （平 6.10）
川中公民館 TEL083-255-3501 （伊倉町二丁目 1-1）	鉄筋・2,903.22 ㎡ 4 階建 （平 4.6）	豊田下公民館 TEL083-766-2556 （豊田町大字手洗 285-1）	鉄筋・281.92 ㎡ 平屋建 （昭 59.3）
川中公民館分館 TEL　なし （綾羅木本町三丁目 1-20）	鉄筋・1,014.89 ㎡ 2 階建 （昭 40.7）	小串公民館 TEL083-772-2001 （豊浦町大字小串 2207-1）	鉄筋・986.67 ㎡ 2 階建 （平 6.3）
彦島公民館 TEL083-267-1344 （彦島江の浦町一丁目 3-1）	鉄骨鉄筋・3,690.04 ㎡ 6階建 （平 21.5）	川棚公民館 TEL083-772-2120 （豊浦町大字川棚 6167-2）	鉄筋・1,873.22 ㎡ 2 階建 （昭 52.12 / 増　平 12.1）
長府公民館 TEL083-246-3413	鉄筋・2,043.88 ㎡ 4 階建	黒井公民館 TEL083-775-4182	鉄筋・1,114.58 ㎡ 2 階建

公民館名 （所在地）	構造・延面積 （建設年月）	公民館名 （所在地）	構造・延面積 （建設年月）
（長府土居の内町 1-6）	（昭 38.12）	（豊浦町大字黒井 2351）	（昭 58.3）
王司公民館 TEL083-248-3176 （王司神田一丁目 9-1）	鉄筋・2,018.81 ㎡ 3 階建 （昭 45.4 / 増　平 3.2）	室津公民館 TEL083-772-0055 （豊浦町大字室津下 681-3）	鉄筋鉄骨・448.74 ㎡ 平屋建 （昭 63.3）
清末公民館 TEL083-282-1056 （清末陣屋 5-20）	鉄筋・1,144.63 ㎡ 3 階建 （昭 47.5）	神玉公民館 TEL083-788-1043 （豊北町大字神田上 2709）	鉄筋・408.00 ㎡ 2 階建 （昭 60.3）
小月公民館 TEL083-282-0661 （小月本町一丁目 7-7）	鉄筋・2,166.39 ㎡ 3 階建 （平 12.4）	角島公民館 TEL083-786-0734 （豊北町大字角島 1413-1）	鉄筋・526.00 ㎡ 2 階建 （昭 63.3）
王喜公民館 TEL083-282-0219 （王喜本町二丁目 15-10）	鉄筋・1,190.04 ㎡ 3 階建 （昭 48.4）	阿川公民館 TEL083-786-1010 （豊北町大字阿川 3752）	鉄筋等・452.00 ㎡ 平屋建 （平 2.3）
吉田公民館 TEL083-284-0205 （大字吉田地方 2499）	鉄筋・1,121.20 ㎡ 3 階建 （昭 51.10）	粟野公民館 TEL083-785-0001 （豊北町大字粟野 3333-2）	鉄筋・435.00 ㎡ 平屋建 （平元.2）
内日公民館 TEL083-289-2036 （大字内日下 1146-5）	鉄筋・1,091.28 ㎡ 3 階建 （昭 47.3）	滝部公民館 TEL083-782-1296 （豊北町大字滝部 3397-12）	木造・549.00 ㎡ 2 階建 （平 12.8）
勝山公民館 TEL083-256-2779 （秋根南町二丁目 4-33）	鉄筋・3,692.60 ㎡ 4 階建 （平 26.2）	田耕公民館 TEL083-783-0722 （豊北町大字田耕 4332）	木造・62.00 ㎡ 平屋建 （平 10.2）
吉見公民館 TEL083-286-2121 （大字吉見下 1533）	鉄筋・1,675.88 ㎡ 3 階建 （昭 52.4）		

(3) 公民館利用状況（令和 7 年度）

（単位：件、人）

公民館名	公用 （生涯・公民館・官公庁等）		公益 （教育・社会福祉等）		登録団体・自主学習グループ （公用・公益以外の減免団体等）		一般 （有料団体など）		総数	
	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数
1　北部公民館	60	1,189	456	7,020	1,678	16,004	975	7,649	3,169	31,862
2　西部公民館	50	1,850	464	5,327	1,279	15,816	782	4,759	2,575	27,752
3　玄洋公民館	13	441	209	1,483	658	5,936	106	1,388	986	9,248
4　長府東公民館	62	1,630	260	4,843	1,437	15,212	696	5,982	2,455	27,667
5　吉母公民館	14	139	21	304	0	0	0	0	35	443
6　川中公民館	309	7,383	925	14,690	2,453	30,551	943	12,151	4,630	64,775
7　川中公民館分館	0	0	7	418	272	3,982	6	106	285	4,506
8　彦島公民館	154	2,385	401	6,572	1,651	22,595	377	5,012	2,583	36,564
9　長府公民館	102	1,385	324	5,344	1,088	13,403	578	5,551	2,092	25,683
10　王司公民館	40	622	259	4,443	604	4,168	231	3,513	1,134	12,746
11　清末公民館	32	490	184	2,776	562	5,280	164	1,861	942	10,407
12　小月公民館	54	786	286	4,524	764	11,650	462	3,712	1,566	20,672
13　王喜公民館	36	603	111	2,343	422	4,130	33	275	602	7,351
14　吉田公民館	49	531	134	2,045	75	802	49	535	307	3,913
15　内日公民館	48	583	199	2,623	89	903	104	884	440	4,993

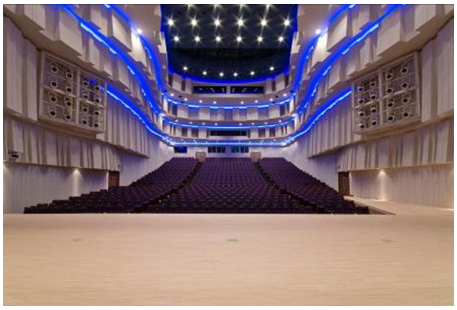
公民館名	公用（生涯・公民館・官公庁等）		公益（教育・社会福祉等）		登録団体・自主学習グループ（公用・公益以外の減免団体等）		一般（有料団体など）		総数	
	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	利用者数
16　勝山公民館	210	4,606	425	7,792	2,160	27,649	1,207	14,953	4,002	55,000
17　吉見公民館	31	543	105	2,097	650	7,689	71	851	857	11,180
18　楢崎公民館	4	23	15	258	0	0	0	0	19	281
19　殿居公民館	19	163	14	100	28	202	11	113	72	578
20　豊田中公民館	22	280	32	372	143	698	7	55	204	1,405
21　三豊公民館	18	234	9	114	12	68	3	43	42	459
22　西市公民館	13	207	30	307	0	0	0	0	43	514
23　豊田下公民館	43	467	27	449	107	682	47	664	224	2,262
24　小串公民館	31	452	142	2,515	291	3,238	155	1,290	619	7,495
25　川棚公民館	50	1,135	367	5,590	1,291	11,604	469	2,868	2,177	21,197
26　黒井公民館	40	860	277	3,275	648	5,555	722	5,098	1,687	14,788
27　室津公民館	21	482	112	1,120	180	1,204	19	200	332	3,006
28　神玉公民館	23	228	38	520	71	414	33	228	165	1,390
29　阿川公民館	17	197	100	1,396	86	466	96	904	299	2,963
30　粟野公民館	17	117	39	393	0	0	24	277	80	787
31　田耕公民館	10	112	65	1,759	129	1,911	45	543	249	4,325
32　角島公民館	13	107	133	1,162	0	0	1	24	147	1,293
33　滝部公民館	18	237	117	1,762	556	5,449	316	2,292	1,007	9,740
合　計	1,623	30,467	6,287	95,736	19,384	217,261	8,732	83,781	36,026	427,245

4　下関市生涯学習プラザ

沿　　革：中央公民館、婦人会館、文化会館の跡地に市民の生涯学習拠点施設として平成22年3月に開館した、図書館と生涯学習施設の機能を備えた社会教育複合施設。
音響性能に優れ、コンサート・演劇・舞踊など幅広いジャンルに対応可能な大ホール・小ホール、式典・講演会などに適した多目的ホールのほか、料理教室、工作・工芸室、視聴覚室、音楽室、和室、茶室、会議室など目的性の高い諸室を備えている。（4階、5階は中央図書館）



位　　置：下関市細江町三丁目1番1号
建設年月：平成22年2月
構　　造：地下1階、地上6階
ＳＲＣ造(一部ＲＣ造/一部Ｓ造)
敷地面積：4,852㎡
建築面積：4,251㎡
延床面積：18,408㎡
駐車台数：80台/身障5台含む



大ホール（海のホール）

利用状況（令和７年度）　　（単位：件、人）

室名	大ホール（海のホール）	小ホール（風のホール）	多目的ホール（宙のホール）	料理教室	工作工芸室	和室１	和室２	茶室
件　数	176	209	383	120	25	121	120	60
人　数	48,306	17,020	18,302	2,443	381	846	1,211	267

学習室１	学習室２	学習室３	学習室４	学習室５	レク室１	レク室２	視聴覚室１	視聴覚室２
191	155	147	233	165	539	560	149	192
7,805	5,648	2,622	1,284	1,909	4,384	2,952	1,761	2,645

会議室１	会議室２	大練習室	小練習室	音楽室１	音楽室２	その他	合計
219	137	348	539	318	363	－	5,469
3,519	1,501	5,905	1,100	764	545	－	133,120

５　生涯学習センター

(1) 豊田生涯学習センター



沿　　革：生涯学習の拠点施設として、昭和 54 年に豊田町制施行 25 周年記念事業の一環として建設され、今日まで豊田地区の教育・文化・体育振興の中心的役割を果たしてきた。平成 13 年度に２階ホールに電動式移動観覧席を設置するなど、大規模な改造工事を行い、施設面での整備充実も図っている。

位　　置：下関市豊田町矢田 149 番地１

建 設 年 月：昭和 54 年８月

構　造　等：鉄筋コンクリート造３階建
　　延面積　2,510.65 ㎡

駐　車　場：129 台収容

利用状況（令和７年度）　　（単位：件、人）

室　名	講堂	ステージ	ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ室	第１研修室	第２研修室	第３研修室	視聴覚室	第１和室	第２和室	計
件　数	92	15	48	191	102	101	123	112	160	944
人　数	2,150	572	62	1,774	1,432	431	885	779	1,010	9,095

(2) 豊北生涯学習センター



沿　　革：社会教育活動の拠点として、昭和 58 年に豊北町町民センターとして設置し、平成 17 年２月 13 日、合併を期に下関市豊北生涯学習センターと名称を変え、地域の生涯学習に積極的に取り組んでいる。

位　　置：下関市豊北町大字神田 1199-1

建 設 年 月：昭和 58 年４月

構　造　等：鉄筋コンクリート造地上２階地下１階
　　延面積　3,292.70 ㎡

駐　車　場：200 台収容

利用状況（令和７年度）　（単位：件、人）

室名	大ホール	中会議室1	和室(Ⅰ)	和室(Ⅱ)	調理室	小会議室	展示スペース	作業室	大会議室	中会議室2	視聴覚室	計
件数	67	22	14	18	5	95	8	55	116	3	2	405
人数	3,162	282	161	108	46	521	3,575	446	2,044	21	11	10,377

６　菊川ふれあい会館

沿　　革：21 世紀に向けて「町づくりは人づくり」をテーマに生涯学習の一層の充実を図るとともに、幾世代にわたる交流と賑わいのある中核施設として、平成 10 年 9 月に開館した。

位　　置：下関市菊川町大字下岡枝 117 番地

建設年月：平成 10 年 7 月

構　　造：鉄筋コンクリート造２階建
　　屋根　鉄骨トラス

建築面積：3,380.89 ㎡

延床面積：4,093.81 ㎡

駐車台数：189 台収容



利用状況（令和７年度）　（単位：件、人）

室名	多目的ホール	舞　台	楽　屋　1	楽　屋　2	楽　屋　3	リハーサル室	ミュージックルーム	展示室
件　数	59	2	2	0	1	125	34	3
人　数	9,773	30	6	0	2	911	107	19

レクチャー１	レクチャー２	女性室	調理室	和室１	和室２	創作室	研修室	和室３
80	152	92	38	125	15	59	42	55
509	1,085	848	480	1,305	141	493	915	331

小ホール	中ホール	ロビー・ホワイエ	合計
13	95	0	992
173	4,820	0	21,948

７　その他社会教育施設

(1) 豊浦ふれあいセンター

沿　　革：地域の生涯学習を推進するため、昭和 63 年に建設した施設で、交流室、管理室等を一体的に設けた施設。

位　　置：下関市豊浦町大字宇賀 7925 番地 1

建 設 年 月：昭和 63 年 3 月

構　　造：鉄骨造平屋建

床　面　積：202.54 ㎡



利用状況（令和７年度）（単位：件、人）

件　数	36
人　数	301

(2) 宇賀ふれあいセンター



沿　　革：旧宇賀中学校舎等を利用し、地域の生涯学習を推進するため平成 18 年 4 月に使用を開始した社会教育施設で、屋内運動場、講座室を持つ施設。
位　　置：下関市豊浦町大字宇賀 4940 番地 1
建 設 年 月：昭和 55 年 3 月
構　　造：鉄筋コンクリート 3 階建（1 階は倉庫のため使用不可）
床　面　積：1,571 ㎡

利用状況（令和 7 年度）　（単位：件、人）

室名	体育館	市民教室					総数
		第 1 講座室	第 2 講座室	第 3 講座室	第 4 講座室	第 5 講座室	
件数	216	60	51	0	45	23	395
人数	1,989	806	187	0	535	202	3,719

(3) 小野ふれあいセンター



沿　　革：旧小野小学校跡地に地域の生涯学習を推進するため、平成 17 年度に新築した施設で、情報発信室、調理実習室、多目的コミュニティ室を設けている。西側には旧小学校体育館があり、屋内スポーツ競技もできる。
位　　置：下関市豊浦町大字川棚 1486 番地 1
建 設 年 月：平成 18 年 3 月
構　　造：木造スレート葺平屋建
床　面　積：281.55 ㎡（本館）

利用状況（令和 7 年度）　（単位：件、人）

室名	情報発信室	多目的コミュニティ室	和室	調理実習室	特産加工室	体育館	総数
件数	38	69	11	13	30	8	169
人数	254	1,056	132	121	198	453	2,214

8　成人教育・生涯学習

(1) 生涯学習まちづくり出前講座

令和 7 年度メニュー　　282 講座

出前講座実施状況（令和 7 年度）			（単位：回、人）	
部局・課		講座名	回数	受講者数
総合政策部				
企画課	101	スマートシティについて	1	12
国際課	501	韓国語講座	1	8
	503	中国語講座	1	28
	505	多文化共生講座	1	95

総務部				
資産経営課	104	公共施設はどうなるの？	1	23
防災危機管理課	105	災害に備えて	12	585
	106	災害図上ゲーム（ＤＩＧ）	6	130
	107	避難所運営体験	13	845
市民部				
生活安全課	110	幼児・小学生等の交通教室	4	84
	111	高齢者向け交通安全教室	2	44
生活安全課 （消費生活センター）	301	消費者トラブル対策講座	3	827
	303	悪質商法撃退講座	1	32
	304	インターネットトラブル対策講座	1	28
人権・男女共同参画課	306	人権学習講座	19	1,205
福祉部				
福祉政策課	603	生活困窮者自立支援制度について	1	10
介護保険課	606	介護保険制度について	2	27
こども未来部				
こども家庭支援課	608	ヤングケアラー～SOS の出し方、見つけ方～	4	68
保健部				
健康推進課	611	ふくふく健康講座～健口寿命を延ばそう！～	2	123
	612	ふくふく健康講座	1	20
	613	ふくふく健康講座（こども編）～生活リズムを整えよう～	5	452
	614	ぶちうま食育講座	3	80
	615	こころん体操	5	177
	618	働き盛り応援講座	1	48
	620	“ロコモティブシンドローム”ってな～に？	1	19
	622	プレコンセプションケアって知っていますか？	2	251
地域医療課	628	地域医療について	1	8
	629	子供の救急	3	37
動物愛護管理センター	634	いのちの教室	3	504
環境部				
環境政策課	201	環境教室（水質検査について）	1	5
	202	環境教室（大気汚染と地球温暖化について）	1	70
クリーン推進課	203	身近なごみダイエットとリサイクル（児童用）	7	284
	204	もっと詳しく！ごみダイエットとリサイクル（大人用）	3	49
農林水産振興部				
農業振興課有害鳥獣対策室	113	イノシシ、シカ、サル等に出会ってしまったら	4	317
観光スポーツ文化部				
観光政策課	112	下関の観光について楽しく学ぼう！	1	52
スポーツ振興課	635	セキレック教室	7	107
	636	ノルディック・ウォーキング教室	1	9
	637	運動あそび	9	356

スポーツ振興課	639	ウォーキングサッカー教室	6	181
都市整備部				
都市計画課	115	下関市の都市計画	1	61
	117	景観について考えよう！	1	53
港湾局				
振興課	401	よくわかる下関港～物流・クルーズ客船教室	1	47
消防局				
予防課	120	身近な危険物と消火方法	5	452
警防課	641	心肺蘇生法を学ぼう	4	164
上下水道局				
総務課	206	出張！水道教室	2	46
教育委員会				
市立美術館	513	所蔵品紹介④桂ゆき	1	33
	519	ワークショップ	18	651
市立図書館	520	下関市立図書館活用講座	2	39
	521	図書のオリジナル帯作り	2	29
	523	図書館員のおはなし会	2	57
生涯学習課	640	百聞は一体験に如かず　友達づくり１・２・３！	14	785
その他団体				
下関地方気象台	121	気象災害や地震災害にそなえて	2	62
下関市防災士連絡会	122	自分の命を守る防災教室	22	1,152
	123	災害図上訓練	2	81
日本赤十字社山口県支部	124	災害への備え	3	401
	125	災害エスノグラフィ	2	26
	126	非常炊出し体験	1	16
	127	ひなんじょたいけん	1	10
	128	家具安全対策ゲーム	2	47
	129	応急手当等	1	11
リサイクルプラザ しものせき環境みらい館	205	リサイクル体験講座	3	79
中国電力ネットワーク㈱ 山口ネットワークセンター	208	わくわくＥスクール	1	16
山口合同ガス㈱	209	天然ガスおもしろ実験	4	192
	210	アロマキャンドルを作ろう	5	261
法務局人権擁護員協議会	307	人権教室Ⅰ－A	3	81
	309	人権教室Ⅰ－C	3	301
	310	人権教室Ⅱ	2	214
	312	人権教室Ⅳ－A	3	248
中国財務局山口財務事務所	316	県内の景気動向について	2	102
	318	お金について考えよう	2	32
	320	身近で起こる金融トラブル	1	16

明治安田生命保険相互会社 山口支社	323	金融・保険事業～「人生 100 年時代」を生きる子供たちに伝えたいお金のこと、保険のこと～	1	21
	650	「睡眠」と「健康」の知恵袋講座	2	15
日本銀行下関支店	328	日本銀行下関支店の見学会	1	73
	329	にちぎん出前講座	2	121
山口県社会保険労務士会 下関支部	331	働くルールを知ろう！！	2	20
	332	「ビジネスと人権」って何？	1	54
しものせき水族館海響館	402	身のまわりの生き物「ヒトデは何の仲間？」	2	102
	403	水の中の生き物	5	170
	406	市の鳥「ペンギン」について知ろう！	1	150
国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産大学校	414	SDGs　目標 14　海の豊かさを守ろう	2	43
	415	下関水産物５大ブランドを知ろう！「ふく」その１	3	98
	418	下関水産物５大ブランドを知ろう！「いか」	1	7
	422	身近に存在する水産物製品	1	38
	423	映画で知ろうアメリカ文化・社会	1	12
	426	水難事故時の対処法を学ぼう	2	72
	429	チョコレートから世界を見る	4	104
	435	とっておきの空と海	1	42
	438	ポンポン船を動かそう！	1	83
	439	パタパタ船を動かそう！	3	106
	441	下関へ着いた海ゴミの道のり	2	26
	447	ボトルキャップがキーホルダーに！	13	320
	448	イカのヒミツ	3	58
	449	船で働く人のお仕事	1	24
	452	水の不思議	1	26
	454	浮力って何だ？	6	169
	455	魚介類に含まれる毒の話	1	39
	456	食中毒に気を付けよう！	2	285
	458	食べられた物の旅	1	94
	461	川の生き物と水辺環境	3	39
公立大学法人 下関市立大学	527	ワーク･モチベーション	1	28
	528	経営戦略入門	1	18
	532	都市景観の考え方	1	9
	533	多文化共生と教育	1	21
	534	下関とくじら	1	22
	534	家庭における性教育	2	104
	535	学校における性教育	10	1,328
長州科楽維新プロジェクト	524	おもしろ科学教室	28	1,221
下関市生涯学習プラザ	525	ドリームシップ舞台裏探検隊	1	10
下関舞踊協会	526	日本舞踊をおどろう！	2	100
日本貨物鉄道（株）関西支社広島支店	543	不思議発見！貨物列車の中身はなぁに？	2	129

下関市社会福祉協議会地域福祉課	644	安心して暮らすための地域づくり応援講座	1	51
下関市パラスポーツ サポートセンター	646	パラスポーツ出前･体験教室	5	275
サンデン交通㈱	648	使おう！公共交通「バスの乗り方教室」	2	88
（一社）下関市薬剤師会	653	薬剤師がお話しする「健康のためにできること」	2	24
	655	薬の正しい使い方	2	18
	656	健康食品、薬と食品	1	11
ＮＰＯ法人　山口県自閉症協会	659	発達障害ってなに？	2	27
下関市立市民病院	662	感染対策の基本	2	44
	663	今から防ごう！認知症予防	1	26
	666	100 歳まで歩こう	2	24
	667	転倒予防教室	1	20
	671	アイフレイル予防とプチビジョンケア	1	46
山口県済生会下関総合病院	673	あなたにもできるがん対策	1	44
	678	心臓病について	1	77
	679	赤ちゃんの入浴	1	8
	680	がん予防について知っていますか？	1	62
（独法）国立病院機構 関門医療センター	689	健康応援講座 1	1	26
	690	健康応援講座 2	6	295
	691	健康応援講座 3	1	57
	693	健康応援講座 5	1	12
（医法）松涛会安岡病院認定 栄養ケア・ステーションやすおか	698	健康長寿をめざした食事・栄養教室	1	19
	699	ジュニアスポーツ選手の食事・栄養教室	1	100
計			414	19,720

(2) 市民文化セミナー

・実施状況（令和 7 年度）

テ　ー　マ	講　　師	期　間（回数）	受講者数
観て 聴いて 下関の再発見	下関市教育委員会文化財保護課 課長補佐 中原　周一 ほか	8 月～11 月 全 4 回	104 人
歌の講座　Live ～歌に学び歌を楽しむ～	内園　明希　ほか 6 名	3 月 9 日	53 人

(3) 関門海峡・温故知新塾

・実施状況（令和 7 年度）

テ　ー　マ	講　　師	期　間（回数）	受講者数
未来へつなぐ　関門の宝物	下関市立大学経済学部 客員教授　砂原　雅夫 ほか	7 月～10 月 全 4 回	244 人

(4)市民学級

・実施状況(令和７年度)　　(単位：回、人)

公民館名	学　習　課　題	講　　師	回数	参加者数
彦　島	大正琴教室、健康体操、いつまでも若々しく！～老化を防いで体の中から健康に～、クラフトテープでお正月飾りづくり	琴瞳流琴鶴会講師 小西　千鶴　ほか	4	90
長　府	体操教室、認知症の理解と対応、レコードで聴くなつかしの歌声、おしゃれしめ縄飾り、おひとりさまおふたりさまの終活	健康運動指導士 嶋田　晴美　ほか	5	68
王　司	スマホ学校、虫除け「オニヤンマ」を作ろう、骨盤体操、漁協さんのお魚料理、ヘルシーお魚料理教室～魚を捌いてみよう～	東部中学校生徒　ほか	5	78
清　末	心と身体の健康体操(4)、みんなで楽しく歌いましょう（童謡・歌謡・昭和歌謡）、中学生が教える！スマホ教室、清末散策ウォーキング、干支飾りづくり	王司山田園支援員 伊藤　保幸　ほか	8	101
小　月	健康体操、スマホ教室、おしゃれしめ縄作り	健康運動指導士 嶋田　晴美　ほか	3	66
王　喜	大正琴の鑑賞会、防災教室、AED 取扱い講習会、骨盤体操、新年を迎える干支飾りづくり	琴鶴会代表 丸山　洋平　ほか	5	345
吉　田	オカリナ体験教室、介護保険制度教室、寝て・座ってできる！やさしく整える美筋ヨガ教室、高齢者の簡単おせち料理教室、寒さで固まった肩と背中をゆるめる美筋ヨガ教室	美筋ヨガインストラクター 浜口　ゆかり　ほか	5	59
内　日	健康体操、スマホ教室、里山ウォーキング、おやじ・おふくろの料理教室	健康運動指導士 白石　厚子　ほか	4	49
勝　山	ヤッホー！いきいき体操(2)、ウクレレ♪楽しく演奏しよう、足から健康へ（整体体操・足操術)、ピアノに合わせてみんなで唄いましょう、おひとりさまの困りごと・終活について	健康運動指導士 白石　厚子　ほか	6	298
川　中	身近な人が亡くなった後の手続きと生前の対策、さわやか健康体操、楽しい陶芸教室、タイルアート教室、自力整体教室、クラフトテープで作るティッシュケース、チョコレートケーキ作り	行政書士 西谷　佳記　ほか	7	150
吉　見	はつらつ健康体操教室、大正琴体験教室、来年の干支を使ってはがき絵を作ってみよう、フラワーアレンジメント教室	ｻﾝﾃｺｺｱﾌｨｯﾄﾈｽｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ 松中　良樹　ほか	4	42
吉　母	健康応援講座５若さを保つ健康戦略、「睡眠」と「健康」の知恵袋講座、干支飾り教室～干支飾りで幸運を呼び込もう～、いつもの材料でおもてなし、クラフトテープ教室～お正月飾りを作ろう～	関門医療ｾﾝﾀｰ 女子総合診療ｾﾝﾀｰ長　ほか	5	51
北　部	心もからだも楽々体操、元気まぁじゃん～入門編～、加齢負けるな！フレイル予防講座、クリスマスにみんなで楽しく歌いましょう	健康運動指導士 白石　厚子　ほか	4	95
西　部	みんなの料理教室、スマホ講座 (2)、童謡を歌おう、歴史講座「文洋校区」ふるさと研修、シニアファッションショー	大和食品株式会社代表取締役 本保　圭一郎　ほか	6	154
玄　洋	スマホ教室（ソフトバンク)、グラウンドゴルフ大会、健美体操～整体体操・足操術～	ｿﾌﾄﾊﾞﾝｸｽﾏﾎｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ 上田　ほか	3	51
長府東	オカリナ演奏、大正琴を弾いてみよう、みんなの健康サロン(4)、楽しく健康運動、しめなわ飾り	読み聞かせ「ぶっくっく」代表 國司　康子　ほか	8	131
殿　居	ふれあいクッキング、柴山流生け花教室、手作りパン教室、迎春生け花教室、そば打ち体験教室、交流しめ縄作り教室、ハンドメイド教室	中川　由理子　ほか	22	185
豊田中	パン教室、史跡発見ウォーク、歌声サロン、アロマ教室、新春フォーラム、つまみ細工初級講座、しめかざり教室	豊田中史跡発見ウォークの会 ほか	15	196
三　豊	健康教室、料理教室、高齢者学級、手芸教室、ものづくり教室	加藤　健太郎　ほか	14	129
西　市	手作り教室、歌声サロン、スマホ教室	浦上　敦子　ほか	2	27
豊田下	ふるさと歴史発見教室、チャレンジ教室、地域ふれあい講座	浦上　敦子　ほか	14	151
小　串	パン作り教室、エヒメアヤメの栽培と管理、健康出前講座「体軸体操」、陶芸教室「干支の小物づくり」、フラワーアレンジメント教室、絵手紙年賀状教室、しめ縄作り教室、花飾り作り、素敵なかご作り	末永久美子　ほか	9	137
川　棚	四海波花籠作り、いぎの葉もち作り、薬膳料理教室、スマホ教室、ソラフラワー作り、線香作り、ウクレレ体験教室、パステル画教室、藍染体験、寒もち作り教室（①②）、こんにゃく作り教室、介護保険制度について	岡田伸昭　ほか	13	187
黒　井	韓国手芸「ポシャギ」体験教室、キノコの教室（①②）、スマホ教室、お口の健康教室、しめ縄作り教室、男性料理教室、お雛様料理教室、レコードで聴く懐かしの昭和歌謡	李順姫　ほか	9	156
室　津	ごみの出し方、干支の絵を描こう、凧作り教室、しめ縄作り教室、レコードで聴く懐かしの昭和歌謡、つまみ細工教室	坂田　明秀　ほか	6	87
神　玉	スローヨガビクス教室、スマホ教室 (2) 、文学講座	藤原　まみ　ほか	3	37

公民館名	学　習　課　題	講　　師	回数	参加者数
角　島	モルック教室、パニーニ教室	広瀬　徹　ほか	2	43
阿　川	寄せ植え教室、太極拳教室、スマホ教室、キムチ作り教室	溝口　あや　ほか	4	43
粟　野	しめ縄作り教室、スローヨガビクス教室、転倒予防教室	浦上　敦子 ほか	3	40
滝　部	クラフト教室、クリスマスツリー作り教室、太極拳教室、 オンラインコンサート	浦上　敦子　ほか	3	47
田　耕	パソコン学習（4）	山下　広子	4	18
生涯学習課実施分				
FREE DAM ｵﾝﾗｲﾝｺﾝｻｰﾄ 2025 秋　美川憲一＆大江裕 きいて うたって 参加して！あの日をみんなで想い出そう!!		全国公民館連合会共催事業	1	13
はじめての Wi-Fi 入門		サンテレコム㈱	1	8
公民館のスマホ教室～インターネットをもっと便利に～		サンテレコム㈱	6	81
家族が困らないための終活講座（ｴﾝﾃﾞｨﾝｸﾞﾉｰﾄ・ﾃﾞｼﾞﾀﾙ終活）		行政書士 西谷　佳記　ほか	2	61
アジアンキッチン in げんよう		しものせき国際交流ねっと	1	33
合　計			216	3,507

社会教育関係施設	学　習　課　題	講　　師	回数	参加者数
菊　川ふれあい会　館	菊川音楽祭	塩出　千恵　ほか	1	170
豊　田生涯学習センター	ピラティス体験講座、スマホ教室、知っておきたい今どきの相続、子ども切り絵体験教室	門脇　久美子　ほか	4	37
宇　賀ふれあいセンター	スマホ教室（①②）、モルック体験教室、柚子胡椒作り、お口の健康教室、椿の育て方、	大島　忠道　ほか	6	81
豊　北生涯学習センター	押し花教室、スマホ教室、しめ飾りづくり、陶芸教室（４）、 健康体操教室、ノルディックウォーキング教室	田村　淳　ほか	9	129

(5)社会教育関係団体（令和 8 年度）

（単位：人、円）

団　体　名	代　表　者	団　体　の　目　的	会員数	補助金支出予定額
下関ユネスコ協会	亀　松　靖　弘	ユネスコ精神の普及徹底と国際理解・交流・支援を深めるための活動を行う。(生涯学習課に事務局)	35	－
下関市 ＰＴＡ連合会	伊　藤　直　弥	健全なＰＴＡ活動を推進するため単位団体相互の連絡・資料交換・研修等を行う。	(67 団体) 16,849	400,000
下関市連合婦人会	久　永　春　美	婦人の資質向上と、社会参加をめざし、自主的活動を行う。	(13 団体) 570	730,000
下関市子ども会 連合会	杉　山　靖　彦	各小学校区子ども会連合会相互の連絡調整を行う。子ども会の団体活動を通じて、青少年の健全育成に寄与する。	1,350	760,000
下関スカウト育成 協議会	前　田　晋太郎	スカウト加盟団体相互の連絡調整を図り、スカウト活動の健全なる育成発展に寄与する。	(3 団体) 63	285,000
下関海洋少年団	藤　原　義　嗣	海や船に関する知識や技術を学ぶ機会を提供し、心身ともに健康でたくましい青少年の育成をめざす。	21	－

９　家庭教育

(1) 令和７年度地域ふれあい活動（学校外活動）

（単位：回、人）

公民館名	主　な　学　習　内　容	回数	参加者数
彦　島	キッズダンス教室、タイルアート、パン作り教室、クリスマスケーキ作り教室	4	96
長　府	タイルアート教室、おもしろ科学教室、皮製サマーキーホルダーづくり、ダンス教室	4	60
王　司	おもしろ科学教室、サンドアート教室、パフェ作り、お子さまランチを作ろう、簡単工作教室	5	76
清　末	木工教室とピザづくり､スポーツリズムトレーニング体験会､モルックをやってみよう！､しめ縄づくりと餅つき､ふぐ凧を作ってみんなで飛ばそう！､みんなでお魚と海苔料理教室、親子で楽しく英語リトミック教室	7	126
小　月	習字(8)、アニマルフラワーポット、運動遊び、おもしろ科学教室、木工教室、かっちゃんと文字遊び	13	164
王　喜	リズムダンス＆ママのコンディショニング、モルック教室、ＳＤＧｓ廃材で作る!!木工教室	3	69
吉　田	灯籠づくり教室、絵手紙体験教室、セキレック教室、オカリナ体験教室、ワークショップコラージュ、おもしろ科学教室、ボトルキャップがキーホルダーに！	7	131
内　日	クラフトテープ教室、夏休みの工作、伝統工芸輪飾り作り、バレンタインケーキを作ろう	4	41
勝　山	奇術を楽しもう！、下関フィルハーモニック・ウインド・オーケストラの楽しいコンサート、楽しい読書とクリスマス会	3	172
川　中	料理教室(8)、フラワーアレンジメント教室(9)	17	193
吉　見	おもしろ科学教室、ワークショップ教室結晶化実験、山口県産のお花を使って『花あそび』をしよう、バレンタインのお菓子作り教室	4	57
吉　母	懐かしい曲を合唱しよう♪、フグちょうちんを作ろう、フライパンで手軽にパン作り、ミニ門松づくり	4	62
北　部	フィンランドのゲーム「モルック」で遊ぼう☆、竹楽器を作って手作り音楽会～インドネシア漁業実習生の皆さんと一緒に～､大人と子ども一緒に楽しいバラエティーマフィン作り、大人だって子供だってバレンタインチョコケーキ♡	4	93
西　部	防災教室～図上訓練～、ヒップホップダンス、クリスマスケーキ作り教室、ミニ門松づくり	4	171
玄　洋	親子陶芸教室、夏休み書道教室、さつまいも収穫体験	3	109
長府東	おもしろ科学教室、和紙でフグちょうちんを作ろう、アニマルフラワーポット、デコレーションケーキ作り教室	4	60
殿　居	おはなしの会、ワクワク造形遊び教室、夏休み学習教室（竹の工作・クッキング）	7	112
豊田中	夏の子ども教室、冬の子ども教室、お話の会	6	77
三　豊	子ども教室、おはなしの会	5	65
西　市	夏休み子ども講座、おはなしの会、冬の子ども教室	9	88
豊田下	地域ふれあい講座、小学生の文化教室、夏休み子ども教室	8	154
小　串	ホタル鑑賞会、ゲンジボタルのお話、モルック体験教室、可愛い多肉植物、親子でおやつづくり、凧作り教室	6	144
川　棚	親子木工教室、モルック体験会、昔ながらのいきなり団子作り、子ども点字体験教室、親子 de さかな料理教室、おひなさまのフラワーアレンジメント	6	124
黒　井	子供の感染症について、陶芸教室、こども料理教室、親子体操教室、親子で楽しく運動遊び、こどもみこしを作ろう、新春書き初め教室	7	144
室　津	パステル画教室、子供太鼓教室（①②③④⑤）、天体観測、魚釣り大会海の教室、室津里帰り落語会	9	266
神　玉	モルック教室、親子ふれあい活動	2	64
角　島	思い出フレーム教室、地域探究	2	61
阿　川	木工教室	1	11
田　耕	サマーアート教室、親子ふれあい教室	2	61

公民館名	主　な　学　習　内　容	回数	参加者数
生涯学習課実施分			
親子できこう！いのちのはなし～みんな、みんな、生きているんだ～		1	11
図書館員のおはなし会　すきな本と出会おう！		1	6
はじめてのプログラミング～車やロボットとおともだち！～		2	33
合　計		**163**	**3,101**

（単位：回、人）

社会教育関係施設	主　な　学　習　内　容	回数	参加者数
宇賀ふれあいセンター	木工教室、陶芸教室	2	31

(2)家庭教育学級【幼稚園・こども園】（令和7年度）

・実施状況　（単位：人、回）

実施園・校	参加者数	開設回数	主　な　学　習　内　容
小月幼稚園	①　32 ②　38	2	①親子リズム体操、親子ヨガ ②からだを使った体育遊び
清末幼稚園	①　46 ②　28	2	①親子リズム体操、親子ヨガ ②からだを使った体育遊び
川中幼稚園	①　20 ②　23	2	①感情処理法を活用したストレス解消法 ②からだを使った体育遊び
豊東幼稚園	①　22 ②　26	2	①からだを使った体育遊び ②親子リズム体操、親子ヨガ
中央こども園	①　55 ②　70	2	①子育てのイライラに振り回されないアンガーマネジメント ②すべては子ども達の笑顔のため～学校ってこんなところ～
豊浦こども園	①　71 ②　70	2	①いっしょに遊ぼう ②百聞は一体験に如かず　友達づくり！1、2、3！
垢田こども園	①　60	1	①本・子ども・大人～絵本は子育てに役立つの？～
王喜こども園	①　34 ②　30	2	①深坂の森の幼稚園 ②からだを使った体育遊び
菊川こども園	①　52 ②　83	2	①子育てのイライラに振り回されないアンガーマネジメント ②親子リズム体操、親子ヨガ
豊田下こども園	①　22	1	①子どもへの上手なかかわり方
西市こども園	①　25 ②　86	2	①からだを使った体育遊び ②百聞は一体験に如かず　友達づくり！1、2、3！
川棚こども園	①　65 ②　50	2	①朝ごはんを親子で作ろう（食育） ②ぶちうま食育講座
黒井こども園	①　22 ②　56	2	①親子リズム体操、親子ヨガ ②親子リズム体操、親子ヨガ
豊北こども園	①　23 ②　65	2	①百聞は一体験に如かず　友達づくり！1、2、3！ ②親子リズム体操、親子ヨガ
合計	1,174	26	

(3)家庭教育学級【小学校】（令和7年度）

「家庭教育学級【小学校】」は、平成28年度より実施している「保護者、地域の大人」を対象とし、「気づき、考え、学ぶ」ことを体験してもらうことで、家庭教育力の向上を目的とする。家庭をめぐる問題が困難化する中で、より効果的な家庭教育支援を実施するために、学校等を会場とし、就学時検診・参観日・学校保健委員会・PTA研修会など多くの保護者が集まる機会を活用し、家庭でのさまざまな課題の解決につながる講演会を実施した。

・実施状況　　（単位：人）

実施場所	内　　容	講　師	日　時	参加者数
市内 小・中学校 22 校	自らの体験をもとに、学習障がいなどの発達障がいへの正しい理解について講演を行い、偏見や差別などさまざま人権問題を考える機会となった。	映画コメンテーター 和田山企画 代表　大橋　広宣	4 月 11 日 6 月 27 日 9 月 18 日 11 月 13 日 12 月 2 日	998
	子どもを取り巻くゲーム、ネット、スマホ環境の現実やその危険性について学び、子どもたちにこれから気を付けるとよいこと、親としてしなければならないことを学ぶ講演会となった。	NPO 法人 子どもとメディア 古野　陽一	5 月 16 日 6 月 15 日 6 月 21 日 9 月 1 日	620
	元中学校教員として様々な子どもたちと接してきた経験をもとに、子どものよりよい未来のために、「できることを生かし伸ばす教育」の大切さについて考える機会となった。	下関短期大学付属高等学校 校長　朝原　嘉彦	7 月 11 日	70
	しつけや学習の土台となる「愛着」の形成により、子どもは安心して学校生活を送れるようになるという子育てに関する講演を行った。また、参加者同士でグループ協議を行った。	家庭教育支援チーム 「ふくふくこころサポート」	10 月 2 日 10 月 22 日 10 月 23 日 2 月 6 日	227
	「子どもたちに伝えたい！親として、大人として、地域として」熊丸氏を招き、 笑いあり涙ありの子育て講演会を行った。	子育てアドバイザー 幼児教育・家庭教育専門家 熊丸　みつ子	6 月 25 日 10 月 30 日 11 月 7 日 11 月 15 日 12 月 4 日 1 月 23 日 1 月 29 日 2 月 17 日	764

(4) 女性団体の育成

○下関市連合婦人会

会　　長　　久永　春美

会 員 数　　(13 団体)570 人（令和 8 年 5 月現在）

重 点 目 標　　・安心安全のまちづくり活動を推進し地域の絆を深めよう
・青少年健全育成を進め明るい社会につなげよう
・環境意識を高め防災・減災に取組み日常生活を見直そう
・生涯学習をすすめ健康ではつらつと生きよう
・ルールとマナーを守り交通事故のない社会をつくろう

１０　青少年教育

(1) 青少年健全育成事業

①青少年問題協議会

ア　委員数　15 名

（会長は委員の互選による。委員は関係行政機関の職員及び学識経験者のうち市長が委嘱又は任命）

イ　専門委員　必要に応じ任命する。

②青少年健全育成市民会議

○下関市青少年健全育成市民会議　　昭和 60 年 11 月 15 日発足

ア　委員等：82 名

（会長は市長、副会長 7 名、顧問 3 名、参与 4 名、企画・運営委員 15 名、広報担当 3 名、委員 49 名）

・総　　会　　開催日　令和 7 年 7 月 15 日（火）
　　会　場　下関市教育センター
　　参加者　81 名

・青少年健全育成推進大会　開催日　令和 7 年 11 月 17 日（月）
　　会　場　下関市教育センター
　　参加者　138 名

・習字募集　　最優秀　5 点　優秀　10 点　佳作　15 点

・功労者表彰　　個人　5 名

イ　各地区（校区）育成協議会の活動助成　２団体　講演会の講師謝礼の一部を助成する。
　令和 7 年度の助成は 0 団体。

○菊川町青少年育成町民会議（菊川教育支所管内）　平成 2 年 1 月 20 日発足

ア　役員：11 名（会長、副会長 2 名、常任委員 6 名、監事 2 名）、代議員：28 名

イ　主な事業

・常任委員会及び代議員会議　開催日　令和 7 年 7 月 10 日(木)
　　会　場　菊川ふれあい会館（アブニール）
　　参加者　30 名

・啓発用懸垂幕作成、ふれあいコンサート開催　他

○豊田町青少年健全育成町民連絡協議会（豊田教育支所管内）

　11 月　市青少年健全育成推進大会参加　1 名

○豊浦町青少年育成町民会議（豊浦教育支所管内）昭和 57 年 9 月 6 日発足

ア　役員 27 名（会長、副会長 4 名、理事 18 名、監事 2 名、事務局 2 名）

イ　地域活動の拡充と推進体制の整備

・総会並びに講演会　　開催日　令和 7 年 5 月 13 日（火）
　　参加者　28 名
　　演題　　「少年を取り巻く情勢と対策について」
　　（小串警察署　刑事・生活安全課）

ウ　青少年の社会活動参加への啓発促進

(1)「私の主張」発表大会　開催日　令和 8 年 2 月 7 日(土)
　　入賞者 20 名（応募総数 673 点）

(2) 青少年の自主性や社会性を育むスポーツ・団体活動への参加奨励及び支援
　町内各地区民会議への支援、放課後子供教室への支援

○豊北町青少年健全育成連絡協議会（豊北教育支所管内）　昭和 57 年発足
　協議会委員 22 名（会長、副会長 1 名、監事 2 名、委員 16 名、事務局 2 名）
ア　主な活動
(1)「少年非行防止と社会を明るくする運動」及び「青少年健全育成」啓発活動
(2) 薬物乱用防止ヤングキャンペーン

③成人の日記念行事

対 象 者：平成 17 年 4 月 2 日～平成 18 年 4 月 1 日生まれの人
ア　開 催 日　令和 8 年 1 月 11 日(日)　午後 2 時～
イ　会　　場　Ｊ：ＣＯＭアリーナ下関
ウ　対 象 者　2,141 名
エ　行事内容　(1)　式典　市長式辞、議長祝辞、はたちのメッセージ
　　(2)　実行委員会主催「はたちの抽選会」

④学校・家庭・地域の連携協力推進事業

ア　地域学校協働本部事業の実施
(1)本庁管内　17 中学校区
(2)菊川教育支所管内　1 中学校区
(3)豊田教育支所管内　1 中学校区
(4)豊浦教育支所管内　2 中学校区
(5)豊北教育支所管内　1 中学校区

イ　放課後子供教室の実施
(1)本庁管内　11 教室
(2)菊川教育支所管内　3 教室
(3)豊田教育支所管内　2 教室
(4)豊浦教育支所管内　2 教室
(5)豊北教育支所管内　1 教室

ウ　令和 7 年度子供指導者研修会
開催日　令和 7 年 11 月 4 日(火)
会　場　下関市教育センター
参加者　38 名
内　容　「こどもの発達と支援者のかかわりについて」

(2)青少年非行防止対策業務

①青少年補導センター

ア　所　　在　　地：下関市幡生新町 1 番 1 号　下関市教育委員会教育部生涯学習課内
イ　設　置　年　月　日：昭和 39 年 4 月 1 日
ウ　活動地域の青少年人口：12,667 人　(14 才～20 才未満)　令和 8 年 3 月 31 日現在
エ　活動地域の関係機関：家庭裁判所 1、警察署 3、児童相談所 1、小学校 41、中学校 24、
　　高等学校 14、中等教育学校 1、特別支援学校 4、短期大学・大学等 5
オ　職　　員　　配　　置：所長 1 名、青少年健全化推進員 2 名、青少年相談員 1 名

②青少年補導センター運営協議会

ア　委　　員：12 名（教育委員会委嘱、任期 2 年、会長は教育長）
イ　委員の構成：警察署生活安全課長(3 署)、児童相談所長、中学校長代表、
　　高等学校代表、ＰＴＡ連合会代表、保護司会代表、民生児童委員代表、婦人会代表、
　　防犯対策協議会代表、青少年補導委員代表　　計 12 名

ウ　任　　期：令和7年4月1日～令和9年3月31日
エ　会　　議：年1回開催

③青少年補導委員

ア　青少年補導委員状況(令和8年6月1日現在)　　(単位：人)

区　分	委員数	内　容
一　般	123	16育成協単位(17校区)
小学校	28	各校教員1名
中学校	17	〃
高等学校	12	〃
職　域	3	デパート、スーパーマーケット等各1名
合　計	183	

イ　任　　期：2年(現在の任期　令和7年6月1日～令和9年5月31日)
ウ　青少年補導委員幹事：各所属区分毎に1名　計20名
毎月1回幹事会を開催して情報の交換を行うほか、校区活動等に関し自主計画の策定、委員会間の連絡にあたる。

(3)青少年教育施設

下関市立青年の家

研修活動や団体宿泊を通じて、多様な活動や体験学習を行い、規律・友愛・協同の精神を養い健全な青少年の育成を図ることを目的とする社会教育施設。

位　　置：下関市椋野町一丁目17－1（一里山公園内）
TEL 083-223-0521
開　　所：昭和48年3月21日
宿泊定員：112人
施設・設備：本　館　鉄筋コンクリート3階建、延1,913.35㎡
1　階　事務室、ロビー、食堂談話室(120名)、保健室、浴室
2　階　第1研修室(112名)、第2研修室(40名)、第3研修室(24名)、音楽研修室(60名)、講師控室、展示ホール
3　階　宿泊室(112名)、講師室(6畳)、和室(20畳)
体育館　鉄骨平屋建772.79㎡
バレーコート2面、バスケットコート1面、バドミントンコート2面、卓球台3台
運動場　5,000㎡　200mトラック、ソフトボール、サッカー等

ア　生活目標　規律正しい生活をしよう。明るい交歓をしよう。積極的に実践しよう。
イ　研修内容　研修内容については、青年の家と協議して、各団体が自主的に計画立案する。
(1)　学　習　活　動…研修討議、視聴覚教材を利用した討議、茶道、華道
(2)　体育・レクリエーション…歌唱、ゲーム、フォークダンス、球技（バレー、バスケット、卓球、サッカー、ソフト、ドッヂボール）等
ウ　要請により青年の家が協力する事項
(1)講話（講師のあっせん）
(2)研修プログラム立案の相談
(3)団体活動の相談
(4)生活、体育、レクリエーション等指導

(5)研究討議の指導助言

エ　年度別利用状況

（単位：団体、人）

区分＼年度		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
宿泊	団体数	45	31	36	38	26
	利用者数	1,324	744	872	737	626
日帰り	団体数	356	333	224	182	176
	利用者数	3,730	4,091	3,976	3,111	2,851
合計(団体数)		401	364	260	220	202
合計(利用者数)		5,054	4,835	4,848	3,848	3,477

Ⅲ　学術文化関係資料

1　美術館

(1) 沿革



昭和 56 年 4 月美術館等開館準備室を教育委員会に設置
昭和 57 年 4 月美術館建設工事に着手
昭和 58 年 2 月美術館建設工事が完成
昭和 58 年 4 月美術館の設置等に関する条例を制定
昭和 58 年 11 月開館
昭和 63 年 10 月駐車場を増設
平成 5 年 10 月駐車場及び修景を整備
平成 22 年 3 月リニューアル工事、屋外エレベーター設置
平成 31 年 3 月屋上防水工事

(2) 位置

下関市長府黒門東町１－１（〒752-0986）
TEL 083-245-4131　FAX 083-245-6768

(3) 建築概要等

敷地面積　15,432.13 ㎡
建築面積　 2,261.31 ㎡
延床面積　4,876.52 ㎡（展示部門 906.01 ㎡、収蔵部門 1,059.38 ㎡、学術研究部門 454.90 ㎡、共用部門他 2,364.65 ㎡、屋外施設 91.58 ㎡）
構　　造　鉄筋コンクリート造 2 階建、塔屋 1 階、地下 1 階（一部光庭ドーム、鉄骨造）

(4) 開館時間等

開館時間　午前 9 時 30 分～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）
休 館 日　月曜日、年末年始(12 月 28 日～1 月 4 日)、その他展示替え・施設改修等のための臨時休館
観 覧 料
（所蔵品展）　一　　般　210 円（160 円）
　　大学生等　100 円（ 80 円）
　　( )内は 20 人以上の団体料金。
　　※18 歳以下の方、高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学の生徒は無料
　　※下関市と北九州市に在住の 65 歳以上の方は半額免除
　　※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳、戦傷病者手帳（障害の程度が項症）をお持ちの方は無料
　　※公的証明書の提示が必要（生徒手帳、運転免許証、マイナンバーカードなど）
（企画展）　観覧料は別に定める。
　　※18 歳以下の方、高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学の生徒は無料
　　※下関市に在住の 65 歳以上の方は半額免除
　　※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳、戦傷病者手帳（障害の程度が項症）お持ちの方は無料
　　※公的証明書の提示が必要（生徒手帳、運転免許証、マイナンバーカードなど）

施設使用料　　（単位：円）

区　　分	第4展示室	講　堂	光庭			造形室
			壁面・床面	壁面	床面	
午前9時30分～正午	2,460	1,840	2,000	1,000	1,000	750
午後1時～午後5時	5,070	3,710	3,200	1,600	1,600	1,200
午前9時30分～午後5時	7,550	5,690	5,200	2,600	2,600	1,950

注1 窯場　1回（8日以内）　4,500円（造形室で作成した作品の焼成を目的とした使用に限る）

(5) 入館者の状況

	開館日数(日)	入館者数(人)
令和5年度	245	45,528
令和6年度	259	27,700
令和7年度	167	35,716

(6) 収蔵品

収蔵品種別集計表
（令和8年4月現在）

種　別	点　数
日　本　画	437
洋　　画	428
水彩・素描	213
版　　画	774
彫　　塑	158
工　　芸	394
写　　真	61
書	3
資　　料	232
合　　計	2,700



高島北海
《佳興帖》より
1925年、紙本墨書画淡彩　画帖
令和7年度寄贈

(7) 企画展開催と観覧者の状況（令和7年度）

（単位：日、人）

名　　称	会　　期	観覧者数			
		開館日数	有料	無料	計
花の宮廷画家ルドゥーテ	5月31日～7月21日	45	7,100	2,413	9,513
古代エジプト・ふしぎ発見！ ナイルの贈り物と秘められた物語	9月9日～10月19日	38	9,139	4,233	13,372

２　歴史博物館

(1) 沿革



平成 28 年 11 月 18 日、旧下関市立長府博物館（旧館）の活動を継承発展するために開館した博物館。博物館活動の基本となる展示については、「海峡に育まれた下関の歴史と文化-海峡の歴史に未来が見える」をメインテーマとし、下関の古代から近代までの歴史について紹介している。また、市域の歴史についての調査研究、本市ゆかりの資料の収集などを積極的に行うとともに、本市の文化財観光の拠点として交流人口の拡大に取り組んでいる。

(2) 位置

下関市長府川端二丁目 2 番 27 号（〒752-0979）
TEL 083-241-1080　FAX 083-245-3310

(3) 構造等

敷地面積　10,155 ㎡（新館部 5,484 ㎡、旧館部 4,671 ㎡）
構　　造　新館　鉄筋コンクリート造平屋建瓦葺
　　旧館（旧長府博物館）　鉄筋コンクリート造平屋建瓦葺ほか
　　※旧館本館は昭和 8 年建築、戦前の博物館建築の典型として国登録有形文化財。
延床面積　2,105 ㎡（新館部 1,500 ㎡、旧館部 605 ㎡）

(4) 開館時間等

開館時間　午前 9 時 30 分～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分）
休 館 日　月曜日（休日の場合は翌日以降最初の休日でない日）、年末年始（12 月 28 日～1 月 4 日）
観 覧 料　常設展示　一般 210 円（160 円）、大学生等 100 円（80 円）、下関市在住 65 歳以上 100 円
　　北九州市在住 65 歳以上 100 円
　　企画展示　一般 210 円（160 円）、大学生等 100 円（80 円）、下関市在住 65 歳以上 100 円
　　※（ ）内は 20 名以上の団体料金
　　※18 歳以下、障害者の方及び高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学の生徒は無料。
　　※特別展示観覧料は別に定める。
駐 車 場　有料 26 台　身障者用 2 台（開場時間は、午前 9 時から午後 5 時 30 分まで）
駐車料金　最初の 2 時間は 1 時間ごとに 100 円、2 時間を超えた後は 30 分ごとに 100 円。
　　※減免あり。

(5) 観覧者の状況

	開館日数(日)	観覧者数(人)
令和 5 年度	307	20,810
令和 6 年度	304	22,258
令和 7 年度	306	23,994

(6)展示と観覧者の状況（令和７年度）

開館日数　306 日

観覧者数　23,994 人（有料 18,088 人、無料 5,906 人）

展示別観覧者数

名　称	会　期	開催日数	観覧者数(人)		
			有料	無料	計
常設展示	4 月 1 日～3 月 31 日	306 日	9,503	2,920	12,423
企画展示		197 日	5,385	1,731	7,116
神と仏の物語-長府寺社巡り-	4 月 1 日～4 月 13 日	12 日	335	80	415
西国一の大港を支えた商人たち	4 月 18 日～6 月 29 日	63 日	1,514	588	2,102
元清と輝元	7 月 4 日～9 月 15 日	64 日	1,451	642	2,093
薩長盟約と長府藩	1 月 23 日～3 月 31 日	58 日	2,085	421	2,506
特別展示		95 日	3,200	1,255	4,455
思い出の下関	9 月 19 日～11 月 16 日	51 日	2,589	769	3,358
手紙で辿る毛利家の喜怒哀楽	11 月 21 日～1 月 18 日	44 日	611	486	1,097

(7)教育・普及活動

①特別展・企画展関連講座　21 回（726 人）

(1) 江戸時代の赤間関における経済活動　2 回（83 人）

(2) 毛利元就の後継者教育　2 回（75 人）

(3) 毛利輝元と叔父たち　3 回（100 人）

(4) 市報にみる戦時中の下関　2 回（40 人）

(5) 絵はがき・古写真で振り返る昭和の下関　2 回（70 人）

(6) 初代清末藩主毛利元知の手紙を読む　2 回（59 人）

(7) 薩長提携の端緒-元治元年の長州藩-　4 回（146 人）

(8) 長府藩士と薩長盟約　4 回（153 人）

②歴史講座　10 回（276 人）

(1) 戦国大名と城-古文書・古記録を中心に-　2 回（71 人）

(2) 馬関でドカン！シリーズ⑤-奇兵隊と海峡の騒乱編-　3 回（85 人）

(3) 馬関でドカン！シリーズ⑥-京都政変と長州編-　3 回（77 人）

(4) 桜山招魂場について　2 回（43 人）

③イベント

夏休みイベント「歴史マップお助け講座」 6 回（79 人）

④展示解説　21 回（375 人）

⑤出前講座　20 回（1,601 人）

⑥研究紀要の作成

⑦協力連携事業、講師派遣

菊舎顕彰会、筑紫法人会、㈱地域情報新聞しものせき、下関海響マラソン実行委員会、東亜大学、住吉神社、関門ＤＭＯ、下関市中学校教育研究会社会科部会、下関市小学校教育研究会社会科部会、吉田小学校、広報戦略課、教育政策課など

⑧公式Ｘ(旧 Twitter)及び Facebook による情報発信

所蔵資料の紹介や特別展・企画展のみどころ、博物館の舞台裏の紹介等の情報発信を行った。

(8)分館　日清講和記念館

平成 28 年 4 月 1 日、文化財保護課から所管替えするとともに、歴史博物館の分館とし、「公の施設」に位置づけた。

沿　　革　明治 28 年春、下関市の春帆楼を会議場として開催された日清講和会議、及び下関条約と称される講和条約の歴史的意義を後世に伝えるため、昭和 12 年 6 月に開館。館内は会議に使用された調度品や筆記用具などにより、当時の会議場を再現、また、両国の全権を務めた伊藤博文や李鴻章の遺墨なども展示している。なお、建物は国登録有形文化財。



所 在 地　下関市阿弥陀寺町 4 番 3 号

構 造 等　鉄筋コンクリート造平屋建瓦葺（一部地下）

敷地面積　458 ㎡　延床面積　191 ㎡

開館時間　午前 9 時～午後 5 時（年中無休）

観 覧 料　無料

入館者の状況

	開館日数(日)	入館者数(人)
令和 5 年度	366	94,568
令和 6 年度	364	98,518
令和 7 年度	365	114,726

3　東行記念館

(1)沿革

平成 22 年 6 月 1 日に開設した下関市立東行記念館は、高杉晋作・奇兵隊を中心に、その活動した時代と周辺の歴史を基本テーマとし、資料の収集・調査研究及び展示活動を行っている。また、博物館活動を通じ、郷土の歴史に対する市民の知識及び理解を深め、市民の教育と文化の向上に資することを目的とする。なお、この記念館は、高杉晋作 100 年祭記念事業として、全国有志の寄付により、昭和 41 年 4 月 14 日に開館した宗教法人東行庵設置の東行記念館を前身とする。

(2)位置

下関市大字吉田 1184 番地（〒750-1101）

TEL 083-284-0212　FAX 083-284-0219



(3)構造等

構　　造　鉄筋コンクリート造 2 階建

延床面積　2 階：展示室 110.5 ㎡、収蔵庫 27.6 ㎡

学芸員室 27.6 ㎡、

ホール 55.3 ㎡　(1 階：310.2 ㎡)

(4) 開館時間等

開館時間　午前 9 時 30 分～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分）

休 館 日　月曜日（祝日の場合は開館）、祝日の翌日、年末年始（12 月 28 日～1 月 4 日）、展示替え等のための臨時休館

観 覧 料　一　　般　300 円（240 円）

大学生等　200 円（160 円）　※（ ）内は 20 名以上の団体料金

下関市及び北九州市在住 65 歳以上 150 円

※18 歳以下、障害者の方及び高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学の生徒は無料。

※特別展示観覧料は別に定める。

(5) 観覧者の状況

	開館日数(日)	観覧者数(人)
令和 5 年度	304	4,404
令和 6 年度	302	5,406
令和 7 年度	304	5,505

(6) 展示と観覧者の状況（令和 7 年度）

開館日数　304 日

観覧者数　5,505 人（有料 4,821 人、無料 684 人）

展示別観覧者数

名　　称	会　　期	開催日数(日)	観覧者数（人）		
			有料	無料	計
小倉口の激闘	4 月 1 日～6 月 22 日	72	1,394	202	1,596
晋作ゆかりの地　下関と北九州	6 月 24 日～9 月 21 日	78	908	197	1,105
幕末を彩った人たち	9 月 23 日～12 月 14 日	71	1,410	137	1,547
詩歌で蘇る幕末	12 月 16 日～3 月 15 日	70	875	95	970
高杉家の歴史	3 月 17 日～3 月 31 日	13	234	53	287

(7) 教育・普及活動

①出前講座　4 回（126 人）

②協力連携事業　日本歴史編集部、広報戦略課

4　考古博物館

(1) 沿革

平成 2 年10 月　遺跡公園等建設推進調査委員会設置

平成 5 年 3 月　下関市考古資料館（仮称）建設開始

平成 6 年 6 月　名称を下関市立考古博物館と決定

平成 6 年 6 月　考古博物館本館工事が完成

平成 6 年12 月　考古博物館の設置等に関する条例を制定

平成 7 年 3 月　考古博物館完成

平成 7 年 5 月　開館



(2) 位置

下関市大字綾羅木字岡 454 番地

(3) 構造等

敷地面積　12,942 ㎡
構　　造　鉄筋コンクリート造 2 階（地上 1 階、地下 1 階）
建築面積　1,875 ㎡
延床面積　2,664 ㎡（展示部門 794 ㎡、収蔵部門 390 ㎡、教育普及部門 237 ㎡、調査研究部門 360 ㎡、その他 883 ㎡）
屋外施設　竪穴式住居（2 棟）、岩谷古墳、屋外便所
駐 車 場　87 台（うちバス 5 台）
付属施設　「弥生の里」（平成 28 年 4 月より、子育て支援施設として使用）

(4) 利用案内

開館時間　午前 9 時 30 分～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）
休 館 日　月曜日、年末年始（12 月 28 日～1 月 4 日）
観 覧 料　無料

(5) 常設展示

綾羅木郷遺跡を中心に、市内の弥生・古墳時代遺跡から出土した代表的な考古資料を展示するとともに、綾羅木郷遺跡の特徴的な遺構である貯蔵用竪穴の大型ジオラマや隣接する遺跡公園で見学することができる若宮一号墳（前方後円墳）や岩谷古墳（円墳）の模型を展示している。加えて、代表的な出土品である弥生時代前期の綾羅木式土器について理解を深めることができる、ユニバーサルデザインを取り入れた「さわる展示」コーナーや、企画展示の合間に平常展示「綾羅木式土器の世界」「郷台地の弥生石器」を開催している。

(6) 収蔵品の主なもの

綾羅木郷遺跡の出土品及び市内出土の考古資料の一部
弥生時代・・連弧文銘帯鏡、塡形土製品（土笛）、多鈕細文鏡、細形銅剣、弥生土器（綾羅木式土器）
古墳時代・・六鈴鏡、勾玉、鈴付釧、小環付釧、三輪玉形金具

(7) 入館者の状況

年 度	開館日数（日）	入館者数（人）
令和 5 年度	309	22,808
令和 6 年度	306	25,385
令和 7 年度	298	26,025

(8) 展示会開催と観覧者の状況（令和 7 年度）

名　　称	会　　期	開館日数(日)	観覧者数(人)
山口県埋蔵文化財センター巡回展「発掘された山口」	7 月 19 日～9 月 14 日	52	2,490
開館 30 周年記念特別展「上の山古墳と穴門の趨勢―本州最西端の後期古墳と集落―」	10 月 11 日～12 月 7 日	51	3,109
令和 7 年度発掘速報展「第 23 回掘ったほ！しものせき」	1 月 17 日～3 月 15 日	50	2,950
「大すき　ふるさと下関　歴史マップ」巡回展	11 月 5 日～11 月 18 日	13	764
合　　計		166	9,313

(9) 教育普及・調査研究

ア　３０周年記念講演会

①令和７年 10 月 25 日（土）河野　正訓　（東京国立博物館 考古室長）
「上の山古墳出土品の最新調査と被葬者像」　聴講者　65 人

②令和７年 11 月８日（土）　桃﨑　祐輔（福岡大学 教授）
「下関市上の山古墳の鋳銅鈴付馬具と防府市桑山塔ノ尾古墳の金銅装馬具からみた雄略・継体朝の防長地域」　聴講者　59 人

③令和７年 11 月 29 日（土）岡田　裕之　（山口県埋蔵文化財センター 事業課長）
「古墳時代後期の山口県における地域勢力と上の山古墳－穴門国造をめぐる政治情勢－」
聴講者　56 人
合計 180 人

イ　巡回展特別講演会

①令和７年８月 17 日（土）石井　龍彦（山口県埋蔵文化財センター）
「埴輪の変遷と山口県の埴輪」　聴講者　44 人

ウ　文化財講座

①令和７年９月 27 日（土）　阿南　翔悟（下関市立考古博物館　副主任・学芸員）
「鏃からなにがわかるのか－古墳時代編－」　聴講者　25 人

②令和８年１月 24 日（土）　沼山　旅羽（文化財保護課　学芸員）
「綾羅木郷台地遺跡の発掘調査成果－中世の土坑に埋められた大石と土器－」　聴講者　24 人

③令和８年２月 21 日（土）松永博明（文化財保護課　会計年度職員）
「火ノ山砲台跡の発掘調査成果」　聴講者　51 人
合計 100 人

エ　体験学習教室

①勾玉づくり教室	17 回	参加者	187 人
②土笛づくり教室	15 回	参加者	137 人
③竪穴住居模型づくり教室	14 回	参加者	93 人
④土器文様ペンダントづくり教室	3 回	参加者	16 人
⑤依頼による体験学習	10 回	参加者	264 人
			合計 697 人

オ　さわるワークショップ

これまで、学校や福祉施設で実施してきたものを、令和６年度より、一般向けにも展開を始めた企画。視覚（目）に頼らず、触覚（さわる感覚）を使ってモノを調べる体験型の講座。ふだん何気なく使っている「さわる」感覚を意識することで、モノへの理解を深めることができるユニバーサル・ワークショップを目指した。

	6 回	参加者	18 人

カ　博学連携

①ものづくり体験（勾玉・土笛）	5 回	利用者	118 人
②市内・外学校利用	51 回	利用者	2,570 人
③出前授業	6 回	利用者	434 人
④教員研修	5 回	利用者	107 人
⑤職場体験	3 回	利用者	14 人
⑥博物館実習	1 回	利用者	1 人
⑦インターンシップ	3 回	利用者	3 人
			合計 3,247 人

キ　資料整理

綾羅木郷遺跡ほか館蔵資料の整理

ク　研修

博物館職員の能力向上のため、外部研修会参加や現地視察などを7回（うち4回はオンライン）行った。

ケ　ユニバーサルミュージアム

博物館資料は視覚情報により物事を理解する要素が強いため、令和2年度から目の不自由な人でも博物館資料から本市の歴史に触れる場を創出することを第一歩と定め、ユニバーサルミュージアムの取り組みを開始している。本年度は視覚に頼らず、さわることで資料を学ぶ、触察体験をはじめ、館内への点字表示、企画展での展示及び視覚障がい者歩行テープの導入などに取り組んだ。

山口県盲人福祉協会下関点字図書館と連携し、視覚障がい者に関する各種情報の教示及び当館行事の周知協力を行った。また、山口県立下関南総合支援学校との連携により、視覚障がい者への常設展示の音声ガイドに関する意見交換を行った。また、音訳みちしおの会の協力により、常設展示の音声ガイド導入のためのナレーション制作を推進した。

コ　SNS等の活用

下関市立考古博物館公式マスコットぶえ吉Facebook、下関市立考古博物館公式X(旧Twitter)、下関市立考古博物館公式YouTubeチャンネルの運用。また、Instagramを新規に開設した。

サ　さわる考古資料の作製及び活用

市内遺跡出土品等の収蔵資料の三次元データ化を行い、3Dプリンターでレプリカを出力して、触察体験授業等で活用した。

シ　市内博物館連携（下関市総合博物館）

教育委員会所管博物館が連携し、下関市立川中中学校において「校内まるごとミュージアム」の連携展示を令和4年8月24日から開始。令和7年度も展示を継続した。また、令和7年度は市内博物館・美術館とともに、幅広い層の先生にまずは来館してもらい、博物館に親しみをもってもらうこと、学習資源を知ってもらうことをねらいとした「教員のための博物館の日2025 in下関」を市内6館で実施し、総合博物館的連携を図った。

ス　地域連携

地元まちづくり協議会やNPO法人と連携し、綾羅木郷遺跡の史跡指定日を周知するとともに、その価値の理解と地域愛護意識の醸成を図るため、夜間イベント「キャンドルナイト2026 in考古博物館」を開催。当日は夜間臨時開館として、1,176人の入館者があった。

また、考古博物館及び隣接する綾羅木郷遺跡公園の利用促進をはかることを目的に、最寄り駅の梶栗郷台地駅に階段アートを試行的に掲出し、遺跡公園及び博物館のにぎわい創出の仕掛けとしての掲出物の可能性を実証的に検討した。また、作品制作は、下関市立安岡中学校美術部に協力を求め、施工にあたっては川中地区まちづくり協議会や下関市屋外広告業登録業者の協力を得た。

セ　その他の連携

関連自治体との相互協力として、令和7年5月31日（土）に宗像市の「ムナカタ古代フェス inいせきんぐ2025」へ出張博物館として参加した。

また、鳥取県の呼びかけによる、「弥生の御朱印巡り」には、全国39遺跡（42施設）とともに参加した。

さらに、門司港美術工芸研究所とのコラボ企画として、同研究所が開催した全５回の粘土造形講座「土のまつり」で制作された土笛や土偶、巨大オブジェ等について、当館で野焼き焼成を行い完成させる連携企画を実施した。

このほか、山口県の支援を受けて宇部市に開設された「恐竜の森アドベンチャー SORACO」について、コンセプトモチーフとなった当館所蔵の恐竜卵化石に関連し、連携、協力を図った。

５　土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム

(1) 沿革



昭和 53 年　「史跡土井ヶ浜遺跡保存管理計画」策定
平成２年　遺構覆屋（土井ヶ浜ドーム）完成、公開
平成５年３月　土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム完成
平成５年５月　土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム開館

(2) 位置

下関市豊北町大字神田上 891-8

(3) 構造等

敷地面積　18,748.26 ㎡
構　　造　鉄筋コンクリート造３階建陸屋根
延床面積　1,977.66 ㎡
　１階　（倉庫・収蔵庫、機械室など）：740.52 ㎡
　２階　（玄関・エントランスホール・展示室・事務室・倉庫・会議室・トイレ）：1,057.36 ㎡
　３階　（展望所）：146.02 ㎡
　ＰＨ　33.75 ㎡
屋外施設　湿生花園、研修田　　駐車場 100 台
付属施設　遺構覆屋（土井ヶ浜ドーム）、休息所「ほねやすめ」

(4) 利用案内

開館時間　午前９時～午後５時
休 館 日　月曜日（祝日又は振替休日の場合は翌平日）、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）
観 覧 料　大人 200 円(160 円)、大学生等 100 円(80 円)、下関市と北九州市居住の 65 歳以上の方 100 円
（　）内は 20 名以上の団体料金、高校生以下は無料、療育手帳・身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・戦傷病者手帳（項症）の交付を受けている方(身体障害の程度が１～４級、戦傷病者の特別項症から第４項症までの方は付添人１人を含む)は無料

(5) 常設展示

①弥生シアター

弥生シアターでは３Ｄ映像「よみがえる弥生人」を上映。土井ヶ浜弥生人の特徴とルーツについて映像で紹介。

②展示室

・土井ヶ浜遺跡のジオラマ
・土井ヶ浜遺跡の土層はぎ取り展示
・埋葬のようす（土井ヶ浜遺跡でみられた埋葬の種類）
・日本人の起源
・日本人の身長の変遷（縄文時代から現代までの身長の変化）

・弥生人形質の地域差（弥生人には顔かたちに地域差があったことを人骨のレプリカで紹介）
・副葬品（南海産貝製腕輪、玉状貝製品などのアクセサリー類を展示）
・副葬されていた土器
・殺されたシャーマン（124 号人骨の謎）
・土器に文様を付けてみよう

(6)収蔵品

土井ヶ浜遺跡出土遺物、角島沖田遺跡出土遺物、圃場整備事業にかかる発掘調査で出土した遺物
土井ヶ浜人骨及び弥生人骨、古墳人骨、古代人骨、中世人骨、近世人骨、河村コレクション（貝）

(7)観覧者の状況

	開館日数(日)	観覧者数(人)
令和 5 年度	311	11,660
令和 6 年度	308	9,173
令和 7 年度	310	8,149

(8)企画展示・講演・教育・普及活動

ア　企画展
①「令和 7 年度浜出祭写真展」　令和 7 年 5 月 27 日(火）～6 月 22 日（日）
②「うごく・つながる＃弥生人　−弥生時代の響灘−」令和 7 年 7 月 1 日(火）～11 月 24 日（月・祝）
③「学芸員の″推し″資料展 第 1 弾及び第 2 弾」令和 7(2025) 年 12 月 2 日(火)～令和 8(2026)年 2 月 23 日（月・祝）と令和 8（2026）年 3 月 3 日（火）～5 月 31 日（日）

イ　体験学習
①体験講座「二枚貝の腕輪づくり」　令和 7 年 8 月 3 日(日）13 名
②随時できる体験学習①「人骨模型の発掘体験」389 組 1,538 名、②「花弁状貝製品の腕輪づくり」62 名、③「土井ヶ浜弥生人なりきり体験」915 名

ウ　連携事業
①市立豊北小学校とのふるさと学習「赤米の田植え・稲刈り」
田植え：令和 7 年 6 月 4 日（水)、稲刈り：令和 7 年 10 月 30 日（木）
②出前講座「ホネホネウォッチング」出前授業 5 回　令和 7 年 6 月 19 日（木）豊浦総合支援学校中学部 14 人、8 月 7 日（木）生涯学習プラザ 4 人、11 月 4 日（火）豊北中学校 13 人、11 月 15 日（土）ふくふくこども館 62 人、令和 8 年 3 月 3 日（火）豊北小学校 23 人
③山口県立下関北高等学校地球探究科目の授業での連携
令和 7 年 6 月 12 日（木）～令和 8 年 2 月 19 日（木）
④山口県立下関西高等学校主催の「夏休みディスカバリープロジェクト」による体験学習と講演開催
令和 7 年 8 月 6 日（水）
⑤九州大学アジア埋蔵文化財研究センターとの研究連携
土井ヶ浜遺跡の弥生時代人骨、鹿児島県南種子町広田遺跡出土人骨、南九州の古墳時代人骨の共同研究を実施。
⑥山口大学埋蔵文化財資料館との研究連携
下関市蓋井島に所在する筏石遺跡の出土遺物の共同調査。
⑦教員のための博物館の日 2025 in 下関（国立科学博物館・公財日本博物館協会共催）
令和 7 年 8 月 4 日（月）

⑧第 79 回日本人類学会大会の開催（日本人類学会との共催）
令和 7 年 10 月 11 日（土）～14 日（火）

(9) 調査・研究

ア　豊北町の民俗祭礼「浜出祭」調査。
イ　下関市筏石遺跡出土動物遺存体の調査。
ウ　土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム研究紀要第 21 号の作成。
エ　バハレーン国マカバ古墳群出土人骨の調査依頼(奈良県立橿原考古学研究所と美祢市伊佐町所在の東丸遺跡及び宗藤遺跡出土人骨の、鑑定及び報告書作成依頼（山口埋蔵文化財センター)。
オ　在自西ノ後第 1 次調査出土動物骨の調査依頼（福津市教育委員会)。

(10) 付属施設（遺構覆屋＝土井ヶ浜ドーム）

約 80 体の人骨（レプリカ）を発掘当時の状態で復元し、土井ヶ浜弥生人たちの埋葬の特徴が一目で理解できるような展示をおこなっている

６　烏山民俗資料館

下関市烏山民俗資料館は、平成 8 年に地域の歴史・民俗等の地域文化に関する資料及びアジア地域及び日本各地の手仕事文化に関する資料について、収集・調査研究及び展示活動を行う資料館として開館した。

平成 22 年 1 月 17 日より地域住民及び観光客の交流を目的として設置された下関市川棚温泉交流センター内に移転し、新たに開館することとなった。移転後は、烏山民俗資料館の幅広い収蔵品の魅力を伝えるために、さまざまなテーマに沿った企画展・所蔵品展を開催している。

(1) 沿革

平成 8 年 4 月　旧烏山工芸館の民芸コレクションの寄贈を受ける。
平成 8 年 6 月　豊浦町烏山民俗資料館として開館する。
平成 17 年 2 月　下関市との合併により下関市烏山民俗資料館となる。
平成 20 年 8 月　下関市川棚温泉交流センター内への移転準備のため 8 月 31 日より休館。
平成 22 年 1 月　下関市川棚温泉交流センター内に移転。

(2) 位置

下関市豊浦町大字川棚 5180 番地
川棚温泉交流センター内（〒759-6301）
TEL 083-774-3855　FAX 083-774-3856



(3) 構造等（施設全体）

敷地面積　4,498 ㎡
構　　造　鉄骨構造 2 階建
延床面積　1,242.85 ㎡
　　うち烏山民俗資料館展示室 251.63 ㎡

(4) 利用案内

開館時間　午前 9 時～午後 7 時（入館は午後 6 時 30 分）
休 館 日　年末年始（12 月 31 日～１月 3 日）　※展示替え等のための臨時休館あり
観 覧 料　無料（ただし、特別展開催時には別に定める）

(5)収蔵品

下関地域を中心とした暮らしと生活文化に関する資料、地域文化資料・観光関連資料、温泉文化関連資料。東アジア及び日本各地の工芸等生活文化に関する資料

(6)観覧者の状況

	開館日数(日)	観覧者数(人)
令和5年度	362	35,866
令和6年度	361	31,703
令和7年度	361	38,270

(7)展覧会・教育普及・地域連携等

ア　博福連携

高齢化社会に対応した新たな博物館像を目指して「博物館と福祉」連携を目的に活動。高齢者の認知症予防に効果のあるとされる「回想法」を取り入れた展覧会を実施することで地域の高齢者や介護施設等が気軽に訪れることができる場を提供する。

①企画展「昭和の暮らし」

会期　令和7年10月4日（土）～令和7年12月7日（日）

②小企画展「写真で振り返る豊浦の記憶」

会期　令和7年9月13日（土）～12月14日（日）

イ　地域固有文化再発見

豊浦を中心とした下関地域に埋もれた固有の生活文化を再発見し、新たな地域教育への活用並びに観光産業振興策として活用することを目的として展示及び講演会等を実施する。

（企画展）

①小企画展「しっちょる？川棚温泉　川棚温泉がわかる１０のお話」令和7年6月14日（土）～令和7年9月9日（火）

②小企画展「アルフレッドコルトーと夢の島」会期　令和8年3月7日（土）～令和8年6月16日（火）

ウ　烏山民俗資料館の独自性発揮

他の博物館にない烏山民俗資料館の魅力を発揮する展覧会を開催することで、幅広い年齢層、地域を超えた来館者の増加をはかる。

令和7年度は川棚の杜開館15周年記念事業として豊浦総合支所地域政策課からの依頼により以下の特別展を実施した。

①企画展「川棚と隈研吾の対話」　令和7年12月20日（土）～令和8年2月15日（日）

エ　地域連携

展覧会等の開催事業を地域の民間団体等と連携することで、地域住民並びに観光客が地域文化に触れ合う機会の充実をはかることを目的として実施する。

①企画展「藁細工展」（川棚の杜共催展覧会）会期　令和8年2月6日（金）～令和8年2月8日（日）

②企画展「カラスヤマのひなまつり」会期　令和8年2月27日（金）～令和8年4月19日（日）

7　豊北歴史民俗資料館

(1) 沿革

（県指定文化財旧滝部小学校の歴史）

明治 8 年 8 月　滝部八幡宮境内に開誘（かいゆう）小学校を創設する。
明治 17 年 2 月　学区改正により、大庭小学校の開誘分校として、現在地に校舎を改築する。
明治 20 年 4 月　独立し、開誘尋常小学校となる。
明治 28 年 8 月　高等科を併設し、滝部尋常高等小学校となる。
大正 13 年 3 月　中山太一・豊三・喜助三兄弟の寄附により、本館・東側校舎が完成。
昭和 22 年 5 月　新学制により、滝部小学校と改称する。
昭和 54 年 3 月　山口県有形文化財（建造物）に指定される。
昭和 55 年 11 月 豊北町歴史民俗資料館として、開館する。
平成 17 年 2 月　合併に伴い、下関市立豊北歴史民俗資料館となる。
平成 19 年 5 月　改修工事（保存修理工事）のため休館する。
平成 23 年 3 月　改修工事（保存修理工事）が完了する。
平成 23 年 4 月　西教室棟が、山口県有形文化財（建造物）に追加指定される。
平成 23 年 11 月 リニューアル開館する。



(2) 位置

下関市豊北町大字滝部 3153-1

(3) 構造等

構　　造　　木造 2 階建、寄棟及び切妻造桟瓦葺
敷地面積　　1,970.14 ㎡
延床面積　　1,268.05 ㎡
　１階　　812.97 ㎡
　　ＥＶ棟（トイレなど）：49.85 ㎡、収蔵庫棟：73.09 ㎡、ポンプ室（別棟）：8.40 ㎡
　　既設建物（和室・倉庫・閲覧室・事務室・展示室・教室など）681.63 ㎡
　２階　　455.08 ㎡
　　ＥＶ棟（倉庫など）：44.90 ㎡
　　既存建物（講堂など）：410.18 ㎡

(4) 利用案内

開館時間　午前 9 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分）
休 館 日　月曜日（祝日又は振替休日の場合は翌平日）年末年始（12 月 29 日～１月 3 日）
入 館 料　無料（ただし、特別展開催時には別に定める）
貸　　室　貸室使用料一覧

室　名（収容人員）	使用料	
	AM9:00～PM5:00 1時間あたり	特別使用料
2階　講堂（120）	530円	9,160円
1階　和室（20）	100円	
1階　教室（20）	100円	
1階　展示室	320円	

（備考）

①特別使用料とは、全施設同時使用及び、午後 5 時から午後 10 時までの使用の場合の金額。

②営利、営業、宣伝等を目的とし、又は入場料その他これに類する料金を徴収する場合は、この表の金額の倍額となる。

③冷暖房を使用した場合は、使用状況に応じて実費を徴収する。

(5) 常設展示

1 階・エントランス

・豊北ガイドマップ、滝部小学校の沿革、郷土の偉人中山太一氏などを紹介。また、豊北町の歴史民俗文化についての映像案内を実施。

(6) 収蔵品

国登録有形民俗文化財「豊北の漁撈用具」をはじめとする民俗文化関係資料。郷土資料としての古文書、行政文書など歴史文化関係資料（なお、民俗文化関係資料については資料収蔵室（旧豊北第二中学校）にて保管）

(7) 入館者の状況

	開館日数(日)	入館者数(人)
令和 5 年度	311	4,023
令和 6 年度	308	3,542
令和 7 年度	310	4,413

(8) 企画展示・講演・教育・普及活動

ア　企画展

①「浜出祭～絵巻でたどる浜出祭～」
令和 6 年 12 月 17 日(火)～令和 7 年 5 月 18 日(日)

②「令和 7 年度浜出祭写真展～浜出祭今昔物語～」
令和 7 年 6 月 3 日(火)～7 月 21 日(月・祝)

③「一字庵の継承-菊舎から渡されたバトン-」
令和 7 年 9 月 9 日(火)～11 月 16 日(日)

④「山陰の行商人ー豊北のカンカン部隊ー」
令和 8 年 2 月 23 日(月・祝)～8 月 30 日(日)

⑤「小学校 3 年生社会科授業対応展　明治からの暮らし」
令和 7 年 1 月 14 日(火)～8 月 17 日(日)

⑥「一字庵の継承展 初世菊舎展　漢文化を愛した菊舎」
令和 7 年 9 月 9 日(火)～12 月 21 日(日)

⑦「昭和の暮らし　ちょっとまえの生活」
令和 8 年 1 月 27 日(火)～3 月 22 日(日)

イ　講座・共催事業

①菊舎顕彰会、下関市立豊北小学校との博学連携事業「俳句相撲」　令和 8 年 1 月 15 日(木)

(9) 調査・研究

民俗及び歴史調査（田上菊舎関係調査、豊北町阿川の神社・小祠調査、浜出祭調査、豊北町角島の突漁とマグロ漁・イカ釣調査、下関市域の蒙古伝承調査、北浦のサバー送り追跡調査、内日五年神調査、下関市及び北九州の「カンカン部隊」調査、阿内地区調査(スホーテイ/イズミサン)

8　豊田ホタルの里ミュージアム（下関市立自然史博物館）

(1) 沿革

平成　9 年　豊田町ホタルアカデミックセンター建設調査・研究委員会を設置。
平成 11 年　豊田町ホタルアカデミックセンター建設調査・研究委員会としての報告書を提出（4 月）。
平成 12 年　豊田町ホタルアカデミックセンター整備計画書を作成（3 月）。
平成 15 年　建築及び展示工事着工(6 月 21 日)。館名称とキャラクター名称の一般公募・決定。
平成 16 年　完成（3 月 25 日）。プレオープン（5 月 22 日・23 日）。開館（6 月 5 日）。
平成 17 年　合併により（2 月 13 日）観覧料の一部変更、友の会発足（4 月 28 日）。
令和　元年　設置条例名が「豊田ホタルの里ミュージアム」から「下関市立自然史博物館」に変更。

(2) 位置

下関市豊田町大字中村 50－3



(3) 構造等

敷地面積　10,480 ㎡
構　　造　鉄骨造平屋建
建設面積　1,455 ㎡
延床面積　1,377 ㎡
常設展示室 349 ㎡、シアター室 43 ㎡、ネイチャーラボ 24 ㎡、多目的ホール 138 ㎡、
エントランスホール 169 ㎡、その他 654 ㎡

(4) 開館時間等

開館時間　午前 9 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）
※6 月の開館時間は変更になることがある。
休 館 日　祝日以外の月曜日、年末年始（12 月 28 日～1 月 4 日）
観 覧 料　一　　般　200 円（160 円）
大学生等　100 円（ 80 円）
（　）内は 20 人以上の団体料金
※18 歳以下・障がい者の方及び高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学の生徒は無料。
※下関市及び北九州市内に在住の 65 歳以上の方は 100 円（証明書必要）。

貸　　室　多目的ホール使用料一覧

	午前９時から正午まで	正午から午後5時まで	午前９時から午後５時まで
多目的ホール１	520 円	620 円	930 円
多目的ホール２	520 円	620 円	930 円

（備考）
①入場料又はこれに類する金銭を入場者から徴収する場合は、この表に掲げる額の 3 倍以上を増徴する。
②主たる使用者が市外居住者の場合は、この表に掲げる額の５割以内を増徴する。
③営利、営業、宣伝等を目的として使用する場合には、この表に掲げる額の 2 倍以内を増徴する。
④冷暖房を使用した場合又は特別の設備をした場合においては、それぞれ実情に応じて実費を徴収する。

(5) 常設展示

下関市の自然史（動物、植物、化石、岩石、菌類など）に関する標本や生体等による展示及びホタルに関する展示。

(6)収蔵品

下関市の自然史を主体とした標本収蔵。昆虫標本約10万点をはじめ岩石や化石、植物など多数の標本を収蔵。

(7)入館者の状況

	開館日数(日)	観覧者数(人)
令和5年度	307	29,113
令和6年度	304	29,354
令和7年度	306	35,566

(8)企画展示・講演・教育・普及活動

ア　企画展

春季企画展　身近な裸子植物スギとヒノキ　4月11日（金）～5月25日（日）
蛍季企画展　昼でも見れる！ホタル　5月20日（火）～6月22日（日）
企画展　節足動物の内骨格を調べる　5月27日（火）～9月7日（日）
秋季企画展　当館敷地内のチャタテムシ　9月23日（火・祝）～12月14日（日）
冬季企画展　身近な植物の根　12月16日（火）～3月31日（火）

イ　テーマ展

春季テーマ展　身近なサギゴケ科植物と花粉管　4月22日（火）～5月25日（日）
夏季テーマ展　収蔵標本『蝶類』　6月19日（木）～9月7日（日）
秋季テーマ展　身近なクスノキ科植物の実とダニ室　10月22日（水）～12月27日（土）

ウ　特別企画展

夏季特別企画展　下関の食中植物　7月25日（金）～9月7日（日）

(9)教育・普及活動

・学校等見学の受入：　31校/1,206人
・観察会 30回／302人 ※観察会はすべて内容が異なる。
・夏休みの教室　6回／79人 ※昆虫の教室、貝類の教室
・第6回自然史体験の日　215人
・特別講演会　1回/95人 ※1回は講師の体調不良で中止
・出前講座　49回/1,435人 ※学校等見学時に講座を開いたものを含む。
・研修等：　学芸員養成課程に係る学生の博物館実習（2大学2人　延べ10人)、教諭研修（3人)、教員の日（5人　延べ5人）
・博学連携：　西市小学校ホタル飼育、豊田下小学校化石クラブ（7回)。
・公式SNSによる情報発信 X（旧Twitter）及びnote、YouTube、Peatixにより下関市の自然に関するさまざまな内容について情報を発信した。

(10)調査・研究

複数の大学等との共同研究をはじめ、毎年研究成果をまとめた「豊田ホタルの里ミュージアム研究報告書」を刊行している。

９　文化財保護

(1) 下関市文化財保護審議会

下関市文化財保護審議会委員名簿　　（任期：令和７年６月１日～令和９年５月 31 日）

担当分野	氏名	現職等
建造物	三浦正幸	広島大学名誉教授
絵画	菊屋吉生	山口大学名誉教授
彫刻	井形進	九州歴史資料館学芸調査室長補佐 兼学芸研究班長
古文書・歴史資料	山田稔	山口博物館主任
考古資料・史跡	渡辺一雄	元梅光学院大学副学長
民俗文化財	清水満幸	前萩博物館館長
記念物(植物・名勝)	髙田義弘	元山口県野外植物研究委員会副委員長
記念物(地質鉱物)	金折裕司	元　山口大学　教授

(2) 施　設

ア　旧下関英国領事館

所在地　　下関市唐戸町４－11

構造等　　本　館　煉瓦造二階建・桟瓦葺
（建築面積 161.35 ㎡）
附属屋　煉瓦造平屋建・桟瓦葺
（建築面積 80.93 ㎡）

敷地面積　596.93 ㎡

令和７年度入館者数　91,289 人



この建物は、領事館として建てられたわが国現存最古の建物で、明治 39 年８月に上棟した。平成 11 年５月 13 日、重要文化財に指定。平成 20 年度から 25 年度に実施した構造補強及び建築当初への復原を目的とした保存修理工事竣工後、平成 26 年７月 18 日より、指定管理者による公開活用を図っている。年間入館者数は前年度に続いて過去最高を記録した。また、英国王立写真協会日本支部の協力のもと、下記写真展を開催した。

・第 22 回英国王立写真協会日本支部写真展　〈Feel British〉& 〈Feel Japanese〉
令和７年 11 月 21 日（金）～11 月 30 日（日）　　3,217 人（会期中延べ入館者数）

イ　豊田文化財資料室

所在地　　下関市豊田町大字矢田 153－1

構造等　　鉄筋コンクリート造（床面積　255.60 ㎡）

豊田地域の貴重な文化財を展示保存するとともに、地域の歴史と民俗に関する調査研究施設として平成７年に豊田図書館内に設置し、市民に無料公開している。

※休館日　下関市立豊田図書館に準ずる。

(3) 調査・保存修理

ア　国指定天然記念物「川棚のクスの森」天然記念物再生事業

国指定天然記念物「川棚のクスの森」について、令和 6 年度に引き続き水圧穿孔を実施した。併せて有識者並びに文化庁調査官を招聘し、樹勢回復のための指導・助言を求めた。

イ　国指定天然記念物「恩徳寺の結びイブキ」調査指導

国指定天然記念物「恩徳寺の結びイブキ」について、有識者並びに文化庁調査官を招聘し、現状の樹木の状態や市が現状認識している保存や維持管理における課題点について指導・助言を求めた。

ウ　国指定天然記念物「満珠樹林・干珠樹林」現地視察

下関市長府沖合いの干珠島・満珠島に所在する国指定天然記念物「満珠樹林・干珠樹林」について、以前から鳥類の営巣被害や波浪浸食による地形変化が懸念されていた。そのため、下関市文化財保護審議会の天然記念物担当委員らと両島に上陸し、営巣被害状況や地形変化の確認等を実施した。また、島内の植生調査も併せて実施した。

エ　無形民俗文化財等の調査

令和 7 年度に催行された式年祭の「浜出祭」（7 年に一度　県指定）、「内日五年神神事」（5 年に一度　市指定）のほか、「浮石の赤崎神社楽踊」（市指定）、「亀山能」（市指定）など、指定・未指定の無形民俗文化財等の記録作成や現況確認を行った。また、「亀山能」の催行に際して、指定民俗文化財等保存事業による事業費補助を実施した。



川棚のクスの森　水圧穿孔



恩徳寺の結びイブキ
調査指導



満珠樹林・干珠樹林
現地視察



浮石の赤崎神社楽踊



亀山能



内日五年神神事

(4) 市内の文化財（令和 8 年 5 月 1 日現在）

ア　国指定文化財

①　国宝（2 件）

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
功山寺仏殿	建造物	長府川端一丁目〔功山寺〕	昭和 28. 11. 14
住吉神社本殿	建造物	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 28. 11. 14

② 重要文化財（19 件）

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
住吉神社拝殿	建造物	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 29.9.17
旧下関英国領事館	建造物	唐戸町〔下関市〕	平成 11.5.13
六連島灯台	建造物	大字六連島〔海上保安庁〕 大字彦島金ノ弦岬（公有水面上）〔下関市〕	令和 2.12.23
角島灯台	建造物	豊北町大字角島〔海上保安庁 下関市、（公社）燈光会〕	令和 2.12.23
絹本著色十二天曼荼羅図 （寺伝　安鎮曼荼羅）	絵画	南部町〔国分寺〕	昭和 25.8.29 明治 37.2.18 （旧国宝）
木造不動明王立像	彫刻	南部町〔国分寺〕	昭和 25.8.29 明治 35.7.31 （旧国宝）
木造薬師如来立像	彫刻	南部町〔専念寺〕	昭和 25.8.29 明治 35.7.31 （旧国宝）
刀　（無銘伝則宗）	工芸品	長府宮の内町〔忌宮神社〕	昭和 25.8.29 大正 15.4.19 （旧国宝）
太刀　（銘　備州長船盛光）	工芸品	長府宮の内町〔忌宮神社〕	昭和 25.8.29
銅鐘	工芸品	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 25.8.29 明治 35.7.31 （旧国宝）
金銅牡丹唐草透唐鞍	工芸品	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 31.6.28
平家物語（長門本自一至廿）	書跡	阿弥陀寺町〔赤間神宮〕	昭和 25.8.29 明治 39.4.14 （旧国宝）
豊浦宮法楽和歌（尊氏外三人筆）	書跡	長府宮の内町〔忌宮神社〕	昭和 25.8.29 明治 43.4.20 （旧国宝）
住吉社法楽百首和歌短冊 （明応四年十二月）	書跡	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 28.11.14
赤間神宮文書	古文書	阿弥陀寺町〔赤間神宮〕	昭和 51.6.5
忌宮神社文書　（三百七十二通） 忌宮神社境内絵図	古文書	長府宮の内町〔忌宮神社〕	昭和 53.6.15
長門国鋳銭遺物	考古資料	長府川端二丁目（歴史博物館）〔下関市〕	昭和 39.1.28
絹本著色仁王経曼荼羅図	絵画	山口市春日町（山口県立山口博物館寄託）〔神上寺〕	昭和 53.6.15
木造阿弥陀如来坐像	彫刻	豊浦町大字厚母郷〔安養寺〕	昭和 4.4.6 昭和 4.4.6 （旧国宝）

③ 重要有形民俗文化財（1 件）

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
蓋井島「山ノ神」の森	有形民俗文化財	大字蓋井島〔個人〕	昭和 35.10.11

④　史跡・名勝・天然記念物（20 件）

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
長門鋳銭所跡	史跡	長府安養寺三丁目〔覚苑寺他〕	昭和 4.12.17
高杉晋作墓	史跡	大字吉田〔東行庵〕	昭和 9.5.1
中山忠光墓	史跡	綾羅木本町七丁目〔中山神社〕	昭和 16.8.1
綾羅木郷遺跡	史跡	大字綾羅木字若宮他〔下関市〕	昭和 44.3.11 (昭和 56.12.23 追加)
梶栗浜遺跡	史跡	梶栗町四丁目他〔下関市〕	昭和 55.3.14
仁馬山古墳	史跡	大字延行字神間他〔下関市〕	平成 3.5.15
長州藩下関前田台場跡	史跡	前田一丁目〔下関市〕	平成 22.8.5
勝山御殿跡	史跡	大字田倉〔下関市〕	平成 31.2.26
満珠樹林	天然記念物	大字豊浦村字干珠〔忌宮神社〕	大正 15.10.20
干珠樹林	天然記念物	大字豊浦村字満珠〔忌宮神社〕	大正 15.10.20
六連島の雲母玄武岩	天然記念物	大字六連島字辻〔総務省他〕	昭和 9.1.22
石柱溪	名勝及 天然記念物	豊田町大字今出〔下関市他〕	大正 15.10.20
狗留孫山	名勝	豊田町大字杢路子〔修禅寺〕	昭和 15.8.30
木屋川・音信川ゲンジボタル発生地	天然記念物	音信川、木屋川流域〔国土交通省、山口県〕	昭和 32.10.16
川棚のクスの森	天然記念物	豊浦町大字川棚〔下関市〕	大正 11.10.12
大吼谷蝙蝠洞	天然記念物	豊浦町大字小串〔山口県漁業協同組合〕	昭和 3.3.24
小串エヒメアヤメ自生南限地帯	天然記念物	豊浦町大字小串〔下関市〕	昭和 5.11.19 (平成 3.2.7 追加)
壁島ウ渡来地	天然記念物	豊北町大字神田（壁島）〔文部科学省〕	昭和 9.5.1
恩徳寺の結びイブキ	天然記念物	豊北町大字神田関領〔山口県漁業協同組合〕	昭和 30.10.26
土井ヶ浜遺跡	史跡	豊北町大字神田上〔下関市〕	昭和 37.6.21

イ　山口県指定文化財（43 件）

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
山口銀行旧本店	有形文化財 （建造物）	観音崎町〔山口銀行〕	平成 17.10.4
観察院五輪塔	有形文化財 （建造物）	富任町八丁目〔観察院〕	平成 23.12.3 (平成 24.4.3 追加)
紙本金地着色安徳天皇絵	有形文化財 （絵画）	阿弥陀寺町〔赤間神宮〕	昭和 41.6.10
板絵着色繋馬図	有形文化財 （絵画）	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	平成 2.11.6
狩野芳崖筆板絵着色絵馬	有形文化財 （絵画）	長府宮の内町〔忌宮神社〕 一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕 一の宮住吉一丁目（住吉神社寄託）〔菅原神社〕 長府黒門東町(美術館寄託)〔東西山瀬〕	平成 6.5.2
絹本着色楊柳観音坐像	有形文化財 （絵画）	長府川端二丁目（歴史博物館寄託）〔功山寺〕	平成 7.12.19
木造地蔵菩薩半跏像	有形文化財 （彫刻）	長府川端一丁目〔功山寺〕	昭和 41.6.10

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
木造聖観音菩薩立像	有形文化財 （彫刻）	大字有冨〔竹生寺〕	昭和 41.6.10
手鑑「筆陳」	有形文化財 （書跡）	長府川端二丁目（歴史博物館）〔下関市〕	平成 23.2.8
住吉神社文書	有形文化財 （古文書）	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 52.11.11
武久家文書	有形文化財 （古文書）	長府川端二丁目（歴史博物館寄託）〔個人〕	昭和 55.12.5
安尾家文書	有形文化財 （古文書）	長府川端二丁目（歴史博物館）〔下関市〕	昭和 62.3.27
綾羅木郷遺跡出土品	有形文化財 （考古資料）	大字綾羅木字岡（考古博物館）〔下関市〕	昭和 51.3.16
心光寺古墳出土品	有形文化財 （考古資料）	大字綾羅木字岡（考古博物館）〔下関市〕	昭和 55.4.11
大内家壁書	有形文化財 （歴史資料）	長府川端二丁目（歴史博物館）〔下関市〕	平成 8.12.13
法林寺のソテツ	天然記念物	大字吉母〔法林寺〕	昭和 41.6.10
長門国一の宮住吉神社社叢	天然記念物	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 41.6.10
長府正円寺の大イチョウ	天然記念物	長府中之町〔正円寺〕	昭和 44.2.4
蓋井島のヒゼンマユミ群落	天然記念物	大字蓋井島〔個人〕	昭和 57.11.5
忌宮神社の数方庭行事	無形民俗文化財	長府宮の内町 〔数方庭保存会〕	昭和 59.11.2
赤間硯	無形文化財 （工芸技術）	保持者　堀尾信夫	平成 14.3.26
長府藩主毛利家墓所	史跡	長府川端一丁目〔功山寺〕 長府安養寺三丁目〔覚苑寺〕 長府川端二丁目〔笑山寺〕	平成 26.12.2
法輪寺本堂	有形文化財 （建造物）	菊川町大字七見〔七見部落〕	昭和 42.7.4
木造虚空蔵菩薩坐像	有形文化財 （彫刻）	菊川町大字七見〔七見部落〕	昭和 41.6.10
鰐口	有形文化財 （工芸品）	長府川端二丁目（歴史博物館寄託）〔美栄神社〕	平成元.10.24
明版一切経	有形文化財 （典籍）	菊川町大字吉賀〔快友寺〕	平成 5.1.12
旧殿居郵便局局舎	有形文化財 （建造物）	豊田町大字殿居〔個人〕	昭和 52.3.29 （平成 5.1.12 追加）
絹本極彩色理界曼荼羅 絹本極彩色智界曼荼羅	有形文化財 （絵画）	長府川端二丁目（歴史博物館寄託）〔神上寺〕	昭和 41.6.10
木造薬師如来坐像	有形文化財 （彫刻）	豊田町大字江良〔神上寺〕	昭和 55.12.5
線刻菩薩形坐像懸仏	有形文化財 （工芸品）	長府川端二丁目（歴史博物館寄託）〔八鷹八幡宮〕	昭和 55.12.5

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
神上寺銅矛	有形文化財（考古資料）	豊田町大字江良〔神上寺〕	昭和 53.3.31
紙本墨画白衣観音図	有形文化財（絵画）	豊浦町大字川棚〔三恵寺〕	平成 5.5.14
木造千手観音菩薩立像	有形文化財（彫刻）	豊浦町大字川棚〔三恵寺〕	昭和 54.12.4
金銅薬師如来坐像懸仏	有形文化財（工芸品）	豊浦町大字吉永〔吉永八幡宮〕	昭和 54.12.4
中ノ浜遺跡	史跡	豊浦町大字川棚〔下関市〕	昭和 50.3.22（昭和 61.10.24 追加）
黒井一ノ瀬一里塚	史跡	豊浦町大字黒井〔個人〕	平成 15.4.4
川棚三恵寺のモッコク	天然記念物	豊浦町大字川棚〔三恵寺〕	昭和 44.4.25
旧滝部小学校本館	有形文化財（建造物）	豊北町大字滝部（豊北歴史民俗資料館）〔下関市〕	昭和 54.3.31（平成 23.4.8 追加）
土井ケ浜遺跡出土品	有形文化財（考古資料）	豊北町大字神田上（土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム）〔下関市〕	昭和 57.4.16（昭和 61.4.8 追加）
滝部のシダレザクラ	天然記念物	豊北町大字滝部〔個人〕	昭和 52.11.11
滝部八幡宮のイチイガシ	天然記念物	豊北町大字滝部〔滝部八幡宮〕	昭和 52.11.11
阿川八幡宮のイヌマキ巨樹群	天然記念物	豊北町大字阿川〔阿川八幡宮〕	昭和 53.3.31
浜出祭	無形民俗文化財	豊北町〔浜出祭文化財保存会〕	昭和 51.11.24

ウ　下関市指定文化財（146 件）

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
功山寺山門	有形文化財（建造物）	長府川端一丁目〔功山寺〕	昭和 45.3.4
高林寺山門	有形文化財（建造物）	赤池町〔高林寺〕	昭和 49.3.25
笑山寺十三重塔	有形文化財（建造物）	長府川端二丁目〔笑山寺〕	昭和 50.2.27
長府藩侍屋敷長屋	有形文化財（建造物）	長府侍町一丁目〔下関市〕	昭和 51.3.16
菅家長屋門　付練塀	有形文化財（建造物）	長府古江小路町〔個人〕	昭和 51.3.16
吉岡家長屋	有形文化財（建造物）	長府宮の内町〔個人〕	昭和 52.2.16
功山寺輪蔵	有形文化財（建造物）	長府川端一丁目〔功山寺〕	昭和 54.3.1
旧野々村家表門	有形文化財（建造物）	長府侍町一丁目〔下関市〕	昭和 54.12.7
妙音寺無縫塔	有形文化財（建造物）	大字永田郷〔妙音寺〕	昭和 55.2.5
清末内藤家表門	有形文化財（建造物）	清末西町一丁目〔個人〕	昭和 56.2.18
岩元家・岡村家練塀	有形文化財（建造物）	長府惣社町〔個人〕	昭和 56.3.9
河村家練塀	有形文化財（建造物）	長府古江小路町〔個人〕	昭和 56.3.9
乃木神社練塀	有形文化財（建造物）	長府宮の内町〔下関市〕	昭和 56.3.9
旧梶山家練塀	有形文化財（建造物）	長府宮の内町〔下関市〕	昭和 56.11.27
旧今藤家練塀	有形文化財（建造物）	長府宮の内町〔乃木神社〕	昭和 56.11.27
益本家練塀	有形文化財（建造物）	長府宮の内町〔個人〕	昭和 56.11.27
長府藩的場跡練塀	有形文化財（建造物）	長府松原町〔ｱｰｽｺｰﾎﾟﾚｰｼｮﾝ㈱〕	昭和 57.4.15
旧村井家練塀	有形文化財（建造物）	長府侍町二丁目〔㈱ﾍﾞｽﾄｺﾞﾙﾌｸﾗﾌﾞ〕	昭和 57.4.15
磯谷家表門及び練塀	有形文化財（建造物）	長府古江小路町〔個人〕	昭和 58.3.30
引接寺三門	有形文化財（建造物）	中之町〔引接寺〕	昭和 58.5.26

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
佐藤家練塀	有形文化財（建造物）	長府古江小路町〔個人〕	昭和 59.3.30
西尾家練塀	有形文化財（建造物）	長府古江小路町〔個人〕	昭和 59.3.30
阿山家練塀	有形文化財（建造物）	長府古江小路町〔個人〕	昭和 59.3.30
沖田家練塀	有形文化財（建造物）	長府古江小路町〔個人〕	昭和 59.3.30
広江家練塀	有形文化財（建造物）	長府古江小路町〔個人〕	昭和 59.3.30
覚苑寺本堂	有形文化財（建造物）	長府安養寺三丁目〔覚苑寺〕	昭和 61.5.10
王司山田自然石板碑	有形文化財（建造物）	大字山田〔個人〕	平成 3.5.9
旧逓信省下関郵便局電話課庁舎	有形文化財（建造物）	田中町（近代先人顕彰館/田中絹代ぶんか館）〔下関市〕	平成 14.2.15
旧内務省下関土木出張所下関機械工場乾船渠	有形文化財（建造物）	阿弥陀寺町〔下関市〕	平成 27.10.27
旧秋田商会ビル	有形文化財（建造物）	南部町〔下関市〕	平成 27.10.27
絹本著色仏涅槃図	有形文化財（絵画）	長府川端二丁目（歴史博物館寄託）〔功山寺〕	平成 9.10.15
絹本著色虚庵玄寂像	有形文化財（絵画）	長府川端二丁目（歴史博物館寄託）〔日頼寺〕	令和 2.2.25
板絵著色潮音院住持等像	有形文化財（絵画）	長府川端二丁目（歴史博物館寄託）〔日頼寺〕	令和 2.2.25
木造十一面観音座像	有形文化財（彫刻）	大字吉田地方〔蓮台寺〕	昭和 44.6.13
西楽寺木造阿弥陀如来坐像	有形文化財（彫刻）	彦島本村町五丁目〔西楽寺〕	昭和 60.12.20
竹生寺木造十一面千手観音立像	有形文化財（彫刻）	大字有冨〔竹生寺〕	昭和 60.12.20
功山寺千手観音菩薩坐像	有形文化財（彫刻）	長府川端一丁目〔功山寺〕	昭和 61.11.10
功山寺韋駄天立像	有形文化財（彫刻）	長府川端一丁目〔功山寺〕	昭和 61.11.10
功山寺二十八部衆立像	有形文化財（彫刻）	長府川端一丁目・長府川端二丁目（歴史博物館寄託）〔功山寺〕	昭和 61.11.10
海蔵寺木造聖観音菩薩立像	有形文化財（彫刻）	垢田町三丁目〔海蔵寺〕	昭和 63.6.15
法専寺銅造阿弥陀如来立像	有形文化財（彫刻）	大字吉田地方〔法専寺〕	平成元.11.1
銅製鰐口	有形文化財（工芸品）	大字吉田地方〔蓮台寺〕	昭和 44.6.13
太刀　銘　備州住正廣	有形文化財（工芸品）	長府宮の内町〔忌宮神社〕	昭和 45.10.26
萌葱絲威肩白胴丸	有形文化財（工芸品）	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 46.7.24
銅鐘	有形文化財（工芸品）	大字吉母〔若宮神社〕	昭和 46.11.16
銅製鰐口	有形文化財（工芸品）	大字吉母〔若宮神社〕	昭和 46.11.16
銅製鰐口	有形文化財（工芸品）	大字阿内〔専念寺〕	昭和 47.11.9
打刀　銘　長州住顕国 応永四年二月吉日	有形文化財（工芸品）	長府川端二丁目（歴史博物館）〔下関市〕	昭和 48.3.27
金山長福禅寺開山虚菴和尚行録	有形文化財（書跡）	長府川端二丁目（歴史博物館寄託）〔功山寺〕	平成 12.11.17
白石家文書	有形文化財（古文書）	長府川端二丁目（歴史博物館寄託）〔個人〕	昭和 44.10.1
亀屋伊藤家文書	有形文化財（古文書）	唐戸町〔個人〕	平成 8.3.21
日頼寺文書	有形文化財（古文書）	長府川端二丁目（歴史博物館寄託）〔日頼寺〕	平成 26.3.26

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
彦島杉田岩刻画	有形文化財（考古資料）	彦島江の浦町五丁目〔三菱重工業㈱〕	平成 3.5.9
旧長府毛利家遺品	有形文化財（歴史資料）	長府川端二丁目（歴史博物館）〔下関市〕	昭和 52.2.16
赤間関朝鮮通信使関係資料	有形文化財（歴史資料）	長府川端二丁目（歴史博物館寄託）〔赤間神宮・個人〕	平成 27.4.21
亀山八幡宮「亀山能」	無形文化財	中之町〔亀山能楽会〕	昭和 44.10.1
蓋井島山の神神事記録	有形民俗文化財	大字蓋井島〔個人〕	昭和 47.3.25
能面・狂言面	有形民俗文化財	長府宮の内町〔忌宮神社〕 長府川端二丁目（歴史博物館）〔下関市〕	昭和 47.5.11
安養寺宝篋印塔	有形民俗文化財	大字吉見上〔安養寺〕	昭和 50.2.27
内日五年神の森	有形民俗文化財	大字内日上〔個人〕	昭和 56.2.18
能面	有形民俗文化財	長府宮の内町〔忌宮神社〕	昭和 58.12.10
先帝祭	無形民俗文化財	阿弥陀寺町〔赤間神宮奉賛会〕	昭和 45.3.4
蓋井島「山ノ神神事」	無形民俗文化財	大字蓋井島〔蓋井島自治会〕	昭和 45.10.26
彦島八幡宮「サイ上り」神事	無形民俗文化財	彦島迫町五丁目〔彦島八幡宮〕	昭和 53.10.19
内日五年神神事	無形民俗文化財	大字内日上〔個人〕	昭和 56.2.18
小野一里塚	史跡	大字小野〔個人〕	昭和 48.3.25
功山寺旧境内地	史跡	長府川端一丁目〔功山寺・下関市〕	昭和 49.3.25
功山寺書院	史跡	長府川端一丁目〔功山寺〕	昭和 54.3.1
宮山古墳	史跡	幡生宮の下町〔生野神社〕	昭和 54.8.7
有富古墳	史跡	大字有冨〔専徳寺〕	昭和 54.8.7
秋根 1 号墳	史跡	秋根西町一丁目〔秋根八幡宮〕	昭和 54.8.7
櫻山招魂場	史跡	上新地二丁目〔櫻山神社〕	平成 27.4.21
吉母海岸植物群落	天然記念物	大字吉母〔西光寺・山口県漁業協同組合〕	昭和 44.10.1
彦島西山の化石層	天然記念物	大字彦島〔山口県〕	昭和 46.7.22
紙本着色八幡大菩薩縁起	有形文化財（絵画）	長府川端二丁目（歴史博物館寄託）〔吉賀八幡宮〕	平成 12.6.12
厳島・浅間神社の梵鐘	有形文化財（工芸品）	菊川町大字轡井〔轡井自治会〕	平成 11.3.18
西光寺文書	有形文化財（古文書）	菊川町大字下保木〔西光寺〕	平成 12.6.12
上原遺跡出土品	有形文化財（考古資料）	菊川町大字下岡枝（菊川ふれあい会館）〔下関市〕	平成 13.4.25
ガラス製勾玉鎔范	有形文化財（考古資料）	菊川町大字下岡枝（菊川ふれあい会館）〔下関市〕	平成 13.12.20
植松古墳群	史跡	菊川町大字吉賀〔下関市・個人〕	平成 16.3.12
河内神社の夫婦杉	天然記念物	菊川町大字道市〔道市自治会〕	平成 13.4.25
快友寺のイヌマキ巨樹群	天然記念物	菊川町大字吉賀〔快友寺〕	平成 13.4.25
若宮石造宝塔	有形文化財（建造物）	豊田町大字中村〔下関市〕	昭和 51.3.31
毛利秀包夫人引地君墓所	史跡	豊田町大字江良〔個人〕	昭和 51.3.31
石造豊田種長供養板碑	有形文化財（建造物）	豊田町大字殿敷〔一の瀬部落〕	昭和 51.3.31
紙本着色涅槃像及八相図	有形文化財（絵画）	長府川端二丁目（歴史博物館寄託）	昭和 54.5.1
木造阿弥陀如来立像	有形文化財（彫刻）	豊田町大字江良〔神上寺〕	昭和 52.10.5

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
木造阿弥陀如来坐像	有形文化財（彫刻）	豊田町大字鷹子〔鷹子自治会〕	昭和 54.5.1
木造薬師如来坐像	有形文化財（彫刻）	豊田町大字宇内〔宇内薬師堂〕	昭和 55.5.10
木造阿弥陀如来立像	有形文化財（彫刻）	豊田町大字矢田（豊田文化財資料室寄託）	昭和 55.5.10
木造阿弥陀如来立像	有形文化財（彫刻）	豊田町大字浮石〔舜青寺〕	昭和 56.5.11
木造不動明王立像	有形文化財（彫刻）	豊田町大字杢路子〔修禅寺〕	昭和 57.4.8
木造聖観音立像	有形文化財（彫刻）	豊田町大字杢路子〔修禅寺〕	昭和 57.4.8
木造愛染明王坐像	有形文化財（彫刻）	豊田町大字江良〔神上寺〕	昭和 59.4.10
木造神像及び本地仏像 8 軀	有形文化財（彫刻）	豊田町大字矢田（豊田文化財資料室寄託）	昭和 61.7.10
懸仏残欠 2 軀 〔銅造阿弥陀如来坐像 1 軀 銅造如意輪観音半跏像 1 軀〕	有形文化財（工芸品）	豊田町大字矢田（豊田文化財資料室寄託）	昭和 56.5.11
鰐口	有形文化財（工芸品）	豊田町大字宇内〔宇内薬師堂〕	昭和 60.4.22
日幡神社棟札	有形文化財（歴史資料）	豊田町大字矢田（豊田文化財資料室寄託）	昭和 60.4.22
厳島神社棟札	有形文化財（歴史資料）	豊田町大字矢田（豊田文化財資料室寄託）	昭和 62.9.25
浮石の赤崎神社楽踊	無形民俗文化財	豊田町大字浮石〔亀尾山神社〕	昭和 55.5.10
佐野の岩戸神楽舞	無形民俗文化財	豊田町大字佐野〔日幡神社〕	昭和 55.5.10
栄長院墓所	史跡	豊田町大字高山〔高山自治会〕	昭和 59.4.10
台の変花崗岩	天然記念物	豊田町大字今出〔個人〕	昭和 58.4.18
殿敷、トロニエム岩	天然記念物	豊田町大字殿敷〔個人〕	昭和 58.4.18
狗留孫山修禅寺の一本スギ	天然記念物	豊田町大字杢路子〔修禅寺〕	平成元.1.12
館ヶ浴のツバキ	天然記念物	豊田町大字殿敷〔個人〕	平成 3.11.1
日幡神社のナギノキ	天然記念物	豊田町大字一ノ俣〔日幡神社〕	平成 5.2.26
西八幡宮のイチイガシ	天然記念物	豊田町大字矢田〔西八幡宮〕	平成 5.3.2
華山のアセビ群生林	天然記念物	豊田町大字庭田〔下関市〕	平成 13.12.26
吉永八幡宮本殿	有形文化財（建造物）	豊浦町大字吉永〔吉永八幡宮〕	平成 13.3.30
木造大日如来坐像	有形文化財（彫刻）	豊浦町大字室津上〔観音院〕	昭和 54.12.1
木造随身倚像	有形文化財（彫刻）	豊浦町大字黒井〔杜屋神社〕	昭和 62.3.26
鰐口	有形文化財（工芸品）	豊浦町大字川棚〔三恵寺〕	昭和 54.12.1
鰐口	有形文化財（工芸品）	豊浦町大字室津上〔観音院〕	昭和 54.12.1
鰐口	有形文化財（工芸品）	豊浦町大字吉永〔吉永八幡宮〕	昭和 54.12.1
鰐口	有形文化財（工芸品）	豊浦町大字川棚〔妙青寺〕	昭和 54.12.1
杜屋神社文書	有形文化財（古文書）	豊浦町大字黒井〔杜屋神社〕	昭和 54.12.1
永富家文書	有形文化財（古文書）	豊浦町大字川棚〔個人〕	平成 4.2.17
古谷道庵日乗	有形文化財（古文書）	長府川端二丁目（歴史博物館）〔下関市〕	平成 4.2.17
青井古墳群及び大迫古墳群出土遺物	有形文化財（考古資料）	豊浦町大字川棚（豊浦教育支所）〔下関市〕	昭和 62.3.26
磯上遺跡出土の水晶石器	有形文化財（考古資料）	豊浦町大字川棚（豊浦教育支所）〔下関市〕	平成 4.2.17

名称	種別	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
鋳鉄製鋤先	有形文化財（考古資料）	豊浦町大字川棚（豊浦教育支所）〔下関市〕	平成 4.2.17
大門古墳	史跡	豊浦町大字黒井〔個人〕	昭和 51.7.9
涌田青井の台場	史跡	豊浦町大字涌田後地〔(株) ダイナムビジネスサポート〕	昭和 51.7.9
泊ヶ鼻の台場	史跡	豊浦町大字室津下〔山口県漁業協同組合〕	昭和 51.10.1
泊ヶ鼻祭祀場跡	史跡	豊浦町大字室津下〔山口県漁業協同組合〕	昭和 51.10.1
青井古墳群	史跡	豊浦町大字涌田後地〔(株) ダイナムビジネスサポート〕	昭和 62.3.26
妙青寺庭園	名勝	豊浦町大字川棚〔妙青寺〕	平成 13.3.30
川棚神社のチシャノキ	天然記念物	豊浦町大字川棚〔川棚神社〕	昭和 62.3.26
操り人形面一対	有形文化財（彫刻）	豊北町大字滝部（豊北歴史民俗資料館）〔下関市〕	平成 15.3.14
梵鐘	有形文化財（工芸品）	豊北町大字神田〔住吉神社〕	昭和 55.2.20
梵鐘	有形文化財（工芸品）	豊北町大字阿川上市〔海翁寺〕	昭和 56.4.22
江田家文書	有形文化財（古文書）	豊北町大字阿川〔阿川八幡宮〕	昭和 55.2.20
徳蓮寺文書	有形文化財（古文書）	豊北町大字滝部（豊北歴史民俗資料館）〔下関市〕	平成 17.1.26
滝部八幡宮の腰輪踊	無形民俗文化財	豊北町大字滝部〔滝部神田口腰輪踊保存会〕	昭和 53.6.16
附野薬師の流灌頂	無形民俗文化財	豊北町大字神田〔東山寺〕	昭和 55.2.20
阿川河内のカンコ踊り	無形民俗文化財	豊北町大字阿川河内〔阿川河内カンコサ保存会〕	昭和 56.4.22
神田大川のみかがみ祭り	無形民俗文化財	豊北町大字神田〔大川自治会〕	昭和 57.4.21
和久古墳	史跡	豊北町大字神田上〔下関市〕	昭和 56.4.22
肥中台場跡	史跡	豊北町大字神田〔個人〕	昭和 60.2.18
七神社の社叢	天然記念物	豊北町大字神田〔七神社〕	昭和 53.12.1
客神社の社叢	天然記念物	豊北町大字神田〔大川自治会〕	昭和 53.12.1
角島のハマオモト	天然記念物	豊北町大字角島夢崎〔下関市〕	昭和 53.12.1
寺畑のコジイ	天然記念物	豊北町大字北宇賀寺畑〔個人〕	昭和 56.4.22
観涛園の俵石	天然記念物	豊北町大字神田〔個人〕	昭和 60.2.18
平畑のスダジイ	天然記念物	豊北町大字阿川平畑〔個人〕	昭和 61.4.24

エ　登録有形文化財（建造物）・登録有形民俗文化財（建造物 35 件、民俗 1 件）

名称	種別	所在の場所等	登録年月日
下関市水道局内日第一貯水池取水塔	建造物(生活関連)	大字内日上	平成 10.1.16
下関市水道局内日貯水池事務所	建造物(生活関連)	大字内日上	平成 10.1.16
下関市水道局高尾浄水場着水井	建造物(生活関連)	春日町	平成 10.1.16
下関市水道局高尾浄水場 4 号円形濾過池	建造物(生活関連)	春日町	平成 10.1.16
下関市水道局高尾浄水場 4 号円形濾過池付設調節井	建造物(生活関連)	春日町	平成 10.1.16

名称	種別	所在の場所等	登録年月日
下関市水道局高尾浄水場配水池	建造物(生活関連)	春日町	平成 10.1.16
下関市水道局内日第二貯水池取水塔	建造物(生活関連)	大字内日上	平成 10.1.16
下関市水道局内日第二貯水池 溢水隧道入口	建造物(生活関連)	大字内日上	平成 10.1.16
下関市水道局水道資料室(旧日和山浄水場事務所)	建造物(生活関連)	長崎中央町	平成 10.1.16
下関市立長府博物館本館（旧長門尊攘堂）	建造物(文化福祉)	長府川端一丁目	平成 11.6.7
下関南部町郵便局庁舎（旧赤間関郵便電信局）	建造物(官公庁舎)	南部町	平成 13.8.28
護國寺本堂	建造物(宗教)	上田中町二丁目	平成 15.3.18
護國寺清正公堂	建造物(宗教)	上田中町二丁目	平成 25.12.24
護國寺納骨堂	建造物(宗教)	上田中町二丁目	平成 25.12.24
護國寺門柱	建造物(宗教)	上田中町二丁目	平成 25.12.24
日本基督教団下関丸山教会 （旧日本メソヂスト下関教会）会堂	建造物(宗教)	丸山町四丁目	平成 16.2.17
功山寺総門	建造物(宗教)	長府川端一丁目	平成 16.7.23
歌野清流庵	建造物(住宅)	菊川町上岡枝 郷ヶ原	平成 17.7.12
藤原義江記念館（旧リンガー邸）	建造物(住宅)	阿弥陀寺町	平成 18.11.9
中野家住宅主屋	建造物(住宅)	大字内日上	平成 18.11.29
中野家住宅納屋	建造物(住宅)	大字内日上	平成 18.11.29
中野家住宅土蔵	建造物(住宅)	大字内日上	平成 18.11.29
中野家住宅塀	建造物(住宅)	大字内日上	平成 18.11.29
中野家住宅石垣	建造物(住宅)	大字内日上	平成 18.11.29
めぐみ幼稚園第一園舎（旧下関バプテスト教会）	建造物(宗教)	上田中町二丁目	平成 19.5.15
めぐみ幼稚園第二園舎（旧宣教師住宅）	建造物(宗教)	上田中町二丁目	平成 19.5.15
大乗寺山門	建造物(宗教)	長府金屋町	平成 20.4.18
大乗寺鐘楼	建造物(宗教)	長府金屋町	平成 20.4.18
日清講和記念館	建造物(文化福祉)	阿弥陀寺町	平成 23.1.26
蜂谷ビル（旧東洋捕鯨株式会社下関支店）	建造物(産業 3 次)	岬之町	平成 25.3.29
玉椿旅館	建造物(産業 3 次)	豊浦町大字川棚	平成 25.3.29
旧宮崎商館	建造物(産業 3 次)	田中町	平成 25.12.24
住吉神社楼門	建造物(宗教)	一の宮住吉一丁目	平成 29.10.27
住吉神社唐門及び透塀	建造物(宗教)	一の宮住吉一丁目	平成 29.10.27
赤間神宮水天門及び回廊	建造物(宗教)	阿弥陀寺町	平成 30.11.2
豊北の漁撈用具	有形民俗文化財 （生産・生業）	豊北町大字神田上	平成 24.3.8

オ　重要美術品（3 件）

名称	所在の場所等〔所有者〕	指定年月日
紙本墨書後陽成天皇宸翰御懐紙	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 10.12.23
紙本墨書霊元天皇宸翰御懐紙	一の宮住吉一丁目〔住吉神社〕	昭和 10.12.23
手鑑「筆陳」	長府川端二丁目（歴史博物館）〔下関市〕	昭和 18.10.1

カ　記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財として選択されたもの（2 件）

名称	所在の場所等	選択年月日
蓋井島「山の神」神事	大字蓋井島	昭和 34.3.28
北浦地方のサバー送り	下関市及び長門市	令和 5.3.22

キ　下関市に所在する指定文化財等一覧（管内別）

文化財		有形文化財														無形文化財			民俗文化財			記念物						計
		重要文化財														重要無形文化財			重要民俗文化財			記念物						
		国宝				重要文化財										県/市無形文化財			県/市民俗文化財									
	種別	建造物	絵画	工芸品	書跡	建造物	絵画	彫刻	工芸品	書跡	典籍	古文書	考古資料	歴史資料	計	芸能	工芸	計	有形	無形	計	特別天然記念物	史跡	名勝	天然記念物	名勝及天然記念物	計	
国	下関	2				3	1	2	4	3		2	1		18			0	1		1		8		3		11	30
	豊浦							1							1			0			0				3		3	4
	豊田						1								1			0			0			1	1	1	3	4
	豊北					1									1			0			0		1		2		3	4
	菊川														0			0			0						0	0
	計	2	0	0	0	4	2	3	4	3	0	2	1	0	21	0	0	0	1	0	1	0	9	1	9	1	20	42
県	下関	−	−	−	−	2	4	2		1		3	2	1	15		1	1		1	1	−	1		4		5	22
	豊浦	−	−	−	−		1	1	1						3			0			0	−	2		1		3	6
	豊田	−	−	−	−	1	1	1	1				1		5			0			0	−					0	5
	豊北	−	−	−	−	1							1		2			0		1	1	−			3		3	6
	菊川	−	−	−	−	1		1	1		1				4			0			0	−					0	4
	計	0	0	0	0	5	6	5	3	1	1	3	4	1	29	0	1	1	0	2	2	0	3	0	8	0	11	43
市	下関	−	−	−	−	30	3	8	7	1		3	1	2	55	1		1	5	4	9	−	7		2		9	74
	豊浦	−	−	−	−	1		2	4			3	3		13			0			0	−	5	1	1		7	20
	豊田	−	−	−	−	2	1	9	2					2	16			0		2	2	−	2		7		9	27
	豊北	−	−	−	−			1	2			2			5			0		4	4	−	2		6		8	17
	菊川	−	−	−	−		1		1			1	2		5			0			0	−	1		2		3	8
	計	0	0	0	0	33	5	20	16	1	0	9	6	4	94	1	0	1	5	10	15	0	17	1	18	0	36	146
合計		2	0	0	0	42	13	28	23	5	1	14	11	5	144	1	1	2	6	12	18	0	29	2	35	1	67	231

１０　埋蔵文化財調査

(1) 埋蔵文化財調査実績

事業区分	本庁管内		菊川総合支所管内		豊田総合支所管内		豊浦総合支所管内		豊北総合支所管内		総合計		
	民間	公共	民間	公共	民間	公共	民間	公共	民間	公共	民間	公共	総件数
分布調査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
試掘調査	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
確認調査	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3
本発掘調査	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
工事立会	30	7	1	0	0	0	0	0	0	0	31	7	38
立会調査	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
資料整理	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
報告書作成	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
総件数	33	13	1	0	0	0	0	0	0	0	34	13	47

凡例（調査の区分）

分布調査：遺跡の分布を予察するための地表面観察を含む踏査。
確認調査：遺跡の詳細を確認するための部分的な試し掘り。
工事立会：土木工事中の立会による遺跡の保存を目的とした記録作業。
立会調査：土木工事の施工に会わせて実施する遺跡の有無を確認するための記録作業。
資料整理：出土遺物の洗浄、復元等の室内整理作業。
そ の 他：上記以外の調査、作業。（自然科学調査、地質調査、構造物調査等）
試 掘 調 査：遺跡の有無を確認するための部分的な試し掘り。
本発掘調査：記録・保存を目的とした発掘調査。
報告書作成：本発掘調査に伴う成果とりまとめ作業。

(2) 周知の埋蔵文化財包蔵地（遺跡）件数

令和８年５月１日現在

地域区分	合計	本庁管内	菊川総合支所管内	豊田総合支所管内	豊浦総合支所管内	豊北総合支所管内
周知の埋蔵文化財包蔵地件数	650	333	45	33	124	115

(3) 愛護・普及活動

活動名	日時	参加者	内　　容
第 23 回発掘速報展 「掘ったほ！下関」	令和 8 年 1 月 17 日～3 月 15 日	2,950 名	令和 6 年度に実施した下関市内遺跡の発掘調査成果などについて、下関市立考古博物館特別企画展示室にて出土した遺物を展示し、併せてパネルなどで遺跡の説明を行なった。

(4) 埋蔵文化財関係刊行物

書名	体裁・部数	概要
下関市文化財年報１　埋蔵文化財編	A4 版・PDF （市 HP で公開）	平成 30 年度から令和 2 年度に実施した埋蔵文化財業務内容の報告と埋蔵文化財調査等の概要を PDF 形式で刊行し、下関市 HP 上で公開した。

(5)主な埋蔵文化財発掘調査成果概要

遺跡名	調査対象地	調査期間 (現地調査期間)	調査原因	調査の概要
蓋井島砲台跡	大字蓋井島	令和7年4月5日～ 令和7年4月6日	九州大学 調査	対象地の蓋井島は響灘の海上に浮かぶ島である。島には主に昭和8年以降に着工された数多くの戦争遺跡が残っており、観測所や砲台跡、地下通路で接続された砲台諸施設などが認められる。 調査では九州大学が所持する三次元測量機を用いて、観測所や地下通路等を測量し、下関市教育委員会に測量成果データを提供された。
伊倉遺跡 確認調査	伊倉本町	令和7年5月19日～ 令和7年6月24日	集合住宅 新築工事	対象地内に試掘溝2ヵ所を設定して調査した結果、現地表下－20㎝付近、表土直下の基盤土上面で、弥生時代前期末から中期後半を中心とする時期の土坑や柱穴などの遺構を確認した。土坑や柱穴の中からは、弥生土器のほか、砥石や石斧、焼土塊などが出土した。
（未周知）上げ安岡遺跡・千徳遺跡 近接地試掘調査	安岡町三丁目	令和7年7月8日～ 令和7年7月22日	集合住宅 新築工事	対象地内に試掘溝2ヵ所を設定して調査した結果、対象地一帯の旧地形が大きく削平された状況が判明し、明確な遺構の分布は確認できなかった。
史跡　長州藩下関前田台場跡 史跡内調査	前田一丁目	令和7年7月15日～ 令和7年9月2日	災害復旧 工事	斜面崩落要因となった浸潤する雨水対策と後世改変範囲の絞り込み、土塁等の分布範囲の把握のため、令和6年度に続き、トレンチ調査を実施した。対象地内に試溝坑4ヵ所を設定して調査した結果、高台場西南部では、前田台場廃絶後に当初想定よりも大規模な土地造成が行われた状況を確認した。
武久川下流域条里遺跡確認調査	幡生新町	令和7年11月4日～ 令和8年3月19日	新病院整備 事業	対象地内に試掘溝3ヵ所を設定して、調査を実施した。対象地では幡生操車場の整備に伴う造成土が3m近く厚く堆積し、対象地の旧地形は武久川の旧流路や周辺の低地部からなる。対象地の南部に設定した調査区では中世以前とみられる杭列や溝状遺構などを確認した。また、幡生操車場の造成土中から汽車土瓶など近代の鉄道関連遺物が出土した。
赤頭遺跡発掘調査	大字田倉	令和8年1月15日～ 令和8年2月10日	個人住宅 新築工事	個人住宅新築工事に伴い、遺跡に影響が及ぶ範囲を対象に本発掘調査を実施した。調査区南半部で中世に属するとみられる遺構面2面を検出し、溝や柱穴、土坑などの遺構の分布を確認した。また、中世以降、耕地化や土地造成に伴う複数回の土地の改変痕跡を確認した。
菊川町及び豊田町 未周知山城跡	菊川町上田部及び 豊田町江良	令和8年2月18日～ 令和8年2月20日	未周知遺跡 踏査	昨今、立体地形図がネット公開されこれまで未確認であった山間部に山城跡を示す地形痕跡が確認されている。これらを用い城郭研究者により現地調査が実施され、菊川町及び豊田町にて新たな山城痕跡が発見された。
海老田土壙墓	汐入町	－	別府大学 保存処理	調査は昭和39年に実施されたとされ、出土した鉄剣が保存処理されていたが経年劣化により脆弱化していたため、改めて令和3年に別府大学の協力の下保存処理が実施された。処理には4年を費やし、令和7年に保存処理が終了、下関市立考古博物館に収められた。
稗尻遺跡	下関市大字永田郷	－	資料整理	遺跡は吉見・永田郷地区の西側山地に所在する。1972年に須恵器の窯跡が発見されたが、遺物が採集されたのち損壊した。長門部では希少な窯跡であるため注目される遺跡である。そのため令和7年の資料整理事業にてこれら過去の資料について活用できるように再整理した。
六連島音次郎遺跡	大字六連島	－	資料整理	遺跡は市域南西、響灘に浮かぶ離島の六連島の南西の砂嘴上面に立地する。1955年に発見されその後の調査で縄文から平安時代の遺物が重層的に埋蔵することが判明した。響灘島嶼部における歴史的な人類活動を示す遺跡であるため、考古学界で広く認知されているものの、資料化なされていなかった。そのため令和7年度の資料整理事業にてこれら過去の資料について活用できるよう再整理した。



伊倉遺跡確認調査



（未周知）上げ安岡遺跡・千徳遺跡近接地試掘調査



史跡長州藩下関前田台場跡史跡内調査



武久川下流域条里遺跡確認調査



赤頭遺跡発掘調査



蓋井島砲台跡調査状況



稗尻遺跡出土遺物



未周知山城調査状況



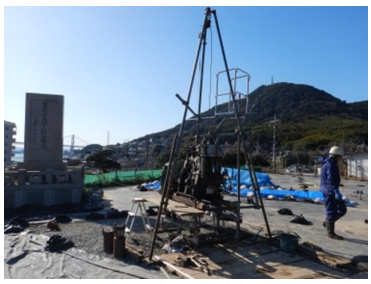
六連島音次郎遺跡現況



第 23 回発掘速報展「掘ったほ！下関」



国史跡綾羅木郷遺跡史跡指定記念日のイベント



史跡長州藩下関前田台場跡保存整備事業

(6)史跡等管理・保存活用（令和７年度）

活動名	日時	内　　容
令和７年度　長門鋳銭所跡出土遺物保存活用	令和７年４月１日～ 令和８年３月26日	平成22年度に「長門鋳銭所跡」において出土した鋳銭関連遺物について、適切な保存と価値付けを目的として、平成27年度から平成30年度にかけて木簡・削り屑を対象に計195点について専門機関への委託により、保存処理等を実施した。令和元年度より報告書作成に向けての整理作業を実施中。令和７年度は鋳銭関係遺物の整理作業のほか、報告書掲載予定の遺物図面原稿等の作成に着手した。
国史跡綾羅木郷遺跡　史跡指定記念日のイベント	令和８年３月７日	開発による遺跡破壊から緊急指定により保存が図られた史跡綾羅木郷遺跡について、指定記念日（３月11日）に近接する土曜日に、川中地区まちづくり協議会と共同で併設する下関市立考古博物館にてキャンドルを灯し、史跡の保存と愛護について広く市民に普及した。
史跡長州藩下関前田台場跡保存整備事業	令和７年７月15日～ 令和８年３月26日	令和３年に史跡内及び隣接する国道用地の斜面で発生した土砂崩れについて、発生原因の究明と今後の整備計画を検討するための情報収集として、地質調査（ボーリング調査など）を高台場の崩落箇所地点から北方向へ等間隔で実施した。

１１　文化財総合調査（日本遺産）

●関門海峡日本遺産協議会の活動

下関市と北九州市の産官学民で構成される関門海峡日本遺産協議会を両市負担金で運営し、文化財を活用した教育普及や地域活性化に取り組んでいる。令和４年度末に文化庁に提出した「日本遺産を通じた地域活性化計画実績報告書」及び「新たな地域活性化計画」は、日本遺産審査・評価委員会から現地視察を含む審査を受け、令和５年７月14日に文化庁から「認定継続」と発表された。また、令和６年度に初開催された「日本遺産ソムリエが選ぶ魅力的な日本遺産アワード」にて、日本遺産「関門“ノスタルジック”海峡～時の停車場、近代化の記憶～」は「実際に訪れてみて魅力的だと感じた日本遺産」第３位を受賞している。さらに、令和７年度は一般財団法人地域活性化センターが主催する「第30回ふるさとイベント大賞」において、日本遺産協議会共催イベント「関門海峡キャンドルナイト2025」が選考委員特別賞を受賞した。

令和７年度は、令和５年度７月に文化庁から継続認定を受けた「地域活性化計画」の最終年目であり、文化庁通知「日本遺産認定地域の今後の審査について」で示された指標及び基準と取組指標の７項目に沿った事業を順調に実施したが、令和７年度に実施される予定だった令和８年度以降の総括評価・継続審査が延期されたため、次期「地域活性化計画」の作成とその審査も次年度へとスライドすることとなった。

●令和７年度の主な取組

１．組織整備・戦略立案	
（１）関門海峡日本遺産協議会総会の開催	第１回：令和７年８月７日 第２回：令和８年２月18日 会場：門司港レトロ観光物産館（第１回） 北九州市役所特別会議室Ａ（第２回）
（２）関門海峡地域日本遺産関係ＷＥＢアンケート調査	関門地域（北九州市・下関市）の住民における日本遺産に関する意識調査を実施。
２．情報発信	
（１）ＷＥＢ・ＳＮＳを活用した情報発信	公式ホームページ活用のほか、ＳＮＳ(Facebook、Instagram)による情報発信。

（２）インバウンド向け観光カードの発行	日本語を含めた 10 言語に対応。各種イベントで PR ブースなどで配布。
３．普及啓発	
（１）全国イベント出展	
・日本遺産フェスティバル in 倉敷 ・日本遺産の日 PR イベント日本遺産マルシェ	岡山県倉敷市で開催された全国イベントに出展。 開催日：令和 7 年 10 月 26 日、27 日 東京都内で開催された日本遺産マルシェに出展。 開催日：令和 8 年 2 月 14 日、15 日
（２）各種連携事業	
・大好きふるさと下関歴史マップ（教育研修課）	歴史マップ受賞作品と日本遺産紹介パネル展示 令和 7 年 10 月 2 日～10 月 7 日：ゆめシティ新下関 令和 7 年 10 月 9 日～10 月 14 日：菊川ふれあい会館 令和 7 年 10 月 16 日～10 月 21 日：豊田ホタルの里ミュージアム 令和 7 年 10 月 23 日～10 月 29 日：豊北図書室 令和 7 年 10 月 30 日～11 月 4 日：川棚公民館 令和 7 年 11 月 5 日～11 月 18 日：下関市立考古博物館 令和 7 年 11 月 19 日～12 月 2 日：下関市立歴史博物館
・栄町銀天街(北九州市門司区)	商店街イベントにおいて日本遺産を PR した。 令和 7 年 5 月 25 日、26 日：門司みなと祭 令和 7 年 7 月 27 日：栄町夜市
・赤間ヶ関レトロ賑わい倶楽部 （唐戸地区構成文化財 5 施設と亀山八幡宮）	AKAMA6 クイズ＆スタンプラリー 会　場：唐戸地区構成文化財 5 施設と亀山八幡宮 会　期：令和 7 年 7 月 19 日～8 月 24 日 山口フォトウォーク＠赤間ヶ関 2025 会　場：①田中絹代ぶんか館、下関南部町郵便局、旧秋田商会ビル ②旧下関英国領事館、田中絹代ぶんか館、亀山八幡宮 開催日：①令和 7 年 10 月 12 日、②令和 7 年 11 月 23 日 山口フォトウォーク＠赤間ヶ関 2026 写真展 会　場：①旧下関英国領事館、②田中絹代ぶんか館 会　期：①令和 8 年 2 月 6 日～2 月 15 日 ②令和 8 年 2 月 20 日～3 月 2 日
・関門海峡キャンドルナイト２０２５ （関門海峡キャンドルナイト実行委員会）	構成文化財を活用したイベントで、構成文化財にちなんだ缶バッジ制作ワークショップや下関市立大学公認サークル SCU、西南女学院大学とのコラボキャンドルを実施。 会　場：下関市唐戸エリア、下関駅エキマチエリア、北九州市門司港エリア 開催日：令和 7 年 11 月 16 日、17 日

・コンサート等	構成文化財等を活用し、関門地域の歴史と音楽を融合させたコンサートでPR。計5回
4．人材育成	
・下関市立大学　公共マネジメント実習	下関市立大学2年生に日本遺産に関する座学や唐戸地区のフィールドワークを実施。 会　場：①下関市立考古博物館、②唐戸地区構成文化財 実施日：①令和7年5月23日、②令和7年6月13日
・下関観光ガイドの会研修	ガイドの会の継続的な学習を目的に研修を実施。 実施日：令和7年6月30日、10月27日
5．観光事業化	
・旅行商品開発、観光ルート研究	JRウォーキング日本遺産「関門“ノスタルジック”海峡」春のレンガ巡り！ 開催日：令和7年4月26日 洞海湾クルージング「海から見える洞海湾の近代化遺産」 開催日：令和7年10月12日、13日 産業観光バスツアー2025 大人の社会はツアー 日本遺産「関門“ノスタルジック”海峡」 開催日：令和7年11月14日 日本遺産「関門“ノスタルジック”海峡」クルージング 開催日：令和7年11月15日

●構成文化財一覧（下関市）

下関市と北九州市両岸に展開する日本遺産「関門“ノスタルジック”海峡～時の停車場、近代化の記憶～」のストーリーを紡ぐ構成文化財は42件。そのうち、下関市に関する構成文化財は次の19件。


下関駅の振鈴


蜂谷ビル


山口銀行旧本店


中國労働金庫下関支店


下関南部町郵便局庁舎


旧秋田商会ビル


関門ビル


旧下関英国領事館


旧宮崎商館


旧逓信省下関郵便局電話課庁舎


藤原義江記念館


日清講話記念館



長州藩下関前田台場跡



三菱重工株式会社下関造船所第３ドック、第４ドック



旧俎礁標



六連島灯台



関門隧道下り線　関門隧道上り線



バナナの叩き売り



フグ料理



Ⅳ　その他資料

1　教育委員会

(1) 機構及び事務分掌

（令和８年４月１日現在）



(2)職員配置

（単位：人）

		令和7年度	令和8年度	内訳					
				事務	技術	校務技士	調理員	指導主事	教員
事務部局の職員		245	240	96	12	14	44	20	54
事務局		94	93	60	11	1	1	20	0
内訳	教育部（教育長を含む）	6	4	4					
	教育政策課	9	9	8	1				
	学校教育課	16	16	5				11	
	教育研修課	9	9	2				7	
	学校支援課	12	14	5	8	1			
	学校保健給食課	12	12	9	2		1		
	生涯学習課	11	11	9				2	
	文化財保護課	8	8	8					
	菊川教育支所	3	3	3					
	豊田教育支所	3	3	3					
	豊浦教育支所	3	3	3					
	豊北教育支所	2	1	1					
学校		122	115	5	0	13	43	0	54
内訳	幼稚園	16	17						17
	小学校	49	44			7	37		
	中学校	13	11			5	6		
	高等学校	44	43	5		1			37
学校以外の教育機関		29	32	32	0	0	0	0	0
内訳	中央図書館	4	6	6					
	長府図書館	0	0						
	彦島図書館	0	0						
	はまゆう図書館	0	0						
	菊川図書館	0	0						
	豊田図書館	0	0						
	豊浦図書館	0	0						
	豊北図書館	0	0						
	公民館	0	0						
	歴史博物館	7	7	7					
	考古博物館	5	5	5					
	豊田ホタルの里ミュージアム	1	1	1					
	美術館	5	5	5					
	土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム	5	6	6					
	中部学校給食共同調理場	1	1	1					
	吉見学校給食共同調理場	0	0						
	木屋川学校給食共同調理場	0	0						
	岡枝学校給食共同調理場	0	0						
	豊田町学校給食共同調理場	0	0						
	豊浦町学校給食共同調理場	1	1	1					
	黒井学校給食共同調理場	0	0						
	滝部学校給食共同調理場	0	0						

各年度4月1日現在。再任用短時間職員を除く。

(3)教育費予算

（単位：千円、％）

款	項	目	令和８年度			令和７年度	
			当初予算額	構成比	対前年比	当初予算額	構成比
教育費			15,284,447	100.0	108.4	14,095,914	100.0
	教育総務費		1,270,403	8.3	107.3	1,184,371	8.4
		教育委員会費	21,261	0.1	100.0	21,254	0.2
		事務局費	1,249,142	8.2	107.4	1,163,117	8.3
	小学校費		3,049,770	20.0	136.2	2,238,814	15.9
		学校管理費	912,613	6.0	101.6	898,387	6.4
		教育振興費	971,747	6.4	326.1	298,027	2.1
		学校建設費	1,165,410	7.6	111.8	1,042,400	7.4
	中学校費		1,824,943	11.9	74.7	2,442,915	17.3
		学校管理費	403,516	2.6	109.8	367,591	2.6
		教育振興費	612,037	4.0	211.3	289,624	2.1
		学校建設費	809,390	5.3	45.3	1,785,700	12.7
	高等学校費		605,380	4.0	107.4	563,863	4.0
		高等学校総務費	467,148	3.1	103.7	450,385	3.2
		高等学校管理費	31,639	0.2	41.1	76,891	0.5
		教育振興費	106,593	0.7	291.3	36,587	0.3
	幼稚園費		0			0	0.0
		幼稚園費	0			0	0.0
	社会教育費		2,684,778	17.6	105.7	2,539,569	18.0
		社会教育総務費	799,920	5.2	101.7	786,853	5.6
		青少年対策費	74,855	0.5	140.0	53,462	0.4
		文化財保護費	119,020	0.8	108.2	110,044	0.8
		公民館費	526,863	3.5	128.2	410,961	2.9
		図書館費	450,578	2.9	89.5	503,265	3.6
		博物館費	287,274	1.9	112.1	256,339	1.8
		美術館費	178,204	1.2	116.9	152,383	1.1
		生涯学習施設費	248,064	1.6	105.0	236,262	1.7
	保健体育費		4,059,266	26.6	111.9	3,626,487	25.7
		保健体育総務費	1,097,144	7.2	102.3	1,072,224	7.6
		体育振興費	141,500	0.9	116.6	121,336	0.9
		体育施設費	865,879	5.7	114.0	759,484	5.4
		学校給食共同調理場費	1,954,743	12.8	116.8	1,673,443	11.9
	大学費		1,789,907	11.7	119.3	1,499,895	10.6
一般会計			142,580,000	100.0	105.6	135,020,000	100.0
教育費			15,284,447	10.7	108.4	14,095,914	10.4

（注）四捨五入の関係で、構成比が合計の数字と一致しない場合がある。

2　教育年譜

明治	22年	1889年	4月	市制施行、赤間関市誕生
	32	1899	1	赤間関幼稚園（旧市立第一幼）開園
	35	1902	6	下関市と改称、赤間関商業学校を市立下関商業学校と改称
	38	1905	5	市立下関高等女学校開校（現下関南高、昭和3年県移管）
	39	1906	8	英国領事館（現旧下関英国領事館）上棟
	42	1909	4	名池小学校開校、市立第二幼稚園開園
			8	豊浦（長府）図書館開館
			10	市立第三幼稚園開園
	43	1910	4	市立下関実業補修学校開校（旧下関中央工高）
大正	2	1913	－	梶栗浜遺跡から多紐細文鏡と細形銅剣を発掘
	3	1914	6	梅光女学院開校
	4	1915	4	桜山小学校開校
	9	1920	4	市立下関中学校開校（現下関西高）
	11	1922	3	市立第四幼稚園開園
	15	1926	7	下関商業学校、現在地へ移転
昭和	3	1928	9	向山小学校開校
	8	1933	10	桂　弥一、長門尊攘堂創建（旧長府博物館）
	10	1935	4	安岡町役場（旧安岡考古資料室）新築
	12	1937	6	日清講和談判記念館（現日清講和記念館）開設
	15	1940	7	市立下関図書館開館
	20	1945	6	空襲罹災、桜山・菁莪・生野・蓋井国民学校、第一・第四幼稚園、下関女子商業学校、梅光女学院、阿部高等技芸女学院、下関盲唖学校
			8	太平洋戦争終結、名池国民学校全焼
	21	1946	5	農林省水産講習所下関分所開設（現水産大学校）
	22	1947	4	新学制、新制中学校発足、第一中学校（現日新中）、第二中学校（現文洋中）、彦島中学校、長府中学校、東部中学校、安岡中学校、吉見中学校、王喜中学校、吉田中学校、内日中学校、北部中学校
	23	1948	4	第三中学校（現名陵中）開校、小月幼稚園開園
				新制高等学校発足、下関高等学校（現下関西高）、下関女子高等学校（現下関南高）、豊浦高等学校、長府女子高等学校（現長府高）、下関工業高等学校（現下関工科高等学校）、下関実業高等学校（旧下関中央工高）、下関商業高等学校、梅光女学院高等学校、早鞆高等学校、河野学園高等学校（現下関女子短期大学付属高等学校）
			7	第１回下関美術展開催
	24	1949	4	北部中学校分離、川中中学校と勝山中学校となる
			6	新制大学発足、山口大学農学部開設
			10	下関球場完成
	25	1950	4	西山小学校開校
			11	市民館（旧文化会館）、公民館（旧中央公民館）完成
	26	1951	12	岡枝公民館内に山口県立山口図書館豊浦分館（現菊川図書館）開館
	27	1952	6	下関図書館彦島分館開館
			11	市教育委員会発足、委員長　浅尾逸司
	28	1953	11	国宝指定（功山寺仏殿・住吉神社本殿）
	30	1955	4	神田小学校・玄洋中学校開校
	31	1956	2	市史編修委員会発足
			4	下関商業短期大学開学、角倉小学校開校

昭和	32 年	1957 年	4 月	山口県立山口図書館豊浦分館閉館、菊川町に移管され菊川町立菊川図書館開館
	33	1958	7	下関陸上競技場完成
			8	第 11 回全国高等学校陸上競技対抗選手権（インターハイ）開催
	33	1958	12	吉見公民館開館
	34	1959	4	向洋中学校開校
			10	日独交歓陸上競技大会開催
				自動車文庫「みちづれ」運行開始
	35	1960	4	市営庭球場設置
			10	小月公民館開館
	36	1961	5	下関商業高等学校と鹿児島商業高等学校が姉妹校となる
			6	市民学級講座開講
	37	1962	4	下関市立大学開学、市立下関第一高等学校（現県立下関中等教育学校）開校
	38	1963	4	第 35 回選抜高校野球大会で下関商業高等学校優勝
			8	第 45 回全国高校野球選手権大会で下関商業高等学校準優勝
			9	下関市体育館開設
			10	第 18 回山口国体秋季大会開催
			12	長府公民館開館
	39	1964	6	下関電子工業高等学校開校（現下関国際高校）
	40	1965	4	江浦幼稚園開園
			7	弥生遺跡綾羅木郷台地の発掘調査開始、川中公民館開館（現川中公民館分館）
			10	安岡公民館開館
	41	1966	4	山の田小学校、木屋川中学校（王喜・吉田両中の統廃合）開校
			8	第 1 回日韓親善関釜両市高校生交歓事業発足
	42	1967	9	長府図書館全面改築
	43	1968	8	全日本高校ハンドボール選手権大会で下関中央工業高校優勝
				（以後 44 年、51 年、52 年優勝）
	44	1969	3	綾羅木郷遺跡緊急史跡指定
			4	山の田中学校、川中西小学校開校、生野・清末幼稚園開園
				下関市文化会館開館
			6	市指定文化財第 1 号の指定（蓮台寺木造十一面観音坐像）
			10	下関図書館移転改築完成
			12	自動車文庫「みちづれ」に代わり、個人貸出可能な移動図書館「ともしび号」運行開始
	45	1970	5	下関考古館開館、王司公民館開館
	46	1971	4	向山幼稚園開園、彦島公民館開館
			8	第 1 回関釜親善陸上競技大会開催
			11	下関市と豊浦郡 4 町による下関地区広域行政事務組合が発足し移動図書館「くさぶえ号」の運行開始
	47	1972	4	南部学校給食共同調理場完成、清末・内日公民館開館
			6	下関市武道館設置
	48	1973	3	市立青年の家完成
			4	川中西幼稚園開園、王喜・勝山公民館開館
				菊川町立菊川図書館が現在地に移転
	49	1974	1	彦島中学校火災
			3	全国子ども音楽コンクールで玄洋中学校全国 1 位（以後 53 年 1 位）
			4	桜山・第五幼稚園開園
			7	長府運動場完成、北部公民館開館

昭和	49 年	1974 年	10 月	桜山小学校六連分校廃校、彦島武道館開館
	50	1975	12	毎日音楽コンクールで安岡小学校全国 1 位
	51	1976	3	小月武道館完成
			7	市民プール完成
			10	下関市・韓国釜山直轄市姉妹都市盟約締結
			11	吉田公民館開館
	52	1977	1	全国合奏コンクールで下関西高校全国 1 位
			3	吉見武道館設置
			4	彦島運動場設置
			5	下関市民会館完成
			7	吉見公民館移転改築
	53	1978	3	長府武道館設置
			4	川中幼稚園開園、吉母公民館開館 教育委員会が庁舎第一別館（旧逓信省下関郵便局電話課庁舎）に移転
	54	1979	4	長府小学校開校、西部公民館開館
			8	第 9 回全国中学校バスケットボール選抜大会で彦島中学校優勝
			10	下関市・中国山東省青島市友好都市締結
	55	1980	4	玄洋・吉見中学校移転改築、長府博物館市移管（財団法人より）
			10	下関・青島市不定期航路就航（日中友好の船「ユートピア号」）
			12	川中武道館開館
	57	1982	4	向井・垢田小学校開校、西山・垢田幼稚園開園、下関市弓道場開設
			9	蓋井小学校水泳プール完成（市内全小学校に設置完了）
	58	1983	4	下関市長府体育館開館
			6	玄洋公民館開館
			11	下関市立美術館開館
	59	1984	4	下関商業高等学校校舎全面改築完了
			6	長州砲が 120 年ぶりにフランスから里帰り（博物館展示）
			10	下関商業高等学校創立 100 周年記念
			11	川中西小学校と中国山東省青島市上清路小学校が友好校締結
				日新中学校と中国山東省青島市第 17 中学校が友好校締結
				下関商業高等学校と中国山東省青島市第一職業高級中学校が友好校締結
	60	1985	4	垢田中学校開校
			5	北運動公園に下関第二球場開設
			10	中国青島市教育考察団来関
			11	下関市青少年健全育成市民会議発足
	61	1986	4	一の宮小学校開校
			8	全国高校総体開催（バドミントン・ウエイトリフティング・弓道）
			10	下関商業高等学校と韓国釜山直轄市釜山商業高等学校（現 開成高等学校）が姉妹校調印
	62	1987	8	下関相撲場開設
	63	1988	3	豊浦幼稚園舎全面改築完了
			7	北運動公園に新下関球場開設
			11	内日中学校水泳プール完成（市内全中学校に設置完了）
平成	元	1989	3	下関地区広域行政事務組合廃止
			4	下関市制施行 100 周年記念、彦島体育館開館、森の家下関オープン、移動図書館が下関図書館に編入し「ともしび号」のみで運行開始
			8	下関市彦島庭球場開設
			12	“あるかぽ～と下関”起工

平成	2年	1990年	1月	下関市立大学と韓国釜山直轄市東義大学が姉妹校調印
			4	熊野小学校開校
				長成中学校開校
				下関市立大学学術センター完成
				中部学校給食共同調理場完成
				川棚公民館内の図書室が独立し、豊浦町立図書館開館
			7	彦島図書館開館
	3	1991	3	教育委員会が庁舎第一別館から教育委員会棟（旧水道局庁舎）に移転
			4	下関アーチェリー場開設
				下関市垢田体育館開設
			5	仁馬山古墳が国指定史跡となる
			7	第1回下関市中学校海外派遣研修（韓国）
			9	台風17、19号により学校諸施設に多数の被災を受ける
			10	下関図書館コンピュータ化に着手
	4	1992	3	史跡綾羅木郷遺跡の西地区を古墳の森として整備
				豊田町学校給食共同調理場改築
				向洋町スポーツセンターテニスコート全天候型に改修完了
			6	川中公民館移転改築
			9	学校週5日制スタート
	5	1993	4	不登校対策事業「サークル・一里山」を市立青年の家に開設 豊浦町学校給食共同調理場完成
			8	第41回日本海洋少年団全国大会開催 （常陸宮殿下、同妃殿下来関）
			10	吉見体育館開設
	6	1994	3	下関商業高等学校図書館改築
			4	下関市立下関・長府・彦島各図書館コンピューター処理開始
				北運動公園庭球場設置
	7	1995	1	生涯学習推進本部設置
			5	下関市立考古博物館開館
				（三笠宮殿下・同妃殿下来関）
			7	豊田町立図書館開館
	8	1996	10	一の宮児童クラブ（別棟教室）開設
	9	1997	1	黒井学校給食共同調理場開設
			4	下関市体育館リニューアルオープン
			5	長府東公民館開館
			8	「下関市生涯学習まちづくり推進基本構想」策定
			10	熊野児童クラブ（別棟教室）開設
	10	1998	4	下関市民会館リニューアルオープン
				財団法人下関市文化振興財団発足 適応指導教室「さくらやま」を休園中の市立桜山幼稚園舎内に開設し、不登校対策事業「サークル・一里山」を移転
			10	下関陸上競技場リニューアルオープン
	11	1999	5	旧下関英国領事館が重要文化財に指定
	12	2000	3	勝山児童クラブ（別棟教室）改築
			5	小月公民館リニューアルオープン
			10	旧豊浦町商工会事務所に豊浦図書館移転
			12	「下関市生涯学習まちづくり推進プラン」策定
	13	2001	4	児童・ふれあいクラブが保健福祉部こども課に移管

平成	13年	2001年	4月	火の山ユースホステルが産業経済部観光施設課に移管
				下関市立しものせき水族館「海響館」オープン
				「唐戸市場」リニューアルオープン
			10	移動図書館車「ともしび号」にかわり、新車「ブックル」で運行開始
	14	2002	4	社会教育課同和教育係の事務を人権啓発課に移管
				青少年課の係を廃止
				第54回国際捕鯨委員会（ＩＷＣ）年次会合開催
	15	2003	4	北九州市との図書館広域利用開始
			10	第18回世界宇宙飛行士会議・コミュニティデーin下関開催
			11	下関市フットサル場完成
	16	2004	6	文化課の係を廃止し、文化課を文化財保護課に改める
	17	2005	2	下関市と豊浦郡4町が合併し、新しい下関市が誕生する
				菊川、豊田、豊浦、豊北の各教育支所を設置する
			4	豊浦中学校と宇賀中学校を統合し、夢が丘中学校を開校
			10	図書館のコンピュータシステム統合
	18	2006	4	小野ふれあいセンター開館
				豊北第一中学校・豊北第二中学校・豊北第三中学校・角島中学校を統合し、豊北中学校を開校 豊北中学校内に豊北図書室を開設 滝部学校給食共同調理場完成
			9	下関球場スコアボード電光掲示板供用開始
	19	2007	10	第28回国際・全日本マスターズ陸上競技選手権山口（下関）大会開催
	20	2008	3	「下関市子どもの読書活動推進計画」策定
			4	教育委員会機構改革
				総務課を教育政策課と学校支援課へ分割
				学校教育課を学校教育課と学校安全課に分割
				指導課を廃止し学校教育課内に教育研修室を設置
				社会教育課と青少年課を生涯学習課として統合
				教育支所の課を廃止
	21	2009	4	幼保一体化施設「西市こども園」、「豊北こども園」開園
			5	彦島公民館リニューアルオープン
			11	下関図書館閉館
	22	2010	1	鳥山民俗資料館が下関市川棚温泉交流センター内に移転、開館
				下関図書館を廃止し、図書館政策課を設置
			3	生涯学習プラザ開館
				中央図書館開館
			4	川中中学校が伊倉新町の新校舎に移転
			6	東行記念館開館
			8	長州藩下関前田台場跡（前田砲台）が国指定史跡となる
	23	2011	2	教育委員会が教育委員会棟から上田中町庁舎（旧下関図書館）に移転
			4	教育委員会機構改革
				教育部を設置
				体育課の事務（学校体育を除く）を観光交流部スポーツ振興課に移管し、体育課を廃止
				長府博物館、東行記念館を文化財保護課に移管
				烏山民俗資料館及び豊北歴史民俗資料館を人類学ミュージアムに移管
				学校安全課内に生徒指導推進室を設置

平成	23 年	2011 年	4 月	適応指導教室「さくらやま」を教育支援教室「さくらやま」に改称
			11	豊北歴史民俗資料館リニューアルオープン
	24	2012	4	豊田西中学校と豊田東中学校を統合し、豊田中学校を開校
	25	2013	4	下関商業高等学校の新講堂が竣工
	26	2014	2	勝山公民館リニューアルオープン
			3	神田公民館廃止
			4	第二、第四、桜山、楢崎幼稚園を廃園
				教育支援教室「さくらやま」の分室を、川棚地区及び小月地区に開設
			8	全国コミュニティ・スクール研究大会 in 下関開催
			12	豊浦図書館が豊浦総合支所 2 階にリニューアルオープン
	27	2015	3	「下関市子どもの読書活動推進計画（第二次）」策定
				三豊、二見、田耕小学校を閉校
			4	西市公民館開設
				中学生の不登校対策「文洋中学校分教室」を旧桜山幼稚園舎に開設
			5	第 1 回下関市総合教育会議開催
				「下関市教育振興基本計画（下関市教育大綱）」策定
			7	第 23 回世界スカウトジャンボリー下関市地域プログラム開催
	28	2016	3	下関市教育センターオープン
				教育委員会が上田中町庁舎からに下関市教育センターに移転
				殿居小学校を閉校
			4	教育委員会機構改革
				教育研修室を廃止し、教育研修課を設置
				生徒指導推進室を学校安全課内から学校教育課内に移管
				歴史博物館を設置、学校安全課を組織改正し、学校保健給食課の設置 教育支援教室「さくらやま」及び「文洋中学校分教室」を市立関西小学校に移転し、教育支援教室「さくらやま」を教育支援教室「かんせい」に改称
			5	下関市立図書館のコンピュータシステム更新
			10	ＮＨＫ全国学校音楽コンクール（小学校の部）で勝山小学校銅賞受賞
			11	下関市立歴史博物館開館
	29	2017	3	神田小学校（西神田町）を閉校
			4	関門海峡が「関門″ノスタルジック″海峡～時の停車場、近代化の記憶～」として日本遺産に認定
				教育支援教室「かんせい」の分室を、長府地区に開設
			10	ＮＨＫ全国学校音楽コンクール（小学校の部）で勝山小学校銅賞受賞（2 年連続）
				「朝鮮通信使に関する記録」がユネスコ「世界の記録」に登録
	30	2018	3	「下関市立図書館基本計画」策定
			4	旧菊川体育館を菊川中学校体育館として学校支援課に移管
	31	2019	2	勝山御殿跡が国指定史跡となる
			3	神玉、神田小学校（豊北町）を閉校
令和	元	2019	10	ＮＨＫ全国学校音楽コンクール（小学校の部）で勝山小学校銅賞受賞
	2	2020	3	角島、阿川、粟野、滝部小学校を閉校
			4	豊北小学校を開校
				教育支援教室「かんせい」の分室を、山の田地区に開設
				図書館政策課を廃止し、中央図書館と統合
			5	新型コロナウイルス感染症のまん延防止のため、3 月 3 日から臨時休業をしていた市内の小･中学校を 5 月 14 日に再開した
			6	「下関市子どもの読書活動推進計画（第三次）」策定
			12	角島灯台、六連島灯台が国の重要文化財となる

令和	3年	2021年	3月	豊田中小学校を閉校
			4	下関市立図書館のコンピュータシステム更新
			7	教育支援教室「あきね」を、旧勝山老人憩の家に開設
	4	2022	3	移動図書館車「ブックル」を更新し、新しい車両で運行開始
				王江、名池小学校を閉校
				名陵中学校を閉校 下関商業高等学校　定時制課程閉課程
			4	名陵小学校が開校し、名陵小学校と名陵中学校による小中一貫教育校である名陵学園が開校
			7	下関市立図書館の設置等に関する条例を改正し、豊北図書室を図書館法に基づく「豊北図書館」として整備し開館
			10	日本遺産フェスティバル in 関門の開催
			11	「第2次下関市立図書館基本計画」策定
	5	2023	4	蓋井中学校が開校し、蓋井小学校と蓋井中学校による小中一貫教育校である蓋井小中学校が開校
			10	電子図書館サービス「しものせき電子図書館」開始
	6	2024	3	南部学校給食共同調理場閉鎖
			4	内日中学校が内日小学校の敷地に移転し、内日小学校と内日中学校による小中一貫教育校であるうつい小中学校が開校 新下関学校給食センター完成
			8	中・高校生等駅周辺学習スペース（エキスタ）オープン
			11	「第4次下関市子どもの読書活動推進計画」策定
			12	安岡公民館廃止
	7	2025	1	下関市安岡地区複合施設（やすらガーデン）内に「はまゆう図書館」が開館
			3	吉母、吉見小学校を閉校
			4	吉見小学校と吉見中学校による小中一貫教育校であるよしみ小中学校が開校
	8	2026	4	下関市立図書館のコンピュータシステム更新
				学びの多様化学校である文洋中学校関西分校が開校
				下関商業高等学校商業科に「スポーツビジネス」コース新設

教　育　要　覧

令和８年度

発行：下　関　市　教　育　委　員　会
〒751-0830
山口県下関市幡生新町 1-1 下関市教育センター
編集：下関市教育委員会 教育部 教育政策課
ＴＥＬ　０８３－２３１－１５６０